

平成24年度
広島県立美術館年報



目 次

I. 沿革	2
II. 展覧会	
展覧会一覧	4
特別展	
1. NHK大河ドラマ50年 特別展「平 清盛」	5
2. フレデリック・バック展 木を植えた男	9
3. おいでよ！絵本ミュージアム 絵本のまちにでかけよう！	12
4. ワクワク！ドキドキ！夏休み子ども美術館	14
5. 世界遺産 ヴェネツィア展 魅惑の芸術－千年の都	16
6. 平木コレクション特別公開！ 浮世絵の美	23
7. 永田萌－夢みるチカラ展	27
8. 生誕100年 船田玉樹展 －異端にして正統、孤高の画人生－	29
9. 第59回日本伝統工芸展広島展	32
所蔵作品展	36
III. 普及活動	
1. ネットワーク美術館展 前期展「船田玉樹の輪郭」 後期展「船田玉樹－花鳥風月の昇華－」	45
2. 第64回広島県美術展	46
3. 第1回広島県ジュニア美術展	47
4. 博物館実習	48
5. 学校、地域との連携事業 「美術作品鑑賞教室・出張講座」	49
6. 新規作成ワークシート・リスト	51
7. 学校等による利用状況	52
8. 県民ギャラリー利用状況	54
9. 友の会事業報告	57
IV. 事業実施状況	60
V. 業務一覧	69
VI. 入館者数一覧	76
VII. 美術品等収集状況	78
VIII. 美術品等の貸出し	88
IX. 関係法規	91
X. 名簿	100

I 沿革

昭和31年	美術館建設の募金運動はじまる	昭和52年 2月	広島県美術展開催運営規則施行（昭和52年 広島県教育委員会規則第2号）
昭和38年 4月	調査費計上	昭和53年10月	開館10周年記念展開催
昭和39年 4月	設計委託料計上	昭和54年 3月	開館10周年記念「広島県立美術館所蔵作品 集」発刊
10月	建設促進委員会開催	12月	収蔵庫拡張工事着工
昭和40年 4月	整地費など計上	昭和55年 2月	収蔵庫拡張工事完了
昭和41年 5月	文部省社会教育施設整備費補助金の交付内定	4月	定宗一宏館長（非常勤）任命
12月	建設募金委員会発足	10月	広島県立美術館条例一部改正（昭和55年 広島県条例第19号）施設使用料
昭和42年 1月	起工式挙行	昭和56年 4月	広島県立美術館管理運営規則一部改正（昭 和56年 広島県教育委員会規則第5号）課 の名称変更・入館料の免除
昭和43年 3月	旧館竣工	10月	広島県立美術館管理運営規則一部改正（昭 和56年 広島県条例第5号 基金額1億円）
4月	広島県立美術館条例施行（昭和43年 広島 県条例第20号）	昭和57年 3月	定宗館長辞職
	広島県立美術館管理運営規則施行（昭和43 年 広島県教育委員会規則第1号）	4月	広島県立美術館条例一部改正（昭和57年 広島県条例第10号）入館料・施設使用料
	加藤豊館長（常勤）任命	9月	阿川静明館長（非常勤）任命
6月	広島県立美術館協議会条例施行（昭和43年 広島県条例第38号）	昭和60年 3月	縮景園窓口入園窓口を設置
7月	広島県立美術館協力会結成	4月	阿川館長辞職
9月	広島県立美術館管理運営規則一部改正（昭 和43年 広島県教育委員会規則第13号）分 掌事務	昭和61年10月	赤木博典館長（常勤）任命
21日	落成式挙行	事務局職員による県立美術館整備計画検討 会議を設置	昭和62年 2月
22日	旧館開館	昭和62年 2月	渋谷文庫開設
10月	広島県立美術館美術品収集要領制定	3月	県立美術館整備計画検討会議，整備構想案 をまとめる
12月	広島県立美術館展示施設運営要領制定	4月	赤木館長辞職
昭和44年 4月	広島県立美術館管理運営規則一部改正（昭 和44年 広島県教育委員会規則第2号）	11月	吉岡典威館長（兼務）任命
	職員の職・職員の仕事	昭和63年 4月	県教育委員会，広島県立美術館整備構想検 討委員会を設置，委員8名を委嘱
	館蔵品常設展開設	菅川健二館長（兼務）任命	昭和63年 4月
昭和46年 4月	宮地貫一館長事務取扱任命	広島県立美術館条例一部改正（昭和63年 広島県条例第7号）入館料・施設使用料	11月
昭和47年 1月	広島県立美術館友の会発足	広島県立美術館美術品等取得基金，1億円 を増額（基金額2億円）	昭和63年 4月
5月	浜本正弘館長事務取扱任命	広島県立美術館整備構想検討委員会，整備 構想をまとめ県教育委員会に答申	平成元年 3月
6月	佐々木司郎館長事務取扱任命	さとこ文庫開設	5月
8月	広島県立美術館管理運営規則一部改正（昭 和47年 広島県教育委員会規則第11号）職 員の職	広島県立美術館整備基金計画検討委員会を 設置，委員18名を委嘱（座長 橋口収県商 工会議所連合会会長）	7月
	羽白幸雄館長（非常勤）任命	広島県立美術館美術品等収集評価委員会を 設置，委員6名を委嘱	平成2年 4月
11月	開館5周年記念「広島県立美術館所蔵作品 集」発刊	広島県立美術館美術品など取得基金，5億 円を増額（基金額7億円）	12月
昭和48年 6月	広島県立美術館条例一部改正（昭和48年 広島県条例第30号）	知事，県議会本会議において「新美術館は隣 接する縮景園の景観を損なうことなく，両 施設の一体化を図った文化ゾーンの一環と	
	広島県立美術館管理運営規則一部改正（昭 和48年 広島県教育委員会規則第14号）補 助職員の職及び職務		
10月	広島県立美術館管理運営規則一部改正（昭 和48年 広島県教育委員会規則第19号）職 員の職等		
昭和49年 3月	広島県立美術館管理運営規則一部改正（昭 和49年 広島県教育委員会規則第4号）そ の他の職員の職		
昭和50年 4月	広島県立美術館条例一部改正（昭和50年 広島県条例第25号）施設使用料		
昭和51年 4月	広島県立美術館条例一部改正（昭和51年 広島県条例第9号）入館料		

平成3年2月	して一体的に整備する必要がある」と答弁 知事、県議会本会議において「基金設計に 着手する」ことを提案	29日	広島県条例第3号) 広島県美術館協議会条 例廃止
3月	県議会、平成3年度予算案(基本設計予算) を可決	7月10日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平 成12年 広島県教育委員会規則第5号) 入 館料等の減免
4月	広島県立美術館整備基本計画をまとめる 美術品等特別収集に着手 広島県立美術館美術品等取得基金、3億円 を増額(基金額10億円)	10月22日	常盤豊館長(兼務) 就任 広島県立美術館管理運営規則一部改正(平 成13年 広島県教育委員会規則第7号) 入 館料の減免
平成4年7月	施設利用業務休止。館蔵品常設展示室休室	12月20日	平山郁夫名誉館長辞任
9月	閉館記念式典挙行	平成14年3月25日	広島県立美術館条例一部改正(平成14年 広島県条例第18号) 小・中・高校生の無料化
10月	事務所を広島市西区観音新町四丁目9-43 に移転、仮事務所とする 旧県立図書館及び旧県立美術館の解体工事 に着手 広島県立美術館美術品等取得基金、10億円 を増額(基金額20億円)	4月1日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平 成14年 広島県教育委員会規則第10号) 開 館時間の変更
平成5年3月	解体工事、整地完了 新館建設工事安全祈願祭が挙行され、工事 に着手	平成16年7月1日	関靖直館長(兼務) 就任
4月	久保信保館長(兼務) 任命	平成17年12月20日	広島県立美術館条例一部改正(平成17年 広島県条例第57号) 展示施設等の利用許 可の条件、取消し等及び制限
12月	寺脇研館長(兼務) 任命 広島県立美術館美術品等取得基金、10億円 を増額(基金額30億円)	平成19年4月1日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平 成17年 広島県教育委員会規則第16号) 開 館時間表記の改正及び条例改正に伴う改正 榎田好一館長(兼務) 就任
平成6年5月	事務所を西区観音新町から広島市中区八丁 堀3-2 幟会館(2階)に移転 広島県立美術館美術品等取得基金、10億円 を増額(基金額40億円)	6月18日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平 成19年 広島県教育委員会規則第9号) 休 館日の変更及び条例改正に伴う改正
平成7年4月	常廣泰登館長(専任) 任命 広島県立美術館美術品等取得基金、5億円 を増額(基金額45億円)	12月25日	広島県立美術館条例一部改正(平成19年 広島県条例第56号) 学校教育法等の一部改 正に伴う改正
12月	新館竣工 新館鍵引渡し式を挙行	平成20年4月1日	指定管理者制度導入
平成8年1月	事務所を新館に移転	平成21年4月1日	所管先が広島県教育委員会生涯学習部文化 課から広島県環境県民局総務管理部文化芸 術課へ移行
4月1日	木曾功館長(兼務) 就任	広島県立美術館の入館料に関する規則施行 (平成21年 広島県規則第33号)	
7月1日	平山郁夫名誉館長就任	広島県美術展開催運営規則(平成21年 広 島県規則第34号)	
5日	広島県立美術館条例施行(平成8年 広島 県条例第16号) 入館料・施設使用料	藤田雄山館長(兼務) 就任	
22日	広島県立美術館管理運営規則一部改定(平 成8年 広島県教育委員会規則第9号) 施 設使用料	12月1日	平田光章館長(兼務) 就任
10月5日	新館開館記念式挙行	平成22年4月1日	抹香尊文館長(兼務) 就任
6日	新館開館 広島県立美術館美術品等取得基金、5億円 を増額(基金額50億円)	6月1日	広島県美術品等取得基金条例を廃止する条 例の施行(平成22年 広島県条例第22号)
平成9年3月26日	広島県立美術館条例施行(平成9年 広島 県条例第3号) 入館料・施設使用料	6月28日	広島県立美術館条例一部改正(平成22年 広島県条例第31号) 施設使用料額の下限撤 廃に伴う改正
4月1日	広島県立美術館管理運営規則(平成9年 広島県教育委員会規則第6号) 全面改定	平成23年4月1日	越智裕二郎館長就任
平成10年3月24日	広島県立美術館条例施行(平成10年 広島 県条例第5号) 入館料等の納付 広島県立美術館管理運営規則一部改正(平 成10年 広島県教育委員会規則第4号)	6月29日	広島県立美術館評価委員会設置
7月1日	辰野裕一館長(兼務) 就任	7月11日	広島県立美術館条例一部改正(平成23年 広島県条例第31号) 指定管理者による管理、 入館料の納付等および減免、利用料金の納 付等・減免及び収入
平成12年2月1日	広島県立美術館美術品等収集評価委員会設 置要領一部改正	平成25年2月18日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平 成25年 教育委員会規則第1号) 講堂の利 用申込期間の変更
平成13年3月26日	広島県博物館協議会条例施行(平成13年	3月14日	広島県立美術館の特別展の観覧に係る入館 料に関する規則一部改正(平成24年 広島県 規則第13号) 広島県立美術館条例一部改正

Ⅱ 展覧会

展覧会一覧

特別展

No.	展覧会名	会期
1	NHK大河ドラマ50年 特別展「平清盛」	平成24年4月21日(土)～6月3日(日)
2	木を植えた男 フレデリック・バック展	平成24年7月14日(土)～9月17日(月・祝)
3	おいでよ! 絵本ミュージアム2012 —絵本のまちにでかけよう! 童心社の紙芝居から児童書までが大集合—	平成24年7月24日(火)～9月9日(日)
4	ワクワク! ドキドキ! 夏休み子ども美術館	平成24年8月1日(水)～26日(日)
5	世界遺産 ヴェネツィア展 魅惑の芸術—千年の都	平成24年10月6日(土)～11月25日(日)
6	平木コレクション特別公開! 浮世絵の美展	平成24年12月4日(火)～平成25年1月14日(月・祝)
7	永田萌—夢みるチカラ展	平成24年12月5日(水)～平成25年1月14日(月・祝)
8	生誕100年 船田玉樹展 —異端にして正統、孤高の画人生—	平成25年1月21日(月)～2月20日(水)
9	第59回日本伝統工芸展広島展	平成25年2月27日(水)～3月17日(日)

所蔵作品展

	展覧会名	会期
第1期	そうだ、旅に出よう —美術館で世界一周	平成24年4月18日(水)～6月24日(日) 前期:平成24年4月18日(水)～5月20日(日) 後期:平成24年5月22日(火)～6月24日(日)
第2期	第3室 広島県立美術館のコレクションより	平成24年6月27日(水)～9月17日(月・祝) 前期:平成24年6月27日(水)～8月12日(日) 後期:平成24年8月14日(火)～9月17日(月・祝)
	第4室 平山郁夫《広島生変図》を中心に	
第3期	広島県立美術館名品選1 ～各ジャンルの代表作を一堂に～	平成24年9月14日(金)～11月30日(金) 前期:平成24年9月14日(金)～10月28日(日) 後期:平成24年10月30日(火)～11月30日(金)
	広島県立美術館名品選2 ～風景表現の系譜 静岡県立美術館のコレクションとともに～	
第4期	新収蔵作品を中心に	平成25年1月19日(土)～4月14日(日)
	彫刻展示スペース 宮永理吉の陶の世界	
	第1室 彫刻家・峯田敏郎 —新収蔵作品から 夢か、現か —ダリの大作《ヴィーナスの夢》を中心に	
	第2室 広島ゆかりの作家の新収蔵品を中心に	
	第3室 日本画にみる広島の情景 —新収蔵・宮川啓五《太田川》とともに—	
	第4室 新収蔵作品を中心に 岩崎博氏寄贈染織コレクション～インド&インドネシア篇とインドの民族衣装 新収蔵作品を中心に 河面冬山を中心に 柿右衛門様式の優品3点	

1 NHK大河ドラマ50年 特別展「平清盛」

会 期／平成24(2012)年 4月21日(土)～6月3日(日)
主 催／広島県立美術館、NHK広島放送局、
NHKプラネット中国、中国新聞社
後 援／広島市、広島市教育委員会、呉市、廿日市市、
広島エフエム放送、FMちゅーピー 76.6MHz、
エフエムふくやま、尾道エフエム放送、
FMはつかいち76.1MHz、FMハムスター
協 賛／日本写真印刷、ハウス食品、みずほ銀行、三井住友海上
協 力／進徳女子高等学校
入 館 料／一般1,200円(900円)、高・大学生800円(600円)、
中学生以下無料
※()内は前売・20名以上の団体
入館者数／55,304人(44日間)



NHK大河ドラマが広島に所縁の深い歴史的人物「平清盛」を取り上げたことから、本展覧会を開催した。この展覧会では、武家政権への先鞭や日宋貿易の推進に見られる先進性など新たな評価を加え、平清盛や平氏一門に関連する数々の作品・文化財により、平清盛の実像に迫ることを試みた。国宝「平家納経」など厳島神社に伝えられる至宝をはじめ、この時代を生きた人々の肖像画や書、主要な源平合戦を描いた絵画など、国宝19件、重要文化財26件を含む平安末期の文化を象徴する140件の美術品・工芸品・文書類・考古資料等を展示した。(本展担当者：石橋 健太郎(23年度)、宮本 真希子(24年度))

主催関連事業

(1) 講演会

- ①日 時：4月22日(日) 13:30～15:00
演 題：「清盛がめざしたもの」
講 師：高橋 昌明(神戸大学名誉教授・大河ドラマ「平清盛」時代考証)
場 所：地階講堂
聴講者：120人
- ②日 時：5月4日(金・祝) 13:30～15:00
演 題：「平成版・清盛の誕生」
講 師：磯 智明(NHK大河ドラマ「平清盛」チーフ・プロデューサー)
場 所：地階講堂
聴講者：120人

(2) 広島・厳島講座

- ①日 時：4月28日(土) 13:30～15:00
演 題：「頼山陽が描いた『平清盛』」
講 師：見延 典子(小説家)
場 所：地階講堂
聴講者：120人
- ②日 時：5月5日(土・祝) 13:30～15:00
演 題：「厳島の祭礼と華ひらく文化」
講 師：原田 佳子(広島女学院大学名誉教授)

場 所：地階講堂

聴講者：128人

③日 時：5月12日(土) 13:30~15:00

演 題：「厳島御幸と内侍舞楽一都人の記録と在地の記録一」

講 師：樹下 文隆 (県立広島大学教授)

場 所：地階講堂

聴講者：60人

④日 時：5月26日(土) 13:30~15:00

演 題：「聖地としての厳島神社と平清盛」

講 師：松井 輝昭 (県立広島大学教授)

場 所：地階講堂

聴講者：152人

(3) 平家琵琶演奏会

①日 時：4月29日(日) 14:00~15:00

公演者：鈴木 まどか (前田流平家詞曲相伝)

場 所：地階講堂

鑑賞者：87人

②日 時：5月27日(日) 14:00~15:00

公演者：荒尾 努 (平曲奏者)

場 所：地階講堂

鑑賞者：250人

(4) 雅楽演奏会

日 時：5月6日(日) 14:00~14:40

公演者：進徳女子高等学校雅楽部

場 所：1階ロビー

鑑賞者：285人

(5) 舞楽鑑賞会

日 時：5月13日(日) ①11:00~12:00 ②14:00~15:00

公演者：雅良会

場 所：地階講堂

鑑賞者：122人

(6) 十二単着付けショー

日 時：5月19日(土)・20日(日) ①11:00~11:30 ②14:00~14:30

実演者：なごみ会

場 所：1階ロビー

観覧者：1010人

(7) 作品解説会 (ギャラリー・トーク)

日 時：会期中の毎週金曜日 10:00~、18:00~

講 師：宮本 真希子 (当館主任学芸員)

場 所：3階企画展示室

参加者：362人

(8) 「平清盛展」セルフガイド (鑑賞の手引き) 作成・配布

仕 様：A3判モノクロ・リソグラフ両面印刷

その他の関連事業

(1) ちゅーピー美術サロン (中国新聞文化センター主催)

日 時：4月27日(金) 14:00~15:00

講 師：宮本 真希子 (当館主任学芸員)

場 所：3階ティールーム

参加者：33人

- (2) ワークショップ「ぼくのわたしの願い文」(NHK広島放送局主催)
 日 時：4月30日(月・祝) 9:00~17:00
 場 所：3階ロビー
 参加者：45人
- (3) 広島学レクチャー(広島修道大学主催)
 日 時：4月28日(土)
 講 師：宮本 真希子(当館主任学芸員)
 場 所：3階ロビー
 参加者：10人
- (4) 県立広島大学連携講座「『平清盛展』から何がみえてくるのか」(県立広島大学主催)
- ①日 時：5月20日(日) 13:30~16:20
 講師「演題」：西本 寮子(県立広島大学教授)「平家の時代を考える—物語文学研究の立場から—」
 石橋健太郎(県立歴史民俗資料館主任学芸員)「『平清盛展』の展示作品から」
 場 所：地階講堂
 鑑賞者：51人
- ②日 時：5月27日(日) 13:30~16:20
 講師「演題」：松井 輝昭(県立広島大学教授)「平清盛の敵島信仰と女性たち」
 宮本真希子(当館主任学芸員)「『平清盛展』の私的鑑賞法」
 場 所：県立広島大学1175講義室
 鑑賞者：32人
- (5) 広島市立大学知のトライアスロン(広島市立大学主催)
 日 時：5月26日(土) 10:30~12:00
 講師「演題」：城市真理子(広島市立大学准教授)「平清盛展鑑賞のツボ 平家納経を中心に」
 宮本真希子(当館主任学芸員)「平清盛展の見所について」
 場 所：地階講堂
 聴講者：80人
- (6) NHK大河ドラマパネル展(NHK広島放送局主催)
 日 時：会期中の毎週土曜日、9:00~17:00
 場 所：1階ロビー

主要関連記事

- (1) 中国新聞 2月25日社告、4月16日特集記事、4月22日開幕記事、4月27日イベントナビ、4月28日高橋昌明名誉教授講演会、5月2日読者プレゼント、5月6日一万人セレモニー、5月10日「特別展『平清盛』に見る歌人西行」(五味文彦)、5月24・25・26日作品解説、5月18日「特別展『平清盛』彩る平家物語」(寄稿)、5月22日2万人セレモニー
- (2) 毎日新聞 5月8日毎日美術館(展覧会紹介・寄稿)
- (3) 産経新聞 4月22日開幕記事、5月7日1万人セレモニー
- (4) 読売新聞 4月13日おでかけインフォメーション
- (5) その他 4月20日キヨモリ通信(大河ドラマ「平清盛」広島県推進協議会)、広島市文化財団ホームページ(展覧会紹介・寄稿)

主要関連番組

- (1) NHK
- 【ローカルニュース】4月20日開幕告知、4月21日開会式、4月29日平家琵琶鑑賞会、5月7日1万人セレモニー、5月19日十二単着付けショー、5月21日2万人セレモニー
- 【関連番組】4月27日~5月26日2分間ミニ番組「清盛展PR」(広島県域・16回)
 4月26日「ひろもり」
- 【30秒スポット】4月18日~6月2日(広島県域または中国ブロック・41回)
 5月2日~6月1日(四国ブロック・11回)(福岡県域・8回)
- 【その他】
 ・ラジオお知らせ(広島県域・中国ブロック・随時)
 ・データ放送、ホームページ(2月22日~)

- (2) 広島テレビ 4月21日ニュース（開会式）、4月28日「LOVE清盛」
- (3) 広島ホームテレビ 5月2日県広報番組「広島発ケンTV」
- (4) ふれあいチャンネル 5月14日～27日「ア・ミュージアムレター」
- (5) 広島ケーブルテレビ 4月23日～27日「HICATホットニュー」（6回／日）
- (6) ラジオ 4月19日MBCラジオ（鹿児島）、4月24日エフエムおのみち（よっちゃんのちょっといい話）、5月8日エフエムふくやま、5月16日広島エフエム放送、5月26日FM東広島（HAPPYモーニングサタデー）

カタログ内容

清盛の目ざしたもの（高橋昌明）

第一章 平氏隆盛の足跡

第二章 清盛を巡る人々

第三章 平氏の守り神－厳島神社

第四章 平氏の時代と新たな文化

第五章 平家物語の世界

物語の中の清盛－化身の清盛像－（問屋真一）

貴族政権から武家政権へ－平氏政権の特質（石橋健太郎）

平氏の時代を遺跡からみる（植山茂）

凡例／平氏と朝廷・源氏の略系図／平氏の隆盛－知行国の変遷図／朝廷の主要人物／平氏の主要人物／源氏の主要人物／日宋貿易／源平合戦地図／平清盛 関係年表／平清盛ゆかりの地／主要参考文献／出品目録／謝辞

展覧会巡回先

東京都江戸東京博物館 平成24年1月2日（月・祝）～2月5日（日）

神戸市立博物館 平成24年2月25日（土）～4月8日（日）

京都府京都文化博物館 平成24年6月16日（土）～7月17日（火）

2 木を植えた男 フレデリック・バック展

会 期／平成24(2012)年 7月14日(土)～

平成24年 9月17日(月・祝)

主 催／広島県立美術館、広島テレビ

企画制作協力／スタジオジブリ、三鷹の森ジブリ美術館

特別協力／アトリエ・フレデリック・バック、

ラジオ・カナダ

後 援／ケベック州政府在日事務所、広島市、

広島市教育委員会、広島県PTA連合会、

広島市PTA協議会、読売新聞広島総局、

中国放送、広島ホームテレビ、

テレビ新広島、広島エフエム放送、

F Mちゅーピー 76.6MHz、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、F Mはつかいち76.1MHz、

F Mハムスター

協 賛／にしき堂、アンデルセン

協 力／EPSON、ウォルト・ディズニー・スタジオ・ジャパン、楽天トラベル、オークヴィレッジ、

セラヴィリゾート泉郷、認定NPO法人 環境リレーションズ研究所

入 館 料／一般 1,200 (1,000) 円 高・大学生 900 (700) 円 小・中学生 600 (400) 円

※ () 内は前売・20人以上の団体料金

入館者数／22,310人 (66日間)



フランスで生まれ、カナダのモントリオールで現在も活躍を続ける世界的なアニメーション作家フレデリック・バック (1924-)。これまで、「クラック！」(1981年) や「木を植えた男」(1987年) により、2度に渡りアカデミー賞短編アニメーション部門で受賞するなど高く評価されるとともに、広島国際アニメーションフェスティバルでも2度のグランプリを受賞 (1987年・木を植えた男、1994年・大いなる河の流れ) するなど、本県との関わりも知られている。

本展は、アカデミー賞受賞作を含む9つのアニメーション作品の原画と、アニメーション制作を支える源となった膨大なスケッチを含めた約1,000点というかつてない規模で、バックの制作活動の軌跡を紹介。会期中に開催された広島国際アニメーションフェスティバルとの広報連携等により、遠方からの来館者も多く、バックの豊かな色彩と温かな作品世界が好評を博した。

(本展担当者：藤崎 綾)

関連事業

(1) トーク&ピアノコンサート

日 時：7月28日(土) 13:30～

講 師：西村 由紀江 (ピアニスト)・中島 清文 (三鷹の森ジブリ美術館館長)

会 場：1階ロビー

聴講者：420人

(2) ワークショップ

①「色鉛筆を使ってバックさんに挑戦！」

日 時：7月21日(土) 10:30～/13:30～

講 師：加藤 宇章（造形作家・アトリエばお代表）
会 場：3階ロビー
対 象：小学校3年生程度以上 参加料：無料
参加者：48人

②「トーテムポール・ワークショップ」

日 時：会期中随時
会 場：3階企画展示室内
参加者：約7,000人

(3) 絵本と紙芝居 読み聞かせ会

日 時：8月18日(土) 10:30～/15:00
講 師：馬場 のぶえ（広島テレビアナウンサー）
会 場：3階ロビー
参加者：205人

(4) 映画上映

上映日：8月18日(土)～8月31日(金)
会 場：八丁座（広島市）



主要関連番組

(1) テレビ

広島テレビ「番組フレデリック・バック」6月9日、23日、30日、7月7日、13日、21日、28日、8月8日、18日
広島テレビ 特別番組「木を植えた男」7月14日
広島テレビ「テレビ派ッ！」7月27日
ふれあいチャンネル（ケーブルテレビ）「A Museum Letter」9月1日～9月16日

(2) ラジオ

エフエムふくやま「GO! GO! びんご」7月18日
広島エフエム「アヤノンスタイル」9月7日

主要関連記事

(1) 新聞

読売新聞「息吹と愛 微細筆致1000点 フレデリック・バック展14日開幕」7月5日
読売新聞「フレデリック・バック展開幕 県立美術館」7月15日
朝日新聞「『木を植えた男』原画など1千点」7月18日
読売新聞「『木を植えた男』の信念で自信 フレデリック・バック展 西村由紀江さんらトークショー」7月29日
毎日新聞「毎日美術館 温かい風合い 豊かな色彩」8月9日
読売新聞「バック展入場 1万人突破」8月22日（11月17日/朝刊・社会面）
読売新聞「美と温かな色彩 アニメ原画など1000点 フレデリック・バック展」8月29日

(2) 雑誌等

『タウン情報ひろしま』7・8月号
『いわみりびえ〜る』7月8日
『広島商工会議所会報』7月17日
『Wink』8月号
『Busport』8月号
『色絵馬（広島県立美術館友の会会報）』60号
広島県立美術館ブログ・メルマガ 7月10日、11日、30日、8月10日、20日、27日、9月12日、14日

カタログ内容

フレデリック・バックからのメッセージ
戦争・国境・民族・民俗～バックさんを自伝を読んで～ 高畑勲
『木を植えた男』を見て 宮崎駿
フレデリック・バックの仕事におけるデッサンの位置 リジャー・ガニエ
プロローグ

祖国フランス
出会いと旅立ち
新天地カナダ
旅の記憶

イラストレーションー多様な仕事

テレビの仕事ーすさまじい製作のリズム

9 Animations, 1 Messageー 9つのアニメーション、 1つのメッセージ

アクティヴィストー未来へつなぐ活動

フレデリック・バックとその時代

インタビュー フレデリック・バック、ユベール・ティソン、ノルマン・ロジェ、ジャン・ロビヤール

寄稿 倉本聰、小畑精和、山村浩二、増田春雄

リスト

展覧会巡回先

東京都現代美術館 平成23年7月2日～平成23年10月3日

札幌芸術の森美術館 平成24年3月17日～平成24年5月27日

3 おいでよ！絵本ミュージアム2012—絵本のまちにでかけよう！童心社の紙芝居から児童書までが大集合—

会 期／平成24(2012)年7月24日(火)～9月9日(日)
会 場／2階展示室（彫刻展示スペース、展示室1.2）
主 催／広島県立美術館、中国新聞社
後 援／広島市、広島市教育委員会、広島県PTA連合会、
広島市PTA協議会、広島県国公立幼稚園連盟、
広島県私立幼稚園連盟、広島市私立幼稚園協会、
広島県保育連盟連合会、広島市保育連盟、
ひろしま子ども夢財団、中国放送、広島テレビ、
広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、
FMちゅーピー 76.6MHz、エフエムふくやま、
尾道エフエム放送、エフエムはつかいち76.1MHz、
FMハムスター

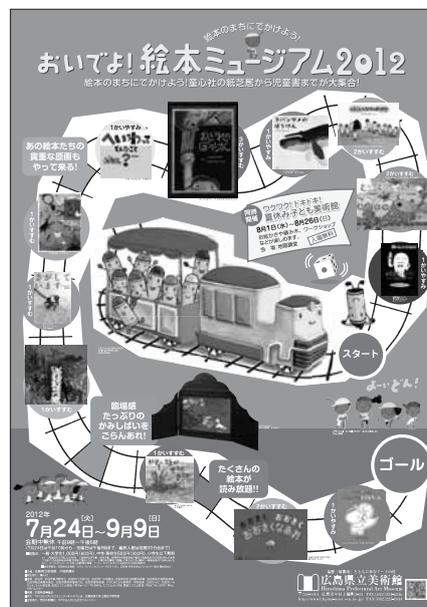
企画協力／西日本新聞社、NPO法人子ども文化コミュニティ
協 力／童心社、NPO法人子どもコミュニティネットひろしま、
広島経済大学土屋祐子研究室

協 賛／広島県信用組合

入 館 料／一般・大学生1000円（800円）、中学・高校生500円（300円）、小学生以下無料

※（ ）内は前売・20名以上の団体

入館者数／26,962人（48日間）



本企画は、福岡アジア美術館、西日本新聞社及びNPO法人子ども文化コミュニティが、5年間にわたり毎夏共同開催し、成果を挙げてきた「絵本ミュージアム」を誘致したもので、身近な総合芸術「絵本」を題材に、子ども達の豊かな情操を育て、家族の絆を深める一助となることと、より開かれた美術館となることを志して開催した。

このたびは同館で平成22年に開催された、優れた児童書の出版と紙芝居の普及活動で知られる童心社の絵本と紙芝居で構成された企画を採用。絵本の世界の再現、原画の展示、絵本の読み聞かせ、紙芝居の上演、絵本1000冊のハンズオン展示など、子どもの興味・関心や発達段階に配慮の行き届いたアプローチにより「くれよんのくろくん」「おいしいれのぼうけん」「じごくのそうべえ」などの名作が再現され、「絵本のまち」が繰り広げられた。
(本展担当者：宮本 真希子)

関連行事

(1) 記念講演会

日 時：7月29日(日) 13:00～15:00

演 題：『おいしいれのぼうけん』誕生のひみつ

講 師：たばた せいいち（絵本作家）、酒井 京子（童心社会長）

会 場：地階講堂

聴講者：150人

(2) セミナー（童心社協力企画）

日 時：8月11日(土) 13:00～16:00

テーマ：紙芝居セミナー「演じてみよう、紙しばい はじめの一步！」
～日本独自の文化財、紙芝居の魅力を実演しながら楽しく学ぶセミナー～

講師：中平 順子（子ども文化研究家）

場所：3階大会議室

参加者：36人

(3) ワークショップ

①「とよた かずひこさんと絵本をつくろう」（童心社協力企画）

日時：8月5日(日) 13:00～15:30

講師：とよた かずひこ（絵本作家）

場所：地階ロビー

参加者：19人

②「モンスターをデザインしよう！～おばけ絵本をヒントにTシャツにデザインしよう～」

（子どもコミュニティネットひろしま協力企画）

日時：8月19日(日) 10:00～12:00、13:00～15:00

講師：新納 優子、子どもコミュニティネットひろしま

場所：地階ロビー

参加者：44人

③「わくわく 段ぼうろのミニハウス作り～絵本『おみせやさん』を読んで自分のおみせやさんを作ろう～」

（子どもコミュニティネットひろしま協力企画）

日時：8月25日(土) 10:00～11:00、13:00～14:00

講師：上田 さゆり、子どもコミュニティネットひろしま

場所：地階ロビー

参加者：71人

④「絵本のおびをデザインしよう！」（広島経済大学土屋祐子研究室協力企画）

日時：8月12日(日)、18日(土) 13:30～14:30

講師：土屋 祐子（広島経済大学）、井上 洋平・秋田 竜（同大学4年生）他

場所：地階ロビー

参加者：52人

(4) 絵本の読み聞かせ、紙芝居

①「とよた かずひこさんのよみきかせ会」（童心社協力企画）

日時：8月5日(日)

場所：絵本ミュージアム展覧会場内（絵本リゾート）

参加者：120人

②絵本のよみきかせ&紙芝居

日時：会期中の水曜日・日曜日（1日2回実施）

会場：絵本ミュージアム展覧会場内（紙芝居小屋）

参加者：1,615人

主要関連記事

中国新聞 7月6日社告、7月10日展覧会情報、7月17日講演会案内、7月20日イベントナビ、7月24日開幕記事、
8月3日特集記事、8月11日万人セレモニー、8月12日読者プレゼント

その他 読売新聞（7月15日、展覧会情報）、広島県立美術館友の会報「色絵馬」7月号、「美術の窓」8月号、「月
間児童文学翻訳」HP／メールマガジン、「こどもMOE」ウェブサイト、いくちゃんネット掲示板、ひろ
しまナビゲーター（ウェブ）、メディア中国Cue（8月17日・8月24日）

主要関連番組

NHK（7月24日ローカルニュース）、RCC（ラジオカー）、ひろしまケーブルテレビ（7月27日～30日、HICATほっと
ニュース）、FMふくやま（7月31日）

4 ワクワク！ドキドキ！夏休み子ども美術館

会 期／平成24(2012)年 8月1日(水)～26日(日)
 会 場／地階講堂及びロビー
 主 催／広島県立美術館
 後 援／広島市、広島市教育委員会、広島県PTA連合会、
 広島市PTA協議会、広島県国公立幼稚園連盟、
 広島県私立幼稚園連盟、広島市私立幼稚園協会、
 広島県保育連盟連合会、広島市保育連盟、
 ひろしまこども夢財団、中国新聞社、NHK広島放送局、
 中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、
 テレビ新広島、広島エフエム放送、
 FMちゅーピー 76.6MHz、エフエムふくやま、
 尾道エフエム放送、エフエムはつかいち76.1MHz、
 FMハムスター

協 力／岩国短期大学、県立広島大学、鈴峯女子短期大学、
 比治山大学短期大学部、広島市立大学、広島大学、
 広島文化学園短期大学、広島文教女子大学

助 成／文化庁文化芸術振興費補助金（文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業）

入 館 料／無料（必要に応じてワークショップの材料費を徴収）

入館者数／8,291人（26日間）



夏休み期間中に幼児から小学生までの子ども達と保護者を対象に、子ども達が美術館及び美術作品に親しみ、また美術に興味を持てるよう、創作活動や作品鑑賞の機会を提供した。地階講堂とロビーにお絵かきコーナー（画用紙を壁・床一面に貼って、クレヨンで自由にお絵描き）、積み木コーナー（同一の比率・大きさによる直方体の積み木を組み立てて自由に造形）、ワークショップコーナー（大学・短期大学の教員・学生等による企画・実施）を設置し、運営した。（本企画担当者：宮本 真希子）

実施ワークショップ一覧

No.	月 日	曜日	時 間	ワークショップ	講 師	参加人数 日計
1	8月1日	水	午前 10:30～12:00	ペットボトルでランドヨット（風を帆で受けて走る車）をつくらう	藤原 逸樹 （安田女子大学教授）	62名
			午後 13:00～14:30			
2	8月6日	月	午前 10:00～12:00	分身を作ろう！～大きな画用紙に自分の全身を型取りして等身大の分身を作る～	久保田 貴美子（比治山大学短期大学部准教授）	50名
			午後 13:30～15:30			
3	8月7日	火	午前 10:00～11:30	みんなで作ろう！大きな絵本～展示作品をヒントに等身大の大きな絵本をみんなで作って楽しく鑑賞～	中村 和世（広島大学教育学部准教授）、院生	63名
			午後 13:00～14:30			
4	8月9日	木	午前 10:30～11:30	バタバタ人形を作ろう！ ～紙コップとストローで作る動く人形～	沼本 秀昭（鈴峯女子短期大学准教授）	93名
			午後 13:00～14:00			
5	8月10日	金	午前 10:00～11:30	まわる！メリーゴーランド絵本～くるくる回してお話が進む、手のひらサイズの劇場絵本を作ってみよう～	中村 和世（広島大学教育学部准教授）、院生	53名
			午後 13:00～14:30			
6	8月11日	土	午前 10:00～12:00	繋げてパッチン、紙で作るカラフルぼうし	池田 吏志（広島大学教育学部講師） 広島大学教育学部図工ゼミ	64名
			午後 13:30～15:30			

No.	月 日	曜日		時 間	ワークショップ	講 師	参加人数 日計
7	8月15日	水	午前	10:00~12:00	どんぐりでマスコットを作ろう！	大塚 彰（県立広島大学保健福祉学部教授）	79名
			午後	13:00~15:00			
8	8月16日	木	午前	10:30~11:30	美術館ってどんなところ？ ～ゲームで始める楽しい美術鑑賞～	当館学芸員	88名
			午後	13:30~14:30			
9	8月17日	金	午後	13:30~14:30	コンテでかこう！自由にかくってどんなこと？	奥原 球喜（広島文化学園短期大学教授）	29名
10	8月21日	火	午前	10:30~11:30	美術館ってどんなところ？ ～ゲームで始める楽しい美術鑑賞～	当館学芸員	80名
			午後	13:30~14:30			
11	8月22日	水	午前	10:30~11:30	はさみでちよきちよき、切り紙の葉 ～あつめてつくろう！おおきな木～	児玉 香織 （線画アーティスト）	136名
			午後	13:30~14:30			
12	8月24日	金	午前	10:00~11:30	「風を感じよう」 かざぐるまの製作	岩国短期大学幼児教育科 工作無限塾同好会	35名
			午後	13:00~14:30	牛乳パックを使ったびっくりドッキリ とび出すおばけの製作		
14	8月26日	日	午後	13:30~16:00	みんなでつくろう！アルミアート （切り開いたアルミ缶で作品を作る）	佐伯 育郎（広島文教女子大学准教授）	23名

主要関連番組

8月14日エフエムふくやま（おはようときめきタイム「元気キッズ」）、「月刊児童文学翻訳」HP・メールマガジン、
（株）プレスネットフリーペーパー特集「夏休み 親子で楽しめる涼しいスポット」

5 世界遺産 ヴェネツィア展 魅惑の芸術一千年の都

会 期／平成24(2012)年10月6日(土)～
平成24年11月25日(日)
主 催／広島県立美術館、中国放送、中国新聞社、
東映、TBS
後 援／外務省、文化庁、イタリア大使館、
広島市、広島市教育委員会、
広島日伊協会、広島テレビ、
広島ホームテレビ、テレビ新広島、
広島エフエム放送、
FMちゅーピー 76.6MHz、
エフエムふくやま、尾道エフエム放送、
FMはつかいち76.1MHz

特別協賛／メンテックワールド

協 賛／大日本印刷、損保ジャパン、広島県信用組合、リベラ

協 力／ヴェネツィア市立美術館群財団、アリタリアーイタリア航空、日本貨物航空、アルテリア、
日本通運

入 館 料／一般 1,300 (1,000) 円 高・大学生 900 (700) 円 小・中学生 700 (500) 円

※ () 内は前売・20人以上の団体料金

入館者数／69,455人 (51日間)



強大な軍事力と交易による富を背景に、「アドリア海の女王」と讃えられた、栄華なる水の都・ヴェネツィア。中世から時が止まったかのような麗しき街に魅了され、今日では、年間約2000万人もの旅行者がこの小さな島に訪れているという。本展では、ヴェネツィア派絵画、ヴェネツィアン・グラス、黄金時代の生活を彩った豪華な品々など、ヴェネツィア市立美術館群からの出品による約150点の作品によって、ヴェネツィア一千年の歴史を紹介した。

また、広島会場独自の取り組みとして、一部展示作品の写真撮影可能とした。他にも、出品作品に描かれている貴族の衣装を再現し、着用した人物が実際に館内を巡回するといったイベントの実施、オープンカフェの設置等によって盛況を博した。
(本展担当者：山下 寿水)

関連事業

(1) 講演会

①「ヴェネツィアー水の都と芸術」(広島県立美術館友の会共催)

日 時：10月6日(土) 14:00～

講 師：京谷 啓徳 (九州大学大学院准教授)

会 場：地階講堂

聴講者：195人

②「ヴェネツィア美術の魅力」

日 時：10月13日(土) 14:00～

講 師：宮下 規久朗 (神戸大学大学院准教授)

会 場：地階講堂



聴講者：177人

③「水とともに生きるーヴェネツィアのライフスタイルと現代アート」

日 時：11月11日(日) 14：00～

講 師：ジャンルーカ・サンヴィード（彫刻家、ヴェネツィア出身）

会 場：地階講堂

聴講者：112人

(2) 内覧会

日 時：10月5日(金) 15：00～

会 場：地階講堂、3階企画展示室

参加者：120人（地階講堂にて当館学芸員によるレクチャーの後、自由に展覧会鑑賞）

(3) 記念オペラコンサート「Viva Venezia!」

日 時：10月7日(日) 14：00～15：00

出 演：柳 清美（ソプラノ）、藤田 卓也（テノール）、上杉 智穂（ピアノ伴奏）

協 力：ひろしまオペラ・音楽推進委員会

司 会：和佐 由紀子（中国放送アナウンサー）

会 場：1階ロビー

聴講者：580人

(4) よくわかる解説付き鑑賞会

日 時：11月4日(日) 14：00～

講 師：山下 寿水（当館学芸員）

会 場：地階講堂

聴講者：87人

(5) ギャラリートーク

①一般来館者向け

日 時：毎週金曜日11：00～／18：00～

講 師：山下 寿水（当館学芸員）

会 場：3階企画展示室

聴講者：442人

②団体向け

日 時：10月7日、10日、12日、19日、26日、11月1日、2日、9日、21日

講 師：山下 寿水（当館学芸員）

会 場：3階企画展示室、地階講堂など

聴講者：208人

(6) ワークショップ

①「あなただけの仮面（マスケラ）をつくろう！」

日 時：10月20日(土) 11：00～／15：00～

講 師：戸川 幸一郎（絵本絵画造形作家）

対 象：中学生以下 参加料：500円

参加者：32人

②「ヴェネツィアのガラス細工ーミルフィオリで七宝アクセサリーをつくろう！」

日 時：11月3日(土) 11：00～／13：30～／15：00～

講 師：林 裕子（ガラスの里指導員）

対 象：全年齢 参加料：1000円～2000円（材料実費。制作物は選択可能）

参加者：33人

(7) 絵画の中から飛び出す貴族！

出品作《香水売り》に描かれたヴェネツィア貴族の服装をまとった人物が、館内を巡回した。

日 時：毎週土・日曜日13：00～15：00〈16回〉

協 力：石田あさきトータルファッション専門学校

会 場：3階企画展示室など

(8) ちゅーピー美術サロン

日 時：10月10日(水) 14：00～15：00

講 師：山下 寿水（当館学芸員）
内 容：ケーキとコーヒーを楽しみながら学芸員の解説を聞いた後、自由鑑賞。
入館料とケーキセット込みで1500円
運 営：中国新聞情報文化センター
会 場：3階ティールーム「徒夢創家」
参加者：30人

- (9) 中国新聞愛読者対象ギャラリートーク
日 時：10月28日、11月4日、8日、10日、11日、12日、15日、21日〈8回〉
会 場：広島県立美術館 3階企画展示室（10月28日のみ地階講堂にて実施）
講 師：山下 寿水（当館学芸員）、宮本 真希子（当館主任学芸員）
内 容：中国新聞販売所で前売り券を購入した読者対象のギャラリートーク
運 営：中国新聞専売会
参加者：254人

- (10) 出張講座「ヴェネツィア一千年の美をめぐる旅」

講 師：山下 寿水（当館学芸員）

- ①日 時：10月14日（日）13：30～ 会 場：広島市藤の木公民館 参加者：11名
②日 時：10月21日（日）13：30～ 会 場：広島市福田公民館 参加者：6名
③日 時：10月27日（土）13：30～ 会 場：福山市山南公民館 参加者：12名
④日 時：11月2日（金）14：50～ 会 場：広島市己斐公民館 参加者：29名
⑤日 時：11月10日（土）10：00～ 会 場：広島市舟入公民館 参加者：24名

- (11) 県美1階エントランス「イタリアンバー」

日 時：会期中の土・日・祝日 10：00～17：00〈12日間〉

- (12) 県美1階レストラン「ラ・シガール」、アランビックとのタイアップ（特別ランチ提供）

期 間：10月6日（土）～11月25日（日）

内 容：タイアップ用ポスター・チラシを取扱い店舗、美術館内に配布・掲示、アランビック内レストランでの前売り券委託販売

- (13) 広島市内イタリアレストランとのタイアップ〈特別ランチ提供〉

期 間：10月6日（土）～11月25日（日）

内 容：広島市内のレストラン（8店）でポスター・チラシ・割引券を設置

- (14) ヴェネツィア展開催記念ツアー「千年の都ヴェネツィアと花の都フィレンツェ7日間」

内 容：インターネット・はがきのアンケートに答えた方から抽選で1名にツアー招待
応募数：9,735件（美術館での申込み2,348件、はがき564件、メール6,823件）

主要関連番組等

- (1) 中国放送（テレビ）

- ・「d ポンナビ」9月1日（土）18：50～ 山下 寿水（当館学芸員）出演
- ・「エンタがR」9月19日（水）9：55～ 辻井 伸行さんインタビュー
- ・「イマなま」（夕方ワイド番組）潜入ルポ 10月5日（金）
- ・「ニュース6」（明日から開幕）10月5日（金）
- ・「昼ニュース」（開会式）10月6日（土）
- ・「世界遺産ヴェネツィア展スペシャル 辻井伸行の音楽と芸術の旅」10月8日（月・祝）13：55～14：50
- ・「昼ニュース」（来場1万人セレモニー）10月12日（金）
- ・「アウォーン」10月12日（金）
- ・「エンタがR」10月31日（水）9：55～ 山本 恵子（当館事業推進課職員）出演
- ・「昼ニュース」（来場3万人セレモニー）11月1日（木）
- ・「イマなま」内ニュース（来場3万人セレモニー）11月1日（木）
- ・〈CMスポット〉15秒：449本

- (2) 中国放送（ラジオ）

- ・「おいくら萬円」9月23日（日）12：30～ 山下 寿水（当館学芸員）出演
- ・「うららか日曜日」10月7日（日）9：00～ 和佐 由紀子アナウンサーによるオペラコンサート紹介
- ・「おいくら萬円」10月29日（日）12：30～ 宮本 真希子（当館主任学芸員）出演

- ・「ラジオカー」10月31日(水) 13:20～ 宮本 真希子(当館主任学芸員)出演
- ・「おいくら萬円」11月18日(土) 12:30～ 山本 恵子(当館事業推進課職員)出演
- ・〈CMスポット〉20秒:361本、30秒:157本
- (3) NHK広島放送局
 - ・「昼ニュース」(展覧会紹介)10月15日 11:05～
 - ・「ひろもり」(展覧会紹介、出演:山下 寿水(当館学芸員))10月19日 11:30～
- (4) 広島ホームテレビ
 - ・「広島発ケンTV」(展覧会紹介)10月24日 20:54～
- (5) テレビ新広島
 - ・「知りため!プラス」(展覧会紹介、出演:山下 寿水(当館学芸員))11月10日 9:54～
- (6) ふれあいチャンネル(CATV)
 - ・「ア・ミュージアムレター」(展覧会紹介、出演:山下 寿水(当館学芸員))10月29日～11月12日(計42回)
- (7) 広島ケーブルテレビ(CATV)
 - ・「ハイキャット・ホットニュース」(展覧会紹介、出演:山下 寿水(当館学芸員))10月29日～11月2日(計5回)
- (8) FMちゅーピー
 - ・「オーバー・ザ・レインボー」(ヴェネツィア展紹介、出演:山下 寿水(当館学芸員))10月4日(木)
 - ・〈CMスポット〉20秒 展覧会開始直前告知
- (9) FM東広島
 - ・「Happy Morning Sunday」(ヴェネツィア展紹介、出演:山下 寿水(当館学芸員))9月23日(日)
- (10) エフエムふくやま
 - ・「おはようときめきタイム」(ヴェネツィア展紹介、出演:山下 寿水(当館学芸員))10月17日(水)
- (11) 尾道エフエム放送
 - ・「ユウガッタ・レディオ」(ヴェネツィア展紹介、出演:山下 寿水(当館学芸員))10月23日(火)
- (12) FMはつかいち
 - ・「キラキラ☆アートボックス」(ヴェネツィア展紹介、出演:山下 寿水(当館学芸員))11月9日(金)

主要関連記事

中国新聞

- ・「水都の芸術品 日本へ 東京で9月広島には来秋」(2011年5月18日/朝刊)
- ・「水の都世界遺産ベネチア紹介」(2011年6月25日/朝刊特集)
- ・「運河に浮かぶ世界遺産ベネチア紹介」(2011年8月2日/夕刊特集・トライアングル)
- ・「東京展開幕記事」(2011年9月23日/朝刊)
- ・「7月2日早割券発売開始」(6月20日/朝刊)
- ・「来月2日早割券発売」(6月22日/朝刊・事業ガイド)
- ・「辻井伸行が公式テーマ曲」(9月8日/朝刊・芸能面)
- ・「水の都栄華たどる・予習セット販売」(9月14日/朝刊・事業ガイド/執筆:山下寿水)
- ・内覧会に読者会員120人招待(9月19日/朝刊・ふれあい)
- ・超音速(9月25日/朝刊)
- ・「美が照らす水上の栄華」(9月25日/朝刊特集)
- ・ちゅーピー美術サロン参加者募集(9月26日/朝刊・ふれあい)
- ・RCC特番記事「辻井伸行が巡る音楽と芸術の都」(9月29日/朝刊・文化面)
- ・広電でPR(9月29日/朝刊)
- ・「6日開幕・水の都の至宝 広島に姿」(10月3日/朝刊・一面)
- ・ヴェネツィア展開幕(10月6日/夕刊)
- ・ヴェネツィア展きょうから広島・内覧会開催(10月6日/朝刊)
- ・広島でヴェネツィア展開幕(10月7日/朝刊・一面)
- ・「千年の栄光ヴェネツィア展から㊤」(10月8日/朝刊・一面)
- ・きょうの番組案内「辻井伸行の音楽と芸術の旅」(10月8日/朝刊・テレビ欄)
- ・「千年の栄光ヴェネツィア展から㊦」(10月9日/朝刊・一面)
- ・「千年の栄光ヴェネツィア展から㊧」(10月10日/朝刊・一面)
- ・「ヴェネツィア展内覧会イベントレポート」(10月10日/朝刊・ふれあい面)

- ・「事業ガイド」(10月12日／朝刊)
- ・「1万人セレモニー」(10月13日／朝刊・社会面)
- ・「県立美術館でバル開催」(10月14日／朝刊・都市圏)
- ・「広場」(10月14日／朝刊)
- ・「広場」(10月15日／朝刊)
- ・「水都の煌めき・絵画編①」(10月16日／朝刊・文化面／執筆：松田 弘)
- ・「水都の煌めき・絵画編②」(10月17日／朝刊・文化面／執筆：山下寿水)
- ・「水都の煌めき・絵画編③」(10月18日／朝刊・文化面／執筆：松田 弘)
- ・「水の都」召しませ(10月20日／朝刊・くらし面)
- ・天風録(10月21日／朝刊)
- ・「水都の煌めき・絵画編④」(10月23日／朝刊・文化面／執筆：山下寿水)
- ・「水都の煌めき・絵画編⑤」(10月24日／朝刊・文化面／執筆：山下寿水)
- ・「発言交差点 天風録を読んで」(10月26日／朝刊・広場)
- ・「仮装で会場に彩り・石田あさき」(10月29日／朝刊)
- ・「美術史家・宮下規久朗さん ヴェネツィア展を語る」(10月30日／朝刊・文化面)
- ・「水都の煌めき・工芸編①」(10月31日／朝刊・文化面／執筆：宮本真希子)
- ・「水都の煌めき・工芸編②」(11月1日／朝刊・文化面／執筆：宮本真希子)
- ・「3万人セレモニー」(11月2日／朝刊・社会面)
- ・「水都の煌めき・工芸編③」(11月2日／朝刊・文化面／執筆：宮本真希子)
- ・「水都の煌めき・工芸編④」(11月3日／朝刊・文化面／執筆：山下寿水)
- ・「水都の煌めき・工芸編⑤」(11月6日／朝刊・文化面／執筆：山下寿水)
- ・「京谷先生寄稿」(11月10日／朝刊・文化面)
- ・「5万人セレモニー」(11月17日／朝刊・社会面)
- ・「ひととき・ジャンルーカ・サンビード」(11月17日／朝刊・文化面)
- ・「ヴェネツィア展25日まで」(11月22日／朝刊・文化面)
- 〈広告〉15段4C(2回)、7段4C(1回)、5段4C(4回)、5段(1回)、半5段(11回)、3段(31回)、半3段(19回)

読売新聞

- ・「広島県民情報」(11月7日／朝刊)

中国新聞社情報誌

『CUE』

- ・ちゅーピーくらぶ通信「内覧会募集」(9月21日)
- ・前売券販売中(9月28日 3段)
- ・ヴェネツィア展巻頭特集(10月5日)
- ・好評開催中(10月26日・11月3日 3段)

『ちゅーピー掲示板ニュース』

- ・3段広告(9・10・11月号)

『Addo』

- ・21世紀人：越智館長インタビュー(9月号)

情報誌等

『月刊タウン情報トライアングル』(8・9月号)

『7びあ』(8月号)

『まいんど』(8月号)

『フェニックス』(9・10月合併号)

『ウエンディ広島』(9・10月号)

『アンシャンテ』(秋号)

『Wink』(10・11月号)(広島版、福山・備後版)

『to you』(10月号)

『いわみりびえーる』(9月23日発行)

『TJ hiroshima』(11月号)

『くれフレンドリーニュース』(11月号)

『くれえばん』(11月号)
『不動産ニュース』(11月号)
『色絵馬(広島県立美術館友の会会報)』(10月号)
『経済レポート』「才色兼備:山本恵子」(10月号)

情報サイト等

ひろしま国際平和マラソンHPイベント情報
ドコモ「i コンシェル」週末イベント情報
株式会社リクルート「じゃらんnet」観光ガイド(8月22日)
Yahoo! JAPAN「ロコ」(8月22日)
JR西日本「おでかけネット」観光スポット・イベント情報(8月22日)
JR東日本「旅どきnet」観光スポット・イベント情報(8月22日)
インターネットミュージアム(8月29日)
中国新聞メルマガ「おでかけガイド」(9月28日)
広島経済新聞「広島で「絵画から飛び出す貴族」-美術館を回遊、服飾系専門学校とコラボで」(9月28日)

ほか

その他

- ・美術館エントランス 柱巻き装飾
- ・街頭ビジョン
 - ①八丁堀C-VISION 7月1日~11月25日 2,055回
 - ②紙屋町NAVIA 7月2日~11月25日 11,970回
(7月2,226回、8月2,604回、9月2,520回、10月2,520回、11月2,100回)
- ・広島電鉄「広島電鉄に乗って広島県立美術館へ行こう」
ラッピング電車(壁面にステッカー掲示)運行(9月29日~11月14日)、
電車内、主要駅にポスター掲示、チラシ・割引券設置
- ・アストラムライン「アストラムラインに乗って広島県立美術館へ行こう」(9月18日~10月28日)
電車内、主要駅に専用ポスター掲示、チラシ・割引券設置
- ・芸陽バス 竹原・東広島→広島間の高速バス利用者に前売り料金になる専用クーポンを配布、
専用チラシ26000枚(芸陽バス作成)を竹原、東広島で折込
- ・タクシー(ニシキ、近鉄) チラシ・割引券設置、車体の窓にステッカー貼付
- ・ピザ・ロイヤルハット 9月中旬~ 広島県内18店舗にてピザと一緒にチラシ・割引券を宅配
- ・生協ひろしま 広告:8月2回~11月1回(14回)、宅配員に展覧会チケットの販促を奨励
- ・イズミ 招待券100枚提供 県内28店舗でチケットプレゼント(折込チラシで告知)
- ・広島三越 イタリア展(10月16日~28日)と広報連携 チラシ・割引券設置、半券での割引
- ・ホテルグランヴィア イタリアフェア(10月1日~11月30日)と広報連携
- ・仮面60個、イタリア関係パンフレット6000部を提供(イタリア政府観光局)
- ・水辺カフェ9店舗にポスター・チラシ・割引券配布(広島市観光政策局)
- ・マツダスタジアム CM放映、ラッキーチャンスカード(ヴェネツィア展広告付)の配布
- ・ビッグアーチ CM放映
- ・展覧会公式ブログ
- ・広島県立美術館ブログ
(7月21日、8月24日、9月24日、10月12日、14日、16日、17日、19日、11月5日、7日、9日)
- ・広島県立美術館ツイッター

カタログ内容

ヴェネツィアの肖像(ジャンドメニコ・ロマネッリ)
PAX TIBI MARCE EVANGELISTA MEUS-ヴェネツィアと聖マルコのライオン(京谷啓徳)
ヴェネツィア市立美術館群(ヴェネツィア・マップ)
第1章 黄金期
ヴェネツィア共和国「セレニッシマ」
唯一の都市ヴェネツィア
第2章 華麗なる貴族

第3章 美の殿堂

水の都～悦楽的酩酊と闇（中野京子）

出品リスト

展覧会巡回先

江戸東京博物館 平成23年9月23日～平成24年12月11日

名古屋市博物館 平成23年12月22日～平成24年3月4日

宮城県美術館 平成24年3月17日～平成24年5月13日

愛媛県美術館 平成24年5月26日～平成24年7月16日

京都文化博物館 平成24年7月28日～平成24年9月23日

6 平木コレクション特別公開！ 浮世絵の美展

会 期／平成24(2012)年12月4日(火)～
平成25(2013)年1月14日(月・祝)
主 催／広島県立美術館、テレビ新広島、中国新聞社
後 援／中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、
広島エフエム放送、FMちゅーピー 76.6MHz、
エフエムふくやま、尾道エフエム放送、
FMはつかいち76.1MHz、FMハムスター 79.0MHz
特別協賛／田中食品株式会社
協 賛／広島県信用組合
協 力／財団法人 平木浮世絵財団
入 館 料／一 般：1,200円(1,000円)
高・大学生： 800円(600円)
中学生以下無料
※()内は前売り・20人以上の団体料金
入館者数／18,270人(35日間)



全国有数の浮世絵コレクションで知られる平木浮世絵美術館から、重要文化財、重要美術品145点に加え、特別出品として、歌川広重《六十余州名所図会より 安藝 厳島祭礼之図》など近畿・中国地方にゆかりの浮世絵版画30点を展示。杉村治兵衛、奥村政信などの浮世絵の初期から、石川豊信 重要文化財《花下美人》をはじめ、鈴木春信、鳥居清長、喜多川歌麿、東洲斎写楽、歌川豊国、歌川広重、歌川国芳、葛飾北斎など、江戸時代の浮世絵版画の名品を紹介した。(本展担当者：石川 哲子)

関連事業

(1) 講演会

① 「平木コレクションについて」

日 時：12月4日(火) 13:30～14:30 (友の会共催)

講 師：佐藤 光信 (平木浮世絵美術館館長)

会 場：講堂

参加者：100名

② 「浮世の形象－平木コレクションの名品をめぐって－」

日 時：1月5日(土) 13:30～14:30

講 師：浅野 秀剛 (大和文華館館長)

会 場：講堂

参加者：97名

(2) 美術講座

「＜浮世絵の美＞の魅力」

講 師：石川 哲子 (当館主任学芸員)

日 時：12月22日(土) 13:30～14:30

会 場：講堂

参加者：50名

(3) ギャラリートーク

講 師：石川 哲子 (当館主任学芸員)



日時と参加者：12月14日 11：00～ 25名、1月4日 11：00～ 51名

(4) ミニ・ギャラリートーク

講師：石川 哲子（当館主任学芸員）

日時と参加者：12月14日 18：00～ 10名、1月11日 18：00～ 48名

(5) 新春ロビーコンサート（邦楽）

日時と参加者：1月2日 13：00～14：00 135名、3日 13：00～14：00 160名

会場：1階ロビー 無料

(6) ウェブ・レポーター

日時と参加者：12月14日 4名

主要関連番組

(1) テレビ

テレビ新広島 「知りため！プラス」 11月10日

テレビ新広島 イベント情報番組「チケバン」（2分ミニ番組）11月15日～18日 前売券発売中

テレビ新広島 イベント情報番組「チケバン」（2分ミニ番組）11月29日～12月2日 開催告知

テレビ新広島 昼ニュース「tssスピークFNN」（開会）12月4日

テレビ新広島 夕方ニュース「tssスーパーニュースFNN」（開会）12月4日

NHK広島 ニュース 12月11日

テレビ新広島 「満点ママ」（生中継）12月13日

テレビ新広島 「満点ママ」（展覧会紹介）12月14日

NHK広島 「ひろもり」12月14日

テレビ新広島 「満点ママ」（展覧会紹介）12月19日

テレビ新広島 「知りため！プラス」12月22日

広島ホームテレビ 「J ステーション」12月9日

テレビ新広島 昼ニュース「tssスピークFNN」（1万人）12月24日

テレビ新広島 夕方ニュース「tssスーパーニュースFNN」（1万人）12月24日

テレビ新広島 イベント情報番組「チケバン」（2分ミニ番組）1月3日～6日 開催中

テレビ新広島 イベント情報番組「チケバン」（2分ミニ番組）1月10日～13日 開催中

(2) ケーブルテレビ

東広島ケーブルメディア 「美術さんぽ」11月19日～12月9日

ハイキャット ニュース 12月17日～23日

広島ケーブルテレビ ニュース 12月12日～16日

(3) ラジオ

FM尾道 「ユウガッタ・レディオ」12月4日

FMふくやま 「GO! GO!びんご」12月6日

FMはつかいち 「キラキラ☆アートBOX」12月28日

主要関連記事

(1) 新聞

中国新聞 社告 11月7日

中国新聞 特集（10段）11月28日

中国新聞 （開会式）12月4日（夕刊一面）

中国新聞 （開会式）12月5日

中国新聞 ふれあい面（ちゅーピーくらぶ招待券プレゼント）12月12日

中国新聞 事業ガイド（事業PR面）12月21日

中国新聞 文化面「浮世絵の美展 時代の息吹 色鮮やかに」12月22日

中国新聞 浮世絵の美展1万人セレモニー 12月25日

中国新聞 文化面 ひととき（浅野秀剛さん）1月11日

(2) 雑誌、フリー・ペーパー等

TSSイベント情報誌『季刊誌Qdas』秋号vol. 75、冬号vol. 76

Cueちゅーピー通信（招待券プレゼント）12月14日

『Wink』12月号
『くれえばん』12月号
『to you』12月号
『ウェンディ広島』12月号
「ゆめタウン直営チラシ」12月30日～31日号
『ホットペッパー』イベント情報 1月号
『7ぴあ』1月号
『不動産ニュース』1月25日号通関92巻 せとうち文化出版
タウン情報誌『TJ Hiroshima』
公明新聞 12月26日号

(3) Web

ちゅピメルマガ (招待券プレゼント)
「Yahoo! JAPAN」「じゃらんnet」他 (協同組合インフォメーションテクノロジー関西)
観光情報サイト「ひろしまナビゲーター」(広島観光コンベンションビューロー)
「わくわくつくログ!」(NPOひろしまインターネット美術館のスタッフブログ)
「トレタビ」(株式会社交通新聞社)
データ放送「d ボン」(RCC)
web「artgene」(tagboat)
メールマガジン「@Gallery TAGBOAT」(tagboat)
web「artscape」(大日本印刷株式会社)
web「excite.ism」(eventdb)
web「EVENT ACE」(eventdb)
web「JDN」(eventdb)
web「net TAM」(トヨタ・メセナ協議会)
web「子どもとおでかけ情報サイト「いこーよ」」(アクトインディ株式会社)
web「イベントぷらぷら」(アウンコンサルティング株式会社)
web「こどものための博物館情報」(アウンコンサルティング株式会社)
web「あそぼうcom」(株式会社アーティス)
web「アートニュースリリース」(ホルベイン)
web「ARTNEWS 美術館探訪」
メールマガジン「ひろしまファンクラブ」(広島市観光政策部)
web「ウォーカープラス」(株式会社エスティフ)
「Web旬遊」イベントガイド(有限会社メディクス)
県庁公式ツイッターでのイベント情報配信

広告

(1) テレビ (スポット)

開催告知 (15秒) 10月23日～11月5日 38本
前売券発売中 (15秒) 11月6日～12月3日 75本
開催中 (15秒) 12月4日～1月14日 111本
協賛社名有り 11月11日～1月14日 50本
合計 274本

(2) 新聞広告

中国新聞 (朝刊・半5段) 12回
11月21日・27日、12月1日・8日・11日・19日・24日・25日、1月3日・5日・7日・9日
中国新聞 (朝刊・全3段) 6回 11月16日・23日、12月5日・14日、1月5日・10日
中国新聞 (朝刊・半3段) 7回
11月19日・26日・28日、12月8日・13日・22日、1月6日
中国新聞 (夕刊・半5段) 2回 12月9日、1月4日
中国新聞 (夕刊・全3段) 8回
11月16日・19日・26日・30日、12月14日・15日・19日、1月8日

(3) その他

金座街商店街懸垂幕 12月26日～1月14日

生協 前売り券販売広告 11月2回～12月4回 計7回

マスコミ各社宛プレスリリース 第1弾（10月末～11月初）、第2弾（11月中旬～12月）送付

図録内容

目次

- 論考 平木コレクションについて 佐藤光信
浮世絵小史ー平木コレクションの名品でたどるー 大久保純一
役者絵をめぐって 石橋健一郎
江戸近郊八景について 森山悦乃
座舗八景について 松村真佐子
- 画像編 I 江戸の華
II 浮世絵の誕生
III 錦絵の誕生
IV 浮世絵の黄金期
V 浮世絵の爛熟期
- 資料編 絵師略歴
浮世絵史略年表
浮世絵用語解説
浮世絵版画制作工程
作品リストならびに解説

展覧会巡回先

北九州市立美術館（本館）平成25年7月13日～8月25日

愛媛県美術館 平成25年8月31日～10月14日 ほか

7 永田萌 ー夢みるチカラ展

会 期／平成24(2012)年12月5日(水)～
平成25(2013)年1月14日(月・祝)
主 催／広島県立美術館、中国新聞社
後 援／中国放送、広島テレビ、
広島ホームテレビ、テレビ新広島、
広島エフエム放送、
FMちゅーピー 76.6MHz、
エフエムふくやま、尾道エフエム放送、
FMはつかいち76.1MHz、FMハムスター
協 力／オーシマスタジオ、
専門学校文化服装学院広島校
企画協力／株式会社妖精村
入 館 料／一 般 1,000円(800円)
高・大学生 600円(400円)
中学生以下無料
入館者数／11,238人(34日間)



「カラーインクの魔術師」と称され、イラストレーター、絵本作家として活躍する永田萌（兵庫県加西市生まれ、京都市在住）。愛くるしい妖精や花々が色とりどりの画面から語りかけるような心温まる作品は、世代や国境を越え、多くの人びとを魅了している。1978年に出版した初めての絵本『もえと妖精たち』以来、著書は140冊を超え、緞帳や絹絵、絵画など近年ますます活躍の場は広がっている。

本展では、当館展示のために描きおろした新作をはじめ、季節に合わせた代表作や絹絵作品など150点以上により、夢と色彩あふれるMoe Worldを紹介した。（本展担当者：福田 浩子）

関連事業

- (1) 講演会「夢見る力が育んだもの」
日 時：12月9日(日) 13:30～
講 師：永田 萌（イラストレーター・絵本作家）
会 場：地階講堂
聴講者：190人
- (2) 作家によるギャラリートーク
日 時：12月5日(水)、1月5日(土) 10:00～
講 師：永田 萌（イラストレーター・絵本作家）
場 所：2階展示室
聴講者：150人
- (3) サイン会
日 時：12月5日(水) 11:00～、12月9日(日) 15:00～、
12月24日(月・祝)、13:00～、1月5日(土) 11:00～、15:00～、
1月6日(日) 13:00～
場 所：1階ロビー
聴講者：計360人



- (4) ギャラリートーク
 日 時：12月7日(金)、21日(金)、1月11日(金) 11:00～
 12月7日(金)、1月4日(金) 18:00～
 講 師：福田 浩子 (当館主任学芸員)
 会 場：2階展示室
 参加者：計32人
- (5) 永田萌の絵本読み語り
 日 時：12月15日(土) 13:30～
 読み手：村上 美和 (読み語りボランティア)
 会 場：2階展示室内絵本コーナー
 参加者：20人
- (6) あなたも妖精になってみませんか？
 日 時：12月5日(水)～平成25(2013)年1月14日(月・祝)
 (但し、12月8日(土)、12月23日(日)はプロカメラマンによる妖精撮影会)
 会 場：2階ロビー
 衣装制作：文化服装学院広島校
 参加者：計715人以上
- (7) プロカメラマンによる妖精撮影会
 日 時：12月8日(土)、12月23日(日) 10:00～、13:00～、15:00～
 場 所：2階ロビー
 撮 影：オーシマ・スタジオ
 参加者：145人
- (8) 永田萌が読む、永田萌の絵本～永田萌からのプレゼント♪
 日 時：12月24日(月・祝) 11:00～12:00
 講 師：永田 萌 (イラストレーター・絵本作家)
 場 所：地階講堂
 参加者：75人
- (9) 対談・永田萌×越智裕二郎「永田萌の制作の秘密に迫る！」
 日 時：1月6日 11:00～
 講 師：永田 萌 (イラストレーター・絵本作家)・
 越智 裕二郎 (当館館長)
 会 場：地階講堂
 参加者：80人



主要関連記事

中国新聞 11/5 社告、11/30 PR 記事、12/5 夕刊記事、12/6 記事、12/8 特集記事

主要関連番組・掲載

ラジオ 11/30 FM はつかいち、12/7 FM ふくやま
 テレビ 11/3 「ゆるキャラ捕獲大作戦」、12/6 おのみちケーブルテレビニュース、12/6 NHK ローカルニュース
 その他 『7ぴあ』12月号、12/3 朝日新聞イベント情報、12/6 産経新聞記事、11/17、12/1、12/15 リビング
 新聞、フリーペーパー『7ぴあ』12月号、『びんまる』12月号、アートコレクションハウス発行会報誌
 「arch」12月号、『to you』12月号、『ホットペッパー』イベント情報12月号、『くれえばん』12月号、『Cue』
 12月号、『CHIC』読者プレゼント12月、『HUGHUG』12月号、『Wink』1月号、不動産ニュース (旬せとう
 ち文化出版)、『博物館研究』1月号 (日本博物館協会)、『MOE 2月号』(12月29日発売)、『Youガイド』

インターネット掲載

観光情報サイト「ひろしまナビゲーター」(広島観光コンベンションビューロー)、「わくわくつくログ！」
 (NPOひろしまインターネット美術館のスタッフブログ)、「トレタビ」(株式会社交通新聞社)、「artgene」
 (tagboat)、「artscape」(大日本印刷株式会社)、「Yahoo! JAPAN、じゃらんnet、他」(協同組合インフォメー
 ションテクノロジー関西)、「excite.ism」(eventdb)、「EVENT ACE」(eventdb)、「JDN」(eventdb)、「net
 TAM」(トヨタ・メセナ協議会)、「子供とおでかけ情報サイト「いこーよ」(アクトインディ株式会社)、「
 イベントぷらぷら」(アウンコンサルティング株式会社)、「こどものための博物館情報」(アウンコンサ
 ルティング株式会社)、「あそぼうcom」(株式会社アーティス)、「アートニュースリリース」(ホルベイン)、「
 ARTNEWS 美術館探訪」、メールマガジン「ひろしまファンクラブ」(広島市観光政策部)、「ウォーカー
 プラス」(株式会社エスティフ)

巡回先

福岡県立美術館 平成24(2012)年5月25日～7月8日

8 生誕100年 船田玉樹展 —異端にして正統、孤高の画人生—

会 期／平成25(2013)年1月21日(月)～
平成25年2月20日(水)

主 催／船田玉樹展実行委員会
(広島県立美術館、乃村工藝社・
イズミテクノ美術館活性化共同事業体)、
中国新聞社

後 援／中国放送、広島テレビ、
広島ホームテレビ、テレビ新広島、
広島エフエム放送、
FMちゅーピー 76.6MHz、
エフエムふくやま、尾道エフエム放送、
FMはつかいち76.1MHz、FMハムスター 79.0MHz

協 賛／広島県信用組合、大山皮ふ科クリニック、土谷総合病院、三島食品
助 成／芸術文化振興基金

入 館 料／一般：1,000円(800円) 高・大学生：600円(400円) 小・中学生：400円(200円)

※()内は前売り・団体20名以上

入館者数／10,316人(31日間)



船田玉樹(1912-1991)は、本県呉市出身の日本画家。昭和13(1938)年結成の「歷程美術協会」では、創立会員として岩橋英遠や丸木位里らと行動をとるとし、シュルレアリスムや抽象表現などの西洋美術思潮を積極的に取り入れながら、絵画表現の革新を推し進めた。本展覧会では、歷程美術協会時代の作品をはじめ、琳派的な豊かな装飾性を示す屏風作品、水墨表現の可能性を追求した抽象作品、扇面図、さらに油彩画やガラス絵に加え、これまでほとんど知られていなかった水墨による河童の連作など、多彩な作品226点(師や交友の画家たちの作品を含む)を展示し、この特異な画家の全容にせまった。当館に先立って東京・練馬区立美術館において先行開催、全国規模での本作家紹介が実現した。

(本展担当者：永井 明生)

関連事業

- (1) 特別対談「船田玉樹について語る」(広島県立美術館友の会共催)
日 時：1月27日(日) 13:30～
講 師：山下 裕二(明治学院大学教授)、船田 奇岑(船田玉樹子息)
会 場：地階講堂
参加者：210人
- (2) 美術講座「孤高の画人生—船田玉樹」
日 時：2月3日(日) 13:30～
講 師：永井 明生(当館主任学芸員)
会 場：地階講堂
参加者：95人
- (3) 記念コンサート①「仏教讃歌の夕べ」
日 時：2月8日(金) 17:00～
出 演：仏教讃歌混声合唱団コール・スガンディ

会 場：1階ロビー

参加者：270人

- (4) 記念コンサート②「広島電子音楽研究会－船田玉樹にささぐ 実験を楽しむ心」

日 時：2月9日(土)～10日(日) 10：00～16：30

出 演：船田 奇岑（船田玉樹子息）ほか

会 場：地階講堂

参加者：309人

- (5) ワークショップ①「玉樹に倣う 扇面に描こう！水墨編」

日 時：2月2日(土) 13：30～16：00

講 師：森山 知己（日本画家）

会 場：3階ロビー

参加者：15人

- (6) ワークショップ②「玉樹を模写 扇面に描こう！色彩編」

日 時：2月17日(日) 13：30～16：00

講 師：王培（日本画家）、山浦めぐみ（日本画家）、豊嶋 浩子（日本画家）

会 場：3階ロビー

参加者：15人

- (7) ギャラリートーク

日 時：1月25日(金)、2月1日(金)、8日(金)、15日(金) 各回11：00～

※2月1日(金)と15日(金)は18：00～も

講 師：永井 明生（当館主任学芸員）

会 場：3階企画展示室

参加者：各回20～50人

- (8) アートと私の美味しい時間

日 時：2月15日(金) 18：00～

協 力：千福（三宅本店）

会 場：1階レストラン

参加者：50人

- (9) きものDE美術館（着物での来館者にプレゼント及び抽選で景品プレゼント）

日 時：会期中全期間

会 場：3階ロビー

応募人数：305人



主要関連記事

中国新聞

12/20 社告、1/16 カラー特集、1/21（夕刊）開幕、1/22 開幕、1/30・31 展覧会紹介（2回連載）、
2/5 出品作家（丸木位里）関連、2/5～7 船田玉樹と郷里関連（3回連載）、2/8 事業ガイド、2/12
北川フラム氏寄稿

朝日新聞 1/18、2/7（関西版・夕刊）

「リビングひろしま」1/26

「to you」1月号

「WINK」2月号

「くれえばん」2月号

「サライ」2月号

「経済春秋」2月号

「広島芸術学会会報」No.121

「Hiroshima EXsite」No.11

主要関連番組

RCCニュース 1/21 昼・夕 1/24 夕

NHKニュース 1/21 昼・夕・夜

NHK「ひろもり」2/15
TSSニュース 1/21 昼・夕
RCCラジオ「日々感謝」1/23 生出演PR
FM東広島 1/24 生出演PR
FMひろしま 2/1 生出演PR
FM尾道 2/5 生出演PR
FMふくやま 2/8 生出演PR

図録構成

※ 展覧会公式図録兼書籍として全国の書店で販売

- 第1章 画業のはじまり p.17
御舟・古径とともに p.18
「日本画」のアヴァンギャルド p.44
- 第2章 新たな出発 p.73
院展から新興美術院へ p.74
珠玉の小品群 p.102
モチーフの変奏～九品仏・滝 p.116
- 第3章 水墨の探究 p.127
絹本 p.128
紙本 p.151
- 第4章 孤高の画境へ p.165
河童図と扇面図 p.166
ガラス絵・自画像など p.190
屏風の競演 p.198
- 印譜集 p.222
「父『玉樹』」 船田奇岑 p.4
「孤高の画人生ー船田玉樹」 永井明生 p.8
「同郷人、船田玉樹との奇縁」 山下裕二 p.41
「斃れし後の水墨実験」 野地耕一郎 p.148
「僅かに、しかし強く発光して」 北川フラム p.196
「船田玉樹回想」 金田晋 p.224
船田玉樹参考作品 p.227
船田玉樹年譜（永井明生 編）p.232
船田玉樹参考文献（永井明生 編）p.240
掲載作品目録（作品リスト）p.249

巡回先

練馬区立美術館 平成24(2012)年7月15日(日)～9月9日(日)

9 第59回日本伝統工芸展広島展

会 期／平成25(2013)年 2月27日(水)～3月17日(日)
 19日間(会期中無休)
 主 催／広島県、広島県教育委員会、広島県立美術館、
 NHK広島放送局、朝日新聞社、
 公益社団法人日本工芸会
 後 援／文化庁
 入 館 料／一般700円(500円)、高・大学生400円(200円)、
 中学生以下無料
 入館者数／9,188人



日本伝統工芸展は、日本の風土から生まれた世界に誇る工芸技術を継承・発展し、新しい時代の生活に即した美を築くことを目的にしている。広島展では、全入選作品616点及び遺作6点の中から重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品や受賞作品、広島県や中国地方からの入選作品を中心に陶芸110点、染織46点、漆芸45点、金工31点、木竹工47点、人形20点、諸工芸31点、合計330点を厳選して一堂に展示した。県内からは奨励賞受賞1名を含む13名の作家の作品が入選した。日本の伝統を引き継ぐ優れた工芸作品を展示し、広く県民に鑑賞の機会を提供することにより、伝統工芸に対する理解を深め、地域文化の向上に資することに努めた。

(本展担当者：宮本 真希子)

広島県在住入選者

陶 芸	赤毛 敏男	「備前花器」
	今田 拓志	「燗器」
	木村 芳郎	「碧釉漣文器」
	小林 良巳	「備前緋櫻花器」
漆 芸	金城一国斎	「卵殻高盛絵飾筒『滝津瀬』」
	中村 純子	「切金蒔絵短冊箱『水華』」
	馬船 宏明	「彫漆蒔醬八角箱『晩夏』」
木竹工	小林 利幸	「枳拭漆盛器」
	三好幸二郎	「枳拭漆盛器」
	門田 篁玉	「花籃『瀬戸の風景』」
諸工芸	栗根 仁志	「七宝箱『蛩舞う』(日本工芸会奨励賞)」
	宇田勢津子	「有線七宝蓋物『爽』」
	菅坂 安子	「有線七宝花器『春待つ深雪』」

関連事業

(1) 講演会

日 時：平成25年3月2日(日) 13:30～15:00

演 題：「伝統工芸の源泉と現代」

講 師：金子 賢治(茨城県陶芸美術館長・多治見市美濃焼ミュージアム館長)

場 所：地階講堂

聴講者：80人

(2) ギャラリートーク

平成25年3月1日(金) 菅坂 安子 (七宝)

岡本 佳子 (金工)

3月2日(土) 金城一国斎 (漆芸)

3月3日(日) 小林 良巳 (陶芸)

3月8日(金) 小林 利幸 (木工)

金城一国斎 (漆芸)

3月9日(土) 井戸川 豊 (陶芸)

3月10日(日) 栗根 仁志 (七宝)

3月15日(金) 馬船 宏明 (漆芸)

福井 禎 (染織)

3月16日(土) 木村 芳郎 (陶芸)

時 間：11：00～11：40及び17：30～18：10

場 所：企画展示室

参加者：25～100人／回、計580人

(3) よくわかる解説付き鑑賞会

日 時：平成25年3月10日(日) 14：00～15：00 60名

場 所：企画展示室

講 師：宮本 真希子 (当館主任学芸員)

聴講者：60名

(4) ウェブレポーター

日 時：平成25年3月1日 17：00～

参加者：6名

子ども鑑賞コース

(1) 出張授業

平成24年11月6日(火) 菅坂 安子 (七 宝) 庄原市立川北小学校 1－6年生 17名

11月14日(水) 山根 宏造 (陶 芸) 広島市立広瀬小学校 5年生 39名

11月22日(木) 松岡 裕治 (木 工) 安芸高田市立可愛小学校 5年生 20名

11月30日(金) 小原よう子 (陶 芸) 廿日市市立阿品台東小学校 5年生 45名

平成25年2月12日(火) 田代 昭夫 (漆 芸) 三原市立須波小学校 5－6年生 32名

2月18日(月) 小林 利幸 (木 工) 広島市立美鈴が丘小学校 4年生 73名

(2) 団体鑑賞

平成25年2月28日(木) 広島市立白島小学校 4年生 58名

3月4日(月) 広島市立安西小学校 4年生 64名

3月5日(火) 広島市立白島小学校 5年生 73名

広島市立古田台小学校 5年生 52名 (文化庁バス事業)

3月6日(水) 広島市立矢賀小学校 4年生 60名

3月13日(水) 広島市立船越小学校 5年生 94名

(3) 親子ガイドブックの作成・配布

B6版16ページ、9,000部

主要関連記事

朝日新聞

平成24年8月22日 県内入選者発表「伝統工芸展県内13人が入選」

11月7日 出張授業 (庄原市立川北小学校)「庄原・川北小に七宝の出張授業」

11月25日 中国四国巡回展告知「来年3月まで中四国巡回」

平成25年2月19日 出張授業 (広島市佐伯区美鈴が丘小学校)「伝統工芸 魅力伝える」

2月21日 広島展開幕告知「27日から県立美術館」

- 2月22日 広島展開幕告知「確かな技 極めた美」
- 2月24日 県内入選者作品紹介①赤毛敏男「備前花器」
- 2月25日 県内入選者紹介「新風 日本伝統工芸展 県内入選の2人」
県内入選者作品紹介② 今田拓志「燻器」
- 2月28日 広島展開幕「日本伝統工芸展が開幕 県立美術館『真髓、満喫を』」
- 2月28日 県内入選者作品紹介③ 宇田勢津子「有線七宝蓋物“爽”」
- 3月1日 県内入選者作品紹介④ 木村芳郎「碧釉漣文器」
- 3月2日 県内入選者作品紹介⑤ 金城一国斎「卵殻高盛絵飾箱“滝つ瀬”」
- 3月4日 県内入選者作品紹介⑥ 小林利幸「枳拭漆盛器」
- 3月6日 県内入選者作品紹介⑦ 小林良巳「備前緋襷花器」
- 3月7日 県内入選者作品紹介⑧ 菅坂安子「有線七宝花器“春待つ深雪”」
- 3月8日 県内入選者作品紹介⑨ 馬船宏明「彫漆蒔髹八角箱“晩夏”」
- 3月9日 県内入選者作品紹介⑩ 三好幸二郎「枳拭漆盛器」
- 3月10日 県内入選者作品紹介⑪ 中村純子「切金蒔絵短冊箱“水華”」
- 3月13日 県内入選者作品紹介⑫ 門田篁玉「花籃“瀬戸の風景”」
- 3月14日 おでかけガイド
- 3月15日 県内入選者作品紹介⑬ 粟根仁志「七宝箱“蛩舞う”」

中国新聞

- 平成24年11月7日 広島都市圏「七宝焼を体験 上手にできた」
- 平成25年2月13日 備後版 出張授業
- 2月19日 広島都市圏「宮島細工に児童挑戦 ろくろ使い皿作り」
- 3月13日 文化欄「緻密な造形 手仕事の輝き 広島で日本伝統工芸展」

主要関連番組

NHK

- 平成25年2月13日「おはようひろしま」(出張授業)
- 2月17日～3月17日「30秒スポット」(22回)
- 2月27日 ローカルニュース(開会式)
- 3月14日「ひろもり」県内入選作品(13作品)紹介

その他

F M東広島(2月28日、和のこころ)、広島ホームテレビ(2月20日、15秒スポット)、尾道ケーブルテレビ(ニュース番組内お知らせ)、三原テレビ(ケーブルテレビ)、ひろしまケーブルテレビHICAT(ほっとニュース、平成25年3月11～3月15日)、コミュニティチャンネル(尾道ケーブルテレビ)、F Mはつかいち(キラキラ☆アートボックス)

その他の媒体

情報誌

会報誌「arch」(全国主要美術館スケジュール)、「月刊ino」(3月号)、「Wink」(3月号)、「ホットペッパー」(3月号)、「くれえばん」(3月号)、マツダ労組月刊誌フレンドリー(2月号)、「不動産ニュース」(3月号)、「to-you」(3月号)、くれフレンドリーニュース(3月号)、「mumu」(3月号)、「月刊トライアングル」(3月号)、「Ha-art」(3月号)、サンデー周南(2/16号)

インターネット

「全国美術館ネット」(NHKエディケーショナル)、「ARTNEWS 美術館探訪」、「ひろしまナビゲーター」、メールマガジン「ひろしまファンクラブ」、ひろしまインターネット美術館わくわくつくログ

カタログ内容

趣旨 出品目録 出品図版

特別展示「わざを伝える」文化財保存事業報告「刺繍」伝承者養成研修会
第59回日本伝統工芸展入選作品及び受賞作品の決定について

展覧会巡回先

東 京	平成24年 9月19日(水)～10月 1日(月)	三越本店
名古屋	10月 3日(水)～10月 8日(月・祝)	名古屋栄三越
京 都	10月10日(水)～10月15日(月)	京都高島屋
大 阪	10月17日(水)～10月22日(月)	J R 大阪三越伊勢丹
金 沢	10月26日(金)～11月 4日(日)	石川県立美術館
仙 台	11月 9日(金)～11月14日(水)	仙台三越
岡 山	11月22日(木)～12月 9日(日)	岡山県立美術館
松 江	12月12日(水)～12月25日(火)	島根県立美術館
高 松	平成25年 1月 2日(水)～ 1月20日(日)	香川県立ミュージアム
福 岡	2月 6日(水)～ 2月11日(月・祝)	福岡三越
松 山	2月19日(火)～ 2月24日(日)	松山三越

所蔵作品展

これまで当館2階の展示室5室は展示室毎に各分野の展示を割り当てることを常態としていたが、平成24年度においては、全室統一テーマによる分野横断的な展示、2～3室毎の中規模企画、各展示室毎の企画、あるいは特別展（絵本ミュージアム、永田菫展）との並存など、機動的に運用した。

入場者数／65,582人（339日間）

第1期「そうだ、旅に出よう。－美術館で世界一周」

平成24年4月18日(水)～6月24日(日) 前期：4月18日(水)～5月20日(日)

彫刻展示スペース～第4室

後期：5月22日(火)～6月24日(日)

当館コレクションからジャンルや素材を超えて、世界旅行の気分を味わってもらう作品群を紹介した。

No.	作者	生没年	作品名	制作年	寸法(cm)	材質技法	員数
1	和高 節二	1898(明治31)年-1990(平成2)年	村の子供	昭和8(1933)年	177.5×184.6	紙本彩色	二曲一隻
2			草花蒔絵螺鈿書見台	桃山-江戸初期	高34.0 幅32.3	木・漆・蒔絵・螺鈿	
3			重要文化財 伊万里色絵花卉文輪花鉢(柿右衛門様式)	江戸時代 17世紀後半	口径24.4 高11.5	磁器・色絵	1口
4			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高44.0	磁器・色絵	1駆
5			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高45.0	磁器・色絵	1駆
6	角 浩	1909(明治42)年-1994(平成6)年	インカ帝国の崩壊	昭和41(1966)年	145.5×112.1	油彩・画布	1面
7	角 浩		リオのカーニバル	昭和43(1968)年	116.8×91.0	油彩・画布	1面
8	小林 千古	1870(明治3)年-1911(明治44)年	ミルク・メイド	明治30(1897)年	69.0×50.8	油彩・画布	1面
9	川端 玉章	1842(天保13)年-1913(大正2)年	ナイアガラ瀑布図		32.0×58.0	絹本墨画彩色	1面
10	イサム・ノグチ	1904年-1988年	追想	1944年(1983-84年鑄造)	高125.7	ブロンズ	1点
11	金光 松美	1922(大正11)年-1992(平成4)年	Mt. WHITNEY	昭和51(1976)年	112.0×243.9	油彩・画布	1面
12	金光 松美		Sunday	昭和36(1961)年	76.3×56.3	石版・紙	1面
13	金光 松美		SanFrancisco' 38	昭和43(1968)年	76.3×56.2	石版・紙	1面
14	アレクサンダー・コルダ	1898年-1976年	無題	1968年	56.0×79.0	グアッシュ・紙	1面
15	アレクサンダー・コルダ		ヴァーティカル・ホワイト・フレーム	1936年	高265.4	金属・ワイヤー・パネ・木	1点
16	サルバドール・ダリ	1904年-1989年	ヴィーナスの夢	1939年	243.8×487.6	油彩・画布・パネ	1面
17	バーバラ・ハップワース	1903年-1975年	ネスティング・ストーンズ	1937年	高19.0	大理石	1点
18	ヘンリー・ムーア	1898年-1986年	弦のある形	1939年	高28.8	ブロンズ・弦	1点
19	ヘンリー・ムーア		彫刻のためのアイディア	1933年	55.3×38.1	木炭・インク・淡彩・紙	1面
20	ヘンリー・ムーア		ティルベリー・シェルター	1941年	40.0×56.0	板・グワッシュ・クレヨン	1面
21	ジャン(ハンス)・アルプ	1886年-1966年	目覚め	1938年(1983年鑄造)	高47.5	ブロンズ	1点
22	南 薫造	1883(明治16)年-1950(昭和25)年	ロンドン河畔	明治41(1908)年	73.5×91.3	油彩・画布	1面
23	児玉 希望	1898(明治31)年-1971(昭和46)年	ロンドンブリッジよりタワーブリッジを望む	昭和33(1958)年	23.0×32.0	彩色・紙	1面
24	児玉 希望		ロンドンタワー	昭和33(1958)年	23.0×32.0	彩色・紙	1面
25	児玉 希望		アムステルダムにて 新緑の家	昭和33(1958)年	23.0×32.0	彩色・紙	1面
26	児玉 希望		アムステルダム郊外アール・ド・ロギヤモク	昭和33(1958)年	23.0×32.0	彩色・紙	1面
27	ジュリオ・ゴンザレス	1876年-1942年	人物(鏡の前の女)	1934年	高51.5	ブロンズ	1点
28	ジュリオ・ゴンザレス		鏡の前の女I	1936年	24.0×12.0	インク・パステル・紙	1面
29	ジュリオ・ゴンザレス		鏡の前の女IV	1937年	21.0×16.0	インク・鉛筆・紙	1面
30	大歳 克衛	1929(昭和4)年-	闘牛図 TOROS	昭和42(1967)年	163.0×131.0	油彩・画布	1面
31	大歳 暁	1904(明治37)年-1995(平成7)年	古都(トレド)	昭和42(1967)年	145.5×112.1	油彩・画布	1面
32	児玉 希望	1898(明治31)年-1971(昭和46)年	コモ2	昭和32(1957)年	17.0×24.5	彩色・紙	1面
33	児玉 希望		ソレントよりバスビオ火山を望む	昭和32(1957)年	23.0×31.5	彩色・紙	1面
34	児玉 希望		ジェノバ海岸	昭和32(1957)年	23.0×31.5	彩色・紙	1面
35	児玉 希望		チミテロ	昭和32(1957)年	23.0×31.5	彩色・紙	1面
36	児玉 希望		モンブラン	昭和32(1957)年	104.7×117.0	絹本墨画	1面
37	児玉 希望		モンブラン	昭和32(1957)年	20.5×93.0	彩色・紙	1面
38	児玉 希望		ブランブラよりグライスイエ・デュ・モンブランを望む	昭和32(1957)年	23.5×31.0	彩色・紙	1面
39	児玉 希望		ブランブラよりマルスイマ・デュ・モンブランを望む	昭和32(1957)年	23.5×31.0	彩色・紙	1面
40	野村 守夫	1904(明治37)年-1979(昭和54)年	「旅の街より」アルトハイデルベルヒ	昭和41(1966)年	92.0×162.2	油彩・画布	1面
41	児玉 希望	1898(明治31)年-1971(昭和46)年	ベルリン歩道のショウウィンドウ	昭和33(1958)年	23.0×32.0	彩色・紙	1面

No.	作者	生没年	作品名	制作年	寸法(cm)	材質技法	員数
42	児玉 希望	1898(明治31)年-1971(昭和46)年	ベニスにて3	昭和32(1957)年	29.5×48.0	彩色・紙	1面
43	児玉 希望		ベルリン ウィルヘルム一世記念教会の塔	昭和33(1958)年	32.0×23.0	彩色・紙	1面
44	児玉 希望		霧のベニスにて	昭和32(1957)年	23.0×31.5	彩色・紙	1面
45	児玉 希望		ベルリン郊外ウインゼー	昭和33(1958)年	23.0×32.0	彩色・紙	1面
46	児玉 希望		ベニスにて1	昭和32(1957)年	23.0×31.5	彩色・紙	1面
47	菅井 汲	1919(大正8)年-1996(平成8)年	NATIONAL ROUTE(ナショナルルート)	昭和39(1964)年	195.0×130.0	アクリル・油彩・画布	1面
48	児島善三郎	1893(明治26)年-1962(昭和37)年	真珠の首飾り	大正元-昭和初頭1925-1928年頃	50.5×44.5	油彩・画布	1面
49	和田 三造	1883(明治16)年-1967(昭和42)年	風景(パリ)	明治中-大正中頃1909-1913年頃	62.5×37.5	油彩・画布	1面
50	蓮田修吾郎	1915(大正4)年-2010(平成22)年	シテ島の夜	昭和54(1979)年	80.0×152.0×11.0	白銅 アクリル	1面
51	田中 万吉	1895(明治28)年-1945(昭和20)年	曇り日	大正中-昭和初頭1924-1927年頃	37.0×45.5	油彩・厚紙	1面
52	児玉 希望	1898(明治31)年-1971(昭和46)年	マルセイユ1	昭和32(1957)年	22.5×30.0	彩色・紙	1面
53	児玉 希望		ニース	昭和32(1957)年	22.5×30.0	彩色・紙	1面
54	児玉 希望		セーヌ河岸 ノートルダム寺院	昭和32(1957)年	21.0×55.0	墨・紙	1面
55	児玉 希望		ノートルダム寺院	昭和33(1958)年	28.5×38.5	彩色・紙	1面
56	児玉 希望		霧のセーヌ河畔	昭和33(1958)年	20.0×26.5	彩色・紙	1面
57	児玉 希望		ブロンニュの森2	昭和32(1957)年	28.0×38.0	彩色・紙	1面
58	神田三千枝	1924(大正13)年-1992(平成4)年	タリンの丘	昭和47(1972)年	223.0×171.0	画布彩色	1面
59	塚本 張夫	1907(明治40)年-1990(平成2)年	ロシアの少女(マガ嬢)	昭和11(1936)年	130.3×193.9	油彩・画布	1面
60	奥田 元宋	1912(明治45)年-2003(平成15)年	聖イサク寺院 ソ聯	昭和54(1979)年	42.5×37.2	紙・水彩	1面
61	圓鏝 勝三	1905(明治38)年-2003(平成15)年	面	昭和40(1965)年	高130.0	木・彩色	1点
62	村井 正誠	1905(明治38)年-1999(平成11)年	スエズの朝	昭和7(1932)年	46.0×55.0	油彩・画布	1面
63	マン・レイ	1890年-1976年	黒と白	1924年	20.7×28.9	ゼラチンシルバープリント・銀	1面
64	平山 郁夫	1930(昭和5)年-2009(平成21)年	波斯黄堂旧址	昭和49(1974)年	166.8×390.0	紙本彩色	六曲一隻
65	プハラ		刺繍布(スザニ)	19世紀後半	245.0×160.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚
66	タシケント		刺繍布(スザニ)	19世紀後半	216.0×174.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚
67	サマルカンド		刺繍布(ジャイナマズ)	19世紀中期	259.0×168.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚
68	プハラ		刺繍布(ジャイナマズ)	19世紀末	242.0×162.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚
69	児玉 希望	1898(明治31)年-1971(昭和46)年	荊軻	昭和14(1939)年	各153.5×69.0	絹本彩色	2面
70	六角 紫水	1867(慶応3)年-1950(昭和25)年	螺鈿宝石小箱	大正14(1925)年	高4.0 10.5×8.7	木・漆・螺鈿	1合
71	ズルキフリー・B・ユソフ	1962(昭和37)年-	王はレダン山の女王との結婚を望んだ	1994年	高249	木・布・金属など	1点
72	平山 郁夫	1930(昭和5)年-2009(平成21)年	黄河(晨)	昭和61(1986)年	171.2×364.6	紙本彩色	四曲一隻
73	塩出 英雄	1912(明治45)年-2001(平成13)年	層嶺	昭和53(1978)年	182.0×243.0	紙本彩色	二曲一隻
74	福原 五岳	1730(享保15)年-1799(寛政11)年	唐人物図	天明5(1772)年	171.0×276.5	紙本彩色	二曲一隻
75	狩野派カ		西湖図	16世紀	各137.5×353.6	紙本墨画	六曲一双
76	不詳		唐子遊び図	江戸時代	各113.5×269.8	絹本彩色	六曲一双
77	田中 頼璋	1868(明治元)年-1940(昭和15)年	唐美人図		224.0×93.0	紙本彩色	1面
78	インド、コロマンデル海岸		生命の樹文更紗	1770年頃	310.0×219.0	木綿・手描媒染防染	1枚
79	インド、コロマンデル海岸		菱形染分パッチワーク文更紗	17-18世紀	324.8×231.4	木綿・手描媒染防染	1枚
80	インド、グジャラート		藍地人物文更紗	17世紀中期	106.2×562.2	木綿・手描媒染防染	1枚
81	インド西部		茜地花入花菱繫文更紗	17-18世紀	283.0×104.0	木綿、木版媒染	1枚
82	南 薫造	1883(明治16)年-1950(昭和25)年	タジマハール遠望	大正5(1916)年	25.2×35.5	水彩・紙	1面
83	南 薫造		ダーズリン	大正5(1916)年	23.1×30.9	水彩・紙	1面
84	南 薫造		ホテルの庭(ベナレス)	大正5(1916)年	35.5×25.2	水彩・紙	1面
85	南 薫造		カルカッタ	大正5(1916)年	35.5×25.3	水彩・紙	1面
86	南 薫造		船上のビルマ僧	大正5(1916)年	24.0×33.0	水彩・紙	1面
87	南 薫造		ヒマラヤの女	大正5(1916)年	24.2×27.2	パステル・紙	1面
88	山中 雪人	1920(大正9)年-2003(平成15)年	ボロブドール「奉舞」	昭和54(1979)年	22.0×27.2	リトグラフ・紙	1面
89	南 薫造	1883(明治16)年-1950(昭和25)年	台湾風景	昭和5(1930)年	40.8×31.8	油彩・板	1面
90	岡田 謙三	1902(明治35)年-1982(昭和57)年	北市場	昭和17(1942)年	104.2×87.0	油彩・画布	1面
91			巖島・鞍馬図	江戸時代	各153.5×340.0	紙本彩色	六曲一双
92			巖島・和歌浦図	17世紀	各154.0×359.2	紙本金地彩色	六曲一双
93			宮島図	江戸時代	各149.9×355.6	紙本彩色	六曲一双
94			巖島・住吉祭礼図		各106.6×268.6	紙本金地彩色	六曲一双
95	里見 雲嶺	1849(嘉永2)年-1928(昭和3)年	管絃祭の図	大正6(1917)年	51.5×74.1	絹本墨画彩色	1幅
96			巖島図	江戸時代	151.0×334.0	紙本金地彩色	六曲一隻
97			巖島図		153.2×354.4	紙本金地彩色	六曲一隻

No.	作者	生没年	作品名	制作年	寸法(cm)	材質技法	員数
98	平山 郁夫	1930(昭和5)年-2009(平成21)年	巖島		44.0×49.0	紙本彩色	1面
99	児玉 希望	1898(明治31)年-1971(昭和46)年	巖島	1957(昭和32)年	106.5×173.0	絹本墨画	1面
100	小林 千古	1870(明治3)年-1911(明治44)年	巖島大谷	明治33-34年(1900-1901年頃)	29.5×22.5	油彩・画布	1面
101	綿谷行四郎	1900(明治33)年-1977(昭和52)年	宮島廻廊	昭和48(1973)年	176.0×207.0	紙本彩色	1面
102	浜崎左髪子	1912(明治45)年-1989(平成元)年	巖島		65.5×91.5	紙本彩色	1面

第2期「広島県立美術館のコレクションより」

平成24年6月27日(水)～9月17日(月・祝) 前期：6月27日(水)～8月12日(日)

後期：8月14日(火)～9月17日(月・祝)

平和への祈りが込められた平山郁夫の《広島生変図》をはじめ、「原爆」、「戦争」さらには戦後の水爆実験を扱った作品、戦前から戦後にかけての広島の街の変遷や戦後の復興の様子を描いたものなど、広島ゆかりの作家の作品を中心に紹介した。

第3室

No.	展示替	作者名	生没年	作品名	制作年	制作年	寸法	材質・技法	備考	出品歴
1		小林 千古	1870(明治3)年-1911(明治44)年	女子正面	明治30年	1897年	90.0×76.0	画布・油彩		1面
2		小林 千古		やし(静物)	明治26年	1893年	32.0×41.0	画布・油彩		1面
3		鬘 光	1907(明治40)年-1946(昭和21)年	コマサ(洋傘による少女)	昭和5年	1930年	80.0×65.0	画布・油彩		1面
4		鬘 光		花園の虫	昭和16年	1941年	26.7×34.8	画布・油彩		1面
5		菅井 汲	1919(大正8)年-1996(平成8)年	NATIONAL ROUTE (ナショナル・ルート)	昭和39年	1964年	195.0×130.0	画布・アクリル・油彩		1面
6		サルバドール・ダリ	1904-1989	ヴィーナスの夢		1939年	243.8×487.6	画布・油彩・ボード		1面 ニューヨーク万国博覧会
7		ルネ・マグリット	1898-1967	人間嫌いたち		1941年	54.0×73.0	画布・油彩		1面
8		ベン・ニコルソン	1894-1982	1933(絵画)		1933年	73.7×90.8	板・ジェッツ・油彩		1面
9		ヘンリー・ムーア	1898-1986	弦のある形		1939年	高30.5	ブロンズ		1点
10		バーバラ・ハップワース	1903-1975	ネスティング・ストーンズ		1937年	高19.0	大理石		1点
11		イサム・ノグチ	1904-1988	追想		1944年 (1983-84年制作)	高125.7	ブロンズ		1点
12		丸木 位里	1901(明治34)年-1995(平成7)年	ラクダ	昭和13年	1938年	171.0×183.0	紙本彩色		1面 第6回春の青龍社展
13	前期	丸木 位里		竹林	昭和39年	1964年	各210.0×270.0	紙本墨画		1面
14	後期	児玉 希望	1898(明治31)年-1971(昭和46)年	氷川	昭和30年	1955年	208.0×171.0	絹本彩色		1面 第11回日展
15	後期	児玉 希望		烟雨	昭和29年	1954年	132.0×173.0	絹本彩色		1面 第10回日展
16	前期	塩出 英雄	1912(明治45)年-2001(平成13)年	山峯	昭和46年	1971年	176.4×243.2	紙本彩色		1面 第56回院展
17	後期	塩出 英雄		亭橋	昭和50年	1975年	174.4×242.4	紙本彩色		1面 第60回院展
18		奥田 元宋	1912(明治45)年-2007(平成15)年	待月	昭和24年	1949年	130.4×204.2	絹本彩色		1面 第5回日展(特選)
19				伊万里柿右衛門様式色絵馬		17世紀後半	高45.0	磁器 色絵		1面
20				伊万里柿右衛門様式色絵馬		17世紀後半	高45.0	磁器 色絵		1面
21				重要文化財 伊万里色絵花 井文輪花鉢(柿右衛門様式)		江戸時代 17世紀後半	口径24.4 高11.5	磁器 色絵		1口
22	前期	花房 花子	1908(明治41)年-1999(平成11)年	紅象	昭和41年	1966年	135.0×92.0	染 額装		1面 第9回新日展
23		高木 敏子	1924(大正13)年-1989(平成元)年	綴織壁掛「女」	昭和37年	1962年	165.0×153.0	絹 綴織		1面
24		高木 敏子		作品「68」	昭和43年	1968年	154.0×116.0	絹 綴織		1面
25		杉谷 富代	1927(昭和2)年-2012(平成24)年	滞船	昭和44年	1969年	166.0×96.0	染 額装		1面 第55回光風会展(T氏賞)
26	前期	藤川 素子	1931(昭和6)年-	流転	昭和55年	1980年	220.0×181.0	染 ピロード 額装		1面 第12回日展(特選)
27	後期	藤川 素子		望み	昭和63年	1988年	217.5×157.5	臈纈染 額装		1面 第20回日展(特選)
28		磯邊 晴美	1941(昭和16)年-2004(平成16)年	壁の軌跡	平成2年	1990年	122×227	麻、ウール、絹、 メタリックヤーン		1面
29	後期	山下 了是	1946(昭和21)年-	釣山涼々	昭和54年	1979年	180.0×170.0	染 額装		1面

第2期「平山郁夫《広島生変図》を中心に」

第4室

No.	展示替	作者名	生没年	作品名	制作年	制作年	寸法	材質・技法	員数	出品歴
1		片岡 脩	1932(昭和7)年-1997(平成9)年	LOVE PEACE	昭和60年	1985年	103.0×72.8	紙・シルクスクリーン		1面
2		丸木 スマ	1873(明治8)年-1956(昭和31)年	ふるさと	昭和26年	1951年	92.0×97.0	紙・油彩		1面
3		アレクサンドロ・ナスタシオ	1934-	原子爆雲の光の中の死と生		1982年	150.0×100.0	画布・油彩		1面
4		増田 勉	1916(大正5)年-2007(平成19)年	死んだ鳩	昭和40年	1965年	97.0×162.1	画布・油彩		1面

No.	展示替	作者名	生没年	作品名	制作年和暦	制作年	寸法	材質・技法	員数	出品歴
5		芥川 永	1915(大正4)年-1998(平成10)年	おとなの影	昭和45年	1970年	高62.0	ブロンズ	1点	第34回新制作協会展
6		芥川 永		もどれない風(太田川2)	昭和49年	1974年	高34.0	ブロンズ	1点	第38回新制作協会展
7		芥川 永		水のむす(水・太田川4)	昭和51年	1976年	高73.0	ブロンズ	1点	第40回新制作協会展
8		善 鳩人	1916(大正5)年-2007(平成元)年	不死鳥(ヒロシマ)			116.7×80.7	紙本彩色	1面	
9	後期	善 鳩人		デルタの街	昭和33年	1958年	95.0×128.2	紙本彩色	1面	
10		平山 郁夫	1930(昭和5)年-2009(平成21)年	広島生変図	昭和54年	1979年	171.0×364.0	紙本彩色	1面	第64回院展
11	前期	宮川 啓五	1927(昭和2)年-	残照	昭和38年	1963年	135.0×182.0	紙本彩色	1面	第48回院展
12		宮川 啓五		太田川					1面	
13		児玉 希望	1898(明治31)年-1971(昭和46)年	大川端	昭和30年	1955年	81.0×88.5	絹本彩色	1面	
14		平野 清	1915(大正4)年-1980(昭和55)年	塔(原爆ドーム)	昭和25年	1950年	85.5×57.7	画布・油彩	1面	
15		神田 周三	1894(明治27)年-1972(昭和47)年	被爆後風景			56.6×84.0	紙・油彩	1面	
16		名井 萬亀	1896(明治29)年-1976(昭和51)年	第五福竜丸	昭和29年	1954年	55.5×71.0	画布・油彩	1面	
17	前期	名井 萬亀		ピキニの灰	昭和29年	1954年	60.9×40.9	画布・油彩	1面	
18		浜崎左髪子	1912(明治45)年-1989(平成元)年	スラム街	昭和49年	1974年	164.0×129.0	紙本彩色	1面	
19		浜崎左髪子		広島夕景			65.3×91.0	紙本彩色	1面	
20		南 薫造	1883(明治16)年-1950(昭和25)年	曝書	昭和21年	1946年	80.3×65.1	画布・油彩	1面	
21		南 薫造		日の出	昭和24年	1949年	53.0×65.5	画布・油彩	1面	
22				近江八景蒔絵御手箱		明治~昭和初期	高13.5 24.0×19.5	木、漆、蒔絵	1面	

第3期「広島県立美術館名品選1 ～各ジャンルの代表作を一堂に～」

平成24年9月14日(金)～11月30日(金) 前期：9月14日(金)～10月28日(日)

彫刻展示スペース～第2室

後期：10月30日(火)～11月30日(金)

広島県立美術館の所蔵作品から、彫刻、前衛陶芸、日本の洋画、1920～30年代を中心とした西洋美術、日本画及び工芸から、選りすぐりの作品を紹介した。

No.	展示替	作者名	生没年	作品名	制作年	寸法(cm)	材質・技法	員数
1		圓鏝 勝三	1905(明治38)年-2003(平成15)年	星羅	1960(昭和35)年	高さ223	木・金属・彩色	1点
2		圓鏝 勝三		ページェント	1979(昭和54)年	高さ116	木・銅板	1点
3		水船 六洲	1912(明治45)年-1980(昭和55)年	はつ雁抄	1972(昭和47)年	高さ155	木・彩色	1点
4		芥川 永	1915(大正4)年-1998(平成10)年	雲になった蛙	1975(昭和50)年	高さ39.5	ブロンズ	1点
5	前期	八木 一夫	1918(大正7)年-1979(昭和54)年	盲亀	1964(昭和39)年	高さ34.0 13.0×31.0	黒陶	1点
6	後期	八木 一夫		雲の記憶	1978(昭和53)年	高さ42.8 41.0×11.5	黒陶・鉛板	1点
7		熊倉 順吉	1920(大正9)年-1985(昭和60)年	曲面のレコードラック	1981(昭和56)年	高39.0 27.5×11.0	陶器	1点
8		山田 光	1924(大正13)年-2001(平成13)年	化粧の塔	1980(昭和55)年	高37.5 45.4×19.0	陶	1点
9		鈴木 治	1926(大正15)年-2001(平成13)年	神経質な鳥	1975(昭和50)年	高18.7 20.0×12.6	青白磁(台)木	1点
10		小平 胖可	1944(昭和19)年-2003(平成15)年	一人の春衣	2001(平成13)年	高さ178	樹脂	1点
11		小林 千古	1870(明治3)年-1911(明治44)年	ミルク・メイド	1897(明治30)年	69.0×50.8	画布・油彩・額装	1面
12		南 薫造	1883(明治16)年-1950(昭和25)年	小童	1909(明治42)年	60.5×49.8	画布・油彩・額装	1面
13		長谷川利行	1891(明治24)年-1940(昭和15)年	田端変電所	1923(大正12)年	23.8×32.6	板・油彩・額装	1面
14		里見 勝蔵	1895(明治28)年-1981(昭和56)年	娘の化粧	1928(昭和3)年	80.3×65.2	画布・油彩・額装	1面
15		山口 長男	1902(明治35)年-1983(昭和58)年	象形	1956(昭和31)年	182.3×183.2	板・油彩・額装	1面
16		山路 商	1903(明治36)年-1944(昭和19)年	犬とかたつむり	1937(昭和12)年	80.1×116.4	画布・油彩・額装	1面
17		井上長三郎	1906(明治39)年-1995(平成7)年	屠殺場	1936(昭和11)年	203.0×270.0	画布・油彩・額装	1面
18		檜山 武夫	1906(明治39)年-1982(昭和7)年	陸橋	1931(昭和6)年	91.0×91.0	画布・油彩・額装	1面
19		鑿 光	1907(明治40)年-1946(昭和21)年	帽子をかむる自画像	1943(昭和18)年	60.0×50.0	画布・油彩・額装	1面
20		菅井 汲	1919(大正8)年-1996(平成8)年	黒	1964(昭和39)年	高34.0	ブロンズ	1点
21		菅井 汲		SOLEIL BLEU	1969(昭和44)年	235.0×236.0	画布・アクリル額装	1面
22		金光 松美	1922(大正11)年-1992(平成4)年	AUGUST	1960(昭和35)年	182.8×182.8	画布・油彩額装	1面
23	前期	ヴァンリー・カンディンスキー	1866年-1944年	小さな世界	1922年	35.6×28.0他	木版・リトグラフ他	12面
24	後期	フランシス・ピカビア	1879年-1953年	アンピトリテ	1935年頃	92.0×73.5	画布・油彩・額装	1面
25		アンリ・ローランス	1885年-1954年	イヤリングをつけた女の顔	1921年	高36.9	テラコッタ	1点
26		ジャン(ハンス)・アルプ	1886年-1966年	目覚め	1938年(1983年鑄造)	高47.5	ブロンズ	1点
27	前期	マン・レイ	1890年-1976年	アングルのヴァイオリン	1924年	30.8×23.1	ゼラチンシルバプリント・額装	1面
28	前期	マン・レイ		解剖台の上でミシンと編蝠傘が偶然出会ったように美しい	1933年	24.9×37.8	ゼラチンシルバプリント・額装	1面

No.	展示替	作者名	生没年	作品名	制作年	寸法(cm)	材質・技法	員数
29	前期	マン・レイ	1890年-1976年	シュルレアリスム展におけるサルバドール・ダリのオブジェ	1936年	26.0×21.2	ゼラチンシルバプリント・額装	1面
30	後期	マン・レイ		埃の培養	1920年	21.1×37.5	ゼラチンシルバプリント・額装	1面
31	後期	マン・レイ		贈り物	1921年	20.2×14.8	ゼラチンシルバプリント・額装	1面
32	後期	マン・レイ		サルバドール・ダリ	1921年	28.7×22.6	ゼラチンシルバプリント・額装	1面
33		ヘンリー・ムーア	1898年-1986年	弦のある形	1939年	高30.5	ブロンズ・弦	1点
34		アレクサンダー・コールドー	1898年-1976年	ヴァーティカル・ホワイト・フレーム	1936年	高265.4	木・金属・ワイヤーなど	1点
35		バーバラ・ハップワース	1903年-1975年	ネスティング・ストーンズ	1937年	高19.0	大理石	1点
36		イサム・ノグチ	1904年-1988年	追想	1944年(1993-84年鋳造)	高125.7	ブロンズ	1点
37		サルバドール・ダリ	1904年-1989年	ヴィーナスの夢	1939年	243.8×487.6	パネル・画布・油彩・額装	1面

第3期「広島県立美術館名品選2 ～風景表現の系譜 静岡県立美術館のコレクションとともに～」

平成24年9月21日(金)～12月25日(火) 前期：9月21日(金)～10月28日(日)

第3室、第4室

後期：10月30日(火)～12月25日(火)

静岡県立美術館と広島県立美術館は、平成24年2月28日に「相互協力に関する協定」を締結し、文化芸術分野における人的及び物的資源を有効活用し、地域社会に貢献するとともに、両県の文化芸術の相互関係を発展させるため、連携の深化を図った。その一環として、静岡県立美術館から優れた所蔵品を借用し、当館の所蔵作品を交えながら「風景」を切り口に作品を紹介した。

No.	展示替	作者名	生没年	作品名	制作年	寸法(cm)	材質・技法	員数
1	前期	初期狩野派		四季花鳥図屏風	16世紀(室町時代末期)	各138.5×269.4	紙本彩色・屏風	六曲一双
2	前期			西湖図	16世紀	各137.5×353.6	紙本墨画・屏風	六曲一双
3	後期			曾我物語 富士巻狩・仇討図	17世紀中期(江戸時代)	各156.8×356.6	紙本金地彩色・屏風	六曲一双
4	後期			巖島・鞍馬図	江戸時代	各153.5×340.0	紙本彩色・屏風	六曲一双
5	前期	福原 五岳	1730(享保15)年-1799(寛政11)年	唐人物図	1785(天明5)年	171.0×276.5	紙本彩色・屏風	二曲一隻
6	後期	狩野 永祥	1811(文化8)年-1886(明治19)年	山水図屏風	19世紀後半(明治初期)	各136.8×55.0	紙本墨画・押絵貼屏風	六曲一双
7		五姓田義松	1855(安政2)年-1915(大正4)年	富士	1905(明治38)年	46.8×101.5	画布油彩・額装	1面
8	後期	竹内 栖鳳	1864(元治元年)-1942(昭和17)年	城址	1924(大正13)年	80.6×94.2	紙本墨画淡彩・軸装	1幅
9		小林 千古	1870(明治3)年-1911(明治44)年	華嚴の滝		60.8×41.0	画布・油彩・額装	1面
10		南 薫造	1883(明治16)年-1950(昭和25)年	犬吠岬	1940(昭和15)年	65.4×80.3	画布・油彩・額装	1面
11		小林 和作	1888(明治21)年-1974(昭和49)年	山湖の秋	1970(昭和45)年	80.3×100.0	画布・油彩・額装	1面
12		児島善三郎	1893(明治26)年-1962(昭和37)年	箱根	1937(昭和12)年頃	90.7×115.2	画布・油彩・額装	1面
13	後期	速水 御舟	1894(明治27)年-1935(昭和10)年	隠岐の海	1914(大正3)年	113.0×42.2	絹本彩色・額装	1幅
14		田中 万吉	1895(明治28)年-1945(昭和20)年	川ととうもろこし畑	1916(大正5)年-1920(大正9)年頃	49.8×60.6	画布・油彩・額装	1面
15	前期	児玉 希望	1898(明治31)年-1971(昭和46)年	騒雨来		735×84.0	絹本彩色・額装	1面
16	後期	田村 一男	1904(明治37)年-1997(平成9)年	北越大雪	1974(昭和49)年	145.5×89.4	画布・油彩・額装	1面
17		奥田 元宋	1912(明治45)年-2003(平成15)年	待月	1949(昭和24)年	130.4×204.2	絹本彩色・額装	1面
18		川崎 春彦	1929(昭和4)年-	凜冬	1968(昭和43)年	173.5×221.0	紙本彩色・額装	1面
19		川端 玉章	1842(天保13)年-1913(大正2)年	ナイアガラ瀑布図		32.0×58.0	絹本墨画彩色	1面
20		久米桂一郎	1866(慶応2)年-1934(昭和9)年	帰り道	1892(明治25)年	50.0×64.8	画布・油彩・額装	1面
21		和田 三造	1883(明治16)年-1967(昭和42)年	風景(パリ)	1909(明治42)年-1915(大正4)年頃	62.5×37.5	画布・油彩・額装	1面
22		南 薫造	1883(明治16)年-1950(昭和25)年	ノースモルトン風景	1908(明治41)年	61.0×76.5	画布・油彩・額装	1面
23		南 薫造		ロンドン河畔	1908(明治41)年	73.5×91.3	画布・油彩・額装	1面
24		ライオネル・ファイニンガー	1871年-1956年	海辺の夕暮	1927年	45.0×77.0	画布・油彩・額装	1面
25		ジョアン・ミロ	1893年-1983年	シウラナの教会	1917年	46.3×55.1	画布・油彩・額装	1面
26		福田 恵一	1895(明治28)年-1956(昭和31)年	イスパニアに寄る常長	1923(大正12)年	111.3×115.8	絹本彩色・軸装	1幅
27		児玉 希望	1898(明治31)年-1971(昭和46)年	モンブラン	1957(昭和32)年	104.0×117.0	絹本墨画・額装	1面
28		平山 郁夫	1930(昭和5)年-2009(平成21)年	波斯黄堂旧址	1974(昭和49)年	166.8×390.0	紙本彩色・額装	1面

第4期「新収蔵作品を中心に」

平成23年度に寄贈を受けた作品を中心に紹介した。

宮永理吉の陶の世界 平成25年1月19日(土)～4月14日(日)

彫刻展示スペース

No.	作者名	生没年	作品名	制作年代	寸法(cm)	材質など	員数
1	宮永 理吉	1935(昭和10)年-	断層	1956(昭和31)年	高32.0 30.0×31.0	陶	1点
2	宮永 理吉		土の歩み	1957(昭和32)年	高58.0 150.0×55.7	陶	1組
3	宮永 理吉		水中花	1972(昭和47)年	高25.0 14.0×14.0	青磁	1点
4	宮永 理吉		東山遠望	1983(昭和58)年	高32 41×22	青磁	1点
5	宮永 理吉		雲は夏	1988(昭和63)年	高34 33×13.5	磁器	1点
6	宮永 理吉		空に架ける	1994(平成6)年	高53.5 47×16.5	磁器	1点
7	宮永 理吉		天空の森	1997(平成9)年	高64 47.5×18.5	磁器	1点
9	宮永 理吉		天空の森型紙	1997(平成9)年	—	紙	1式
8	三代宮永東山(宮永理吉)		風の眼差し	2004(平成16)年	高45 20×21	青磁	1点

彫刻家・峯田敏郎—新収蔵作品から 平成25年1月19日(土)～4月14日(日)

第1室

No.	作者	生没年	作品名	制作年	寸法(cm)	材質など	出品歴など	員数
1	峯田 敏郎	1939(昭和14)年-	人間のためのモニュメント	1969(昭和44)年	230	木	第43回国展 会友優作賞	1点
2	峯田 敏郎		記念撮影—終わらないアンコール・09のエリアー	2009(平成21)年	100×130×80	木・彩色		1点
3	峯田 敏郎		記念撮影—遠い日の風音・私の母と—	2011(平成23)年	200×145×115	木・真鍮・彩色	第85回国展	1点

夢か、現か—ダリの大作《ヴィーナスの夢》を中心に 平成25年1月19日(土)～4月14日(日)

第1室

No.	作者	生没年	作品名	制作年	寸法(cm)	材質など	出品歴など	員数
4	ライオネル・ファイニンガー	1871～1956	海辺の夕暮	1927年	45×77	画布・油彩		1面
5	ジュリオ・ゴンザレス	1876～1942	人物(鏡の前の女)	1934年	高さ51.5	ブロンズ		1面
6	フランシス・ピカビア	1879～1953	アンピトリテ	1935年頃	92×73.5	画布・油彩		1面
7	アレクサンダー・カーノルト	1881～1939	静物	1925年	80×101	画布・油彩		1面
8	エーリッヒ・ヘッケル	1883～1970	木彫のある静物	1913年	70.5×60.7	画布・油彩		1面
9	アンリ・ローランス	1885～1954	イヤリングをつけた女の顔	1921年	高さ36.9	テラコッタ		1点
10	ジャン(ハンス)・アルブ	1887～1966	目覚め	1938年(1983年鑄造)	高さ47.5	ブロンズ		1点
11	マン・レイ	1890～1976	覚めて見る夢の会	1924年	20.6×28.7	ゼラチン・シルバー・プリント		1面
12	マン・レイ		カサッティ侯爵夫人/わが魂の肖像	1930年	29.2×21.2	ゼラチン・シルバー・プリント		1面
13	マン・レイ		偽りの涙	1930年	22.0×29.8	ゼラチン・シルバー・プリント		1面
14	ヘンリー・ムーア	1898～1986	弦のある形	1939年	高さ30.5	ブロンズ・弦		1点
15	ルネ・マグリット	1898～1967	人間嫌いだち	1942年	54×73	画布・油彩		1面
16	ベン・シャーン	1898～1976	四人の検事	1931～32年	24.8×37.5	板・グワッシュ		1面
17	ベン・シャーン		陪審員席	1932～33年	41.9×58.4	紙・グワッシュ		1面
18	ベン・シャーン		強制収容所	1944年	61×62	板・テンペラ		1面
19	サルバドール・ダリ	1904～1989	マルドロールの歌	1934年	32.5×25	紙・インク・リトグラフ		30枚組版画 集より8面
20	サルバドール・ダリ		ヴィーナスの夢	1939年	243.8×487.6	画布・油彩		1面
21	バーバラ・ヘップワース	1903～1975	ネスティング・ストーンズ	1937年	高さ19	大理石		1点
22	イサム・ノグチ	1904～1988	追想	1944年(1983～84年鑄造)	高さ125.7	ブロンズ		1点

広島ゆかりの作家の新収蔵品を中心に 第2室

平成25年 1月19日(土)～4月14日(日)

No.	作者	生没年	作品名	制作年	寸法(cm)	材質・形状	員数	出品歴
1	小林 千古	(明治3・1870～明治44・1911)	やし(静物)	明治26・1893年	34.0×44.0	油彩・画布	1面	
2	小林 千古		自画像	明治36-38・1903-05年頃	67.5×58.0	油彩・画布	1面	
3	南 薫造	(明治16・1883～昭和25・1950)	冬枯れ	明治42・1909年	31.0×40.7	油彩・板	1面	
4	南 薫造		魚見	明治45/大正元・1912年	14.4×16.8	木版・紙	1面	
5	南 薫造		窓辺の女	大正4・1915年	60.5×45.0	油彩・画布	1面	
6	国盛 義篤	(明治30・1897～昭和26・1951)	静物	昭和21・1946年	48.5×56.5	油彩・画布	1面	
7	国盛 義篤		奈良の小川	昭和24・1949年	65.0×53.0	油彩・画布	1面	
8	鎌田 功治	(明治35・1902～昭和50・1975)	風景A		21.2×27.2	油彩・板	1面	
9	鎌田 功治		ライン河の夕暮	昭和42・1967年頃	60.8×91.0	油彩・画布	1面	
10	宇根元 警	(明治37・1904～昭和45・1970)	静物	昭和33・1958年	45.3×53.0	油彩・画布	1面	美術家会館建設展
11	宇根元 警		冬日	昭和33・1958年	90.0×116.0	油彩・画布	1面	広島県在住代表美術家展
12	巖 光	(明治40・1907～昭和21・1946)	静物(柿)	昭和18・1943年	31.8×41.0	油彩・画布	1面	
13	鎌田 知治	(明治40・1907～昭和55・1980)	現代の狂気(其の二)交通禍	昭和43・1968年頃	117.0×91.0	油彩・板	1面	
14	福井 芳郎	(明治45・1912～昭和49・1974)	蓮	昭和3・1928年	115.0×89.0	油彩・画布	1面	第9回帝展
15	福井 芳郎		子供	昭和26・1951年	27.3×22.0	油彩・画布	1面	
16	菅井 汲	(大正8・1919～平成8・1996)	月へ旅立つ鬼	昭和38・1963年	162.0×130.2	アクリル・油彩・画布	1面	
17	菅井 汲		NATIONAL ROUTE(ナショナル・ルート)	昭和39・1964年	195.0×130.0	アクリル・油彩・画布	1面	
18	名柄 禎子	(昭和6・1931～)	あやとり	昭和28・1953年	116.7×91.0	油彩・画布	1面	第17回新制作展
19	名柄 禎子		白の残映	昭和50・1975年	193.9×260.6	油彩・画布	1面	第39回新制作展
20	小笠原忠弘	(昭和15・1940～平成18・2006)	例えば扉(A)	昭和42・1967年	118.0×75.0	油彩・画布	1面	個展(マドリッド・ミネルバ画廊)
21	久保 俊寛	(昭和16・1941～)	川岸の家(A)	1960年代前半	65.0×91.5	油彩・画布	1面	
22	殿敷 侃	(昭和17・1942～平成4・1992)	作品(顔)	昭和48・1973年	13.8×17.4	インク・紙	1面	
23	殿敷 侃		作品(身体)	昭和49・1974年	14.0×17.6	インク・紙	1面	
24	殿敷 侃		予告	昭和49・1974年	5.6×24.2	インク・紙	1面	
25	殿敷 侃		ドームのレンガ	昭和52・1977年	23.3×32.3	銅版・紙	1面	
26	殿敷 侃		作品(石)	昭和52・1977年	17.8×22.4	銅版・紙	1面	
27	殿敷 侃		のこ(1)		14.5×24.5	銅版・紙	1面	
28	殿敷 侃		のこ(2)		13.5×36.2	銅版・紙	1面	
29	殿敷 侃		釘(折れた)		5.4×8.0	銅版・紙	1面	
30	殿敷 侃		釘(長い)		2.7×12.0	銅版・紙	1面	
31	殿敷 侃		釘(二本)		5.6×7.9	銅版・紙	1面	
32	殿敷 侃		釘(輪)		11.5×14.7	銅版・紙	1面	
33	殿敷 侃		くし(1)		4.9×7.8	銅版・紙	1面	
34	殿敷 侃		くし(2)		11.9×7.6	銅版・紙	1面	
35	殿敷 侃		くし(3)		11.9×7.6	銅版・紙	1面	
36	殿敷 侃		くし(4)		16.1×19.8	銅版・紙	1面	
37	殿敷 侃		取っ手		14.7×19.5	銅版・紙	1面	
38	殿敷 侃		針金		11.7×12.8	銅版・紙	1面	
39	殿敷 侃		わっか		8.4×10.7	銅版・紙	1面	
40	殿敷 侃		彼岸花		18.8×13.5	銅版・紙	1面	
41	殿敷 侃		数珠		22.7×17.6	銅版・紙	1面	
42	殿敷 侃		貝		9.5×9.8	銅版・紙	1面	
43	殿敷 侃		釣針		4.2×4.8	銅版・紙	1面	
44	殿敷 侃		とんぼ	昭和53・1978年	14.5×19.4	エッチング・紙	1面	
45	殿敷 侃		ゆきのした	昭和54・1979年	27.3×19.3	エッチング・ア クアチント・紙	1面	
46	殿敷 侃		霊地		37.8×54.0	シルクスクリーン・紙	1面	
47	殿敷 侃		作品(新聞)		54.7×39.8	シルクスクリーン・新聞紙	1面	
48	殿敷 侃		作品(6)	昭和56・1981年	163.9×82.0	シルクスクリーン・新聞紙	1面	
49	殿敷 侃		作品(7)	昭和56・1981年	160.0×95.0	シルクスクリーン・新聞紙	1面	
50	殿敷 侃		ケロイド		47.3×38.7	シルクスクリーン・紙	1面	

日本画にみる広島的情景—新収蔵・宮川啓五《太田川》とともに—

第3室

平成25年1月2日(水)～4月14日(日)

No.	作者	生没年	作品名	制作年	寸法(cm)	材質	員数
1	石谷 柑圃	(明治18・1885～昭和17・1942)	三段峽	昭和12・1937年	38.5×1197.0 38.5×1272.0	絹本彩色・卷子	2巻
2	森谷南人子	(明治22・1889～昭和56・1981)	初春閑村	昭和13・1938年	116.0×195.0	紙本彩色・額装	1面
3	児玉 希望	(明治31・1898～昭和46・1971)	巖島	昭和32・1957年	123.0×178.0	絹本墨画・額装	1面
4	和高 節二	(明治31・1898～平成2・1990)	みやまの女	昭和6・1931年	221.5×228.6	紙本彩色・屏風	二曲一雙
5	綿谷行四郎	(明治33・1900～昭和52・1977)	宮島廻廊	昭和48・1973年	176.0×207.0	紙本彩色・額装	1面
6	三沢三千彦	(明治33・1900～昭和57・1982)	福王寺山門	昭和42・1967年	130.0×161.0	紙本墨画・額装	1面
7	正木 巍	(明治37・1904～昭和58・1983)	大野の滝	昭和44・1969年	159.0×132.0	紙本彩色・額装	1面
8	吉川 重光	(明治41・1908～平成3・1991)	二級峽(竜涎の滝)	昭和42・1967年	245.0×168.5	紙本彩色・額装	1面
9	奥田 元宋	(明治45・1912～平成15・2007)	夕映	昭和22・1947年	180.0×180.0	絹本彩色・屏風	二曲一雙
10	宮川 啓五	(昭和2・1927～)	太田川	平成11～12・1999～2000年	94.0×740.0	紙本彩色・額装	1面
11	平山 郁夫	(昭和5・1930～平成21・2009)	浅春	昭和30・1955年	181.0×200.0	紙本彩色・額装	1面

新収蔵作品を中心に 岩崎博氏寄贈染織コレクション～インド&インドネシア篇とインドの民族衣装

第4室

平成25年1月2日(水)～4月14日(日)

No.	制作地または採集地	作品名	制作年代	寸法(cm)	材質など	員数
1	インド	刺繍布	19～20世紀	117×103	木綿・絹・金属・刺繍	1枚
2	インド	ペイズリー文金糸織布	19～20世紀	200×61	絹・金糸・縫取織・浮紋織	1枚
3	インド	ペイズリー文更紗	19～20世紀	217×129	木綿・木版	1枚
4	インド	花繫文更紗	19～20世紀	183×184	木綿・木版	1枚
5	インド	更紗	19～20世紀	247×90.5	木綿・手描き	1枚
6	インド	絞染布	19～20世紀	192×155	木綿・絞り(バンダニ)	1枚
7	インド	刺繍布	19～20世紀	38.5×38	木綿・刺繍	1枚
8	インド、バンジャール	女性用上衣(チョリ)	1970年以前	丈42.5 幅54	木綿・ミラーワーク、刺繍等	1枚
9	インド、バンジャール	女性用スカート(ガーガラ)	1970年以前	丈85 腰囲72	木綿・ミラーワーク、刺繍等	1枚
10	インド、バンジャール	女性用ベール(オルナ)	1970年以前	141×195	木綿・ミラーワーク、刺繍等	1枚
11	インド、グジャラート	刺し子袋	19～20世紀	82.5×57	木綿・刺し子・プリント	1枚
12	インド、グジャラート	刺し子パッチワーク布	19～20世紀	81×53.5	木綿・刺し子・パッチワーク	1枚
13	インド、グジャラート、カッチ	ミラー刺繍袋	19～20世紀	48×47	木綿・ミラー・刺繍・刺し子・パッチワーク	1枚
14	インド、インドネシア(印金)	花繫文印金更紗	20世紀	209×113	木綿・木版・印金	1枚
15	インドネシア	緯緋金糸織布	19～20世紀	301×57.5	絹・金糸・緯緋・縫取織・浮紋織	1枚
16	インドネシア	経緋布	19～20世紀	138×126	木綿・経緋	1枚
17	インドネシア	経緋布	19～20世紀	179×67	木綿・経緋	1枚
18	インドネシア	経緋布	19～20世紀	193×92	木綿・経緋	1枚
19	インドネシア	カイン・パンジャン	19～20世紀	257×107	木綿・パティック	1枚
20	インドネシア	カイン・パンジャン	19～20世紀	212×89	木綿・パティック	1枚
21	インドネシア	カイン・パンジャン	19～20世紀	209×90	木綿・パティック	1枚
22	インドネシア	カイン・パンジャン	19～20世紀	254×105	木綿・パティック	1枚
23	インドネシア	カイン・パンジャン	19～20世紀	195×90	木綿・パティック	1枚
24	インドネシア	紋織布	20世紀	171×114	木綿・浮紋織・刺繍	1枚
25	インドネシア	金糸織布	19～20世紀	180.5×45	絹・金糸・浮紋織	1枚
26	インドネシア	ガルーダ文布	19～20世紀	204×88	木綿・ロウケツ染	1枚
27	インドネシア	植物文布	19～20世紀	220×89	木綿・ロウケツ染	1枚
28	インドネシア、ジャワ島採集、オランダ産	バトラ文布	19～20世紀	268×78	木綿・ロウケツ染	1枚
29	インドネシア、トラジャ	水牛人物葉文更紗	20世紀	178×86	木綿・手描き・木版	1枚

新収蔵作品を中心に 河面冬山を中心に 平成25年1月2日(水)～4月14日(日)
第4室

No.	制作地または採集地	生没年	作品名	制作年代	寸法(cm)	材質など	員数
30	六角 紫水	1867(慶応3)年-1950(昭和25)年	花を弄ぶ人 婦人用二重文具箱	1932(昭和7)年	22.2×14.5 高8.1	漆	1合
31	松田 権六	1896(明治29)年-1986(昭和61)年	菊水文飾筥	1940(昭和15)年	33.5×24.5 高7.5	漆	1合
32	伝・河面冬山	1882(明治15)年-1955(昭和30)年	扇面散し蒔絵料紙箱		32×40.5 高16.5	漆	1合

柿右衛門様式の優品3点 平成25年1月2日(水)～4月14日(日)
第4室

No.	作品名	制作年代	寸法(cm)	材質など	員数
41	重要文化財 伊万里色絵花卉文輪花鉢 (柿右衛門様式)	江戸時代 17世紀後半	口径24.4、高11.5	磁器・色絵	1口
42	伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高45.0	磁器・色絵	1軀
43	伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高44.3	磁器・色絵	1軀

Ⅲ 普及活動

1 ネットワーク美術館展

船田玉樹展 前期展「船田玉樹の輪郭」／後期展「船田玉樹—花鳥風月の昇華—」

会 期／平成24年9月5日(水)～11月19日(月) (開館日数65日)

前期展：平成24年9月5日(水)～10月8日(月)

後期展：平成24年10月10日(水)～11月19日(月)

休 館 日／火曜日(祝日の場合は翌日)

会 場／蘭島閣美術館(広島県呉市下蒲刈町三之瀬200-1)

主 催／蘭島閣美術館・広島県立美術館

後 援／中国新聞社

入 館 料／大人500円(400円)・高校生300円(240円)・小中学生200円(160円)

入館者数／2,309人



「広島県美術館ネットワーク」加盟館と広島県立美術館が協同し、県立美術館が所蔵する美術作品を、地域の身近な美術館で鑑賞する機会を提供するとともに、鑑賞学習キットを活用した児童・生徒の団体鑑賞の開催等により、学校による美術館の利用を促進し、地域と美術館及び学校との連携を深めることを目的として開催した。本展では、生誕100年をむかえた呉市出身の日本画家・船田玉樹に焦点を当てた。県立美術館が所蔵する船田玉樹作品を選定して展示するとともに、親しく交流のあった作家の作品もあわせて紹介。また、画家が通った小学校の跡地に立つ美術館(蘭島閣美術館)を会場として、郷土の芸術・文化への関心と誇りを高める契機とすべく、同地に残る玉樹の足跡を辿りながら、個人蔵の作品も集めて展観した。

関連事業

(1) 団体学習鑑賞会

① 呉市立白岳中学校

日 時：11月14日(水) 13:30～

内 容：広島県立美術館の鑑賞授業連携事業として開催。広島県立美術館所蔵の船田玉樹作品2点を中学校へ持ち込み、実際の作品を鑑賞しながら学芸員の解説等を行う。対象の白岳中学校は船田玉樹の生まれ育った呉市広を学区としており、作家と深いゆかりを持つ学校である。

講 師：永井 明生(担当学芸員)

会 場：呉市立白岳中学校体育館

参加人数：30人

② 呉市立下蒲刈小学校

日 時：11月16日(金) 10:00～

内 容：対象学校の児童が蘭島閣美術館を来訪し、開催中の「船田玉樹展」を鑑賞。同校は船田玉樹の卒業した三之瀬尋常小学校を前身としており、児童にとっては自校の大先輩の展覧会となる。

講 師：永井 明生(担当学芸員)

会 場：蘭島閣美術館展示室

参加人数：20人

(2) ギャラリートーク

日 時：9月9日(日)、23日(日)、10月28日(日)、11月3日(土) 11:00～、14:00～

講 師：吉川 昌宏(蘭島閣美術館学芸員)、永井 明生(担当学芸員、11/3のみ)

会 場：蘭島閣美術館

参加人数：各回平均10名

その他

作品鑑賞の参考となるガイドブックを作成し、会場等で配布した。(A5判8ページ 3,000部)

2 第64回広島県美術展

この展覧会は「広く県民から美術作品を公募し、優れた作品を展示することにより、創作活動の振興を図るとともに、鑑賞の機会を提供し、もって芸術文化の向上に資すること」を目的に、昭和24年以来開催している。第64回展では、応募点数1,253点のうち480点が入選。うち、受賞作品55点（大賞7点、優秀賞12点、奨励賞36点）。

主催

広島県

共催

安芸高田市教育委員会・府中市教育委員会・尾道市教育委員会・三原市・福山市教育委員会・三次市教育委員会・庄原市教育委員会・竹原市・世羅町教育委員会・中国新聞社

後援

NHK広島放送局・中国放送・広島テレビ・広島ホームテレビ・テレビ新広島・広島エフエム放送・FMちゅーピー76.6MHz・エフエムふくやま・尾道エフエム放送・FMはつかいち76.1MHz

開催会場、期間および観覧者数

市町名	会場	会期	観覧者数
広島市（中央展）	広島県立美術館	6月30日(土)～7月15日(日)	7,096人
安芸高田市	安芸高田市甲田文化センターミュージズ	7月25日(水)～7月29日(日)	562人
府中市	府中市生涯学習センター	8月1日(水)～8月5日(日)	445人
尾道市	尾道市瀬戸田市民会館	8月8日(水)～8月12日(日)	422人
三原市	三原リージョンプラザ	8月15日(水)～8月19日(日)	750人
福山市	ふくやま美術館	8月22日(水)～8月26日(日)	1,474人
三次市	三良坂平和美術館	8月29日(水)～9月2日(日)	275人
庄原市	庄原市田園文化センター	9月5日(水)～9月9日(日)	213人
竹原市	たけはら美術館	9月12日(水)～9月16日(日)	505人
世羅町	世羅町せら文化センター	9月19日(水)～9月23日(日)	223人

合計 11,965人

入賞者名簿

絵画系	◎加藤宣也 ○中林昭策 若山恵子 田村末人 大田垣恭仁子	◎尾川積 ○倉田喜久栄 三木シズエ 小笠原博一 伊藤卓爾	○和泉川頼子 定金昌枝 杉原秀樹 渋田なおみ 千田禅	○大原馨 児玉佳恵 上野芳郎 前田珠紀
彫塑系	◎森近伸男	○北川宏	大形久典	
工芸系	◎和泉川頼子 是恒さくら	○山本敏之 沖本道子	○池田恵子 下村純子	三好幸二郎
書系	◎平岡慶舟 山根臥遊 中森淳	○開原ひろこ 重田清蘭 児玉裕美	○竹増陽子 岡田静香 高橋影子	明木洋子 鶴川稲山 櫻井孝聖
写真系	◎鹿田義彦 百鳥健一 金川昌弘	○吉川昭子 藤川泰布 世良時夫	○有岡亨 木下和輝	不二川公哉 吉田道子
デザイン系	◎小島信行	○林田真弓	藤原茂美	濱名美優

※◎は大賞、○は優秀賞、無印は奨励賞

3 第1回広島県ジュニア美術展

この展覧会は「広島県の児童・生徒等の優れた作品を公募し、展示することにより、創作活動を奨励するとともに、鑑賞の機会を提供し、次世代の美術力（感じる力、考える力、みる・かく・つくる力）の向上を図ること」を目的に、平成24年度から開催した。第1回展では、応募点数2,661点のうち1070点が入選。うち、受賞作品82点（大賞6点、優秀賞21点、奨励賞55点）。

主催
広島県

共催
広島県教育委員会／中国新聞社

後援
NHK広島放送局／中国放送／広島テレビ／広島ホームテレビ／テレビ新広島／広島エフエム放送／FMちゅーピー 76.6MHz／エフエムふくやま／尾道エフエム放送／FMはつかいち76.1MHz

会場
広島県立美術館（地階県民ギャラリー全室）

会期
平成24(2012)年12月19日(水)～平成24年12月25日(火)
※12月21日(金)は19時まで、12月25日(火)は15時まで開場。

入館料
無料

観覧者数
2,700人

入賞者名簿

絵画系	◎古迫奈々葉 ○渡邊倫子 ○澤岡星也 ○藤縄みゆう 高下畑李來 岡本直也 齋藤世基 川路尚哉 山路彩花 今橋慶祐 有村比与利 梶山愛矢	◎林佳那 ○上田朱音 ○澤岡涼香 ○黒川碧徳 大平泰徳 中久保和泉 藤井徹也 八澤優子 瀬尾真輝 兒玉樹音 沖翔子 時光宏太	○豊原楓 ○新垣祐次郎 ○川本友希 ○山光未祐 安間隼斗 竹田鈴奈 福万咲耶 岡田匠平 長原勇翔 伊東良隆 新田彩貴 宮内美咲	○鈴木みづき ○野村かなめ ○曾田大暉 ○前田拓巳 森優美子 瀬尾萌乃 釜本陽菜 山伊勢健人 大西明里 佐々木琳 城戸瞳 賀然
彫刻系	◎小野寺祐希 宮野航希 山下咲蘭	○富安遥己 濱村隆義 西江真実	○空辰乃輔 藤本海	高田悠介 大野介也
工芸(工作)系	◎西内海斗 吉田翔 浜本世梨奈	○柴野菜緒 新田諒 上田鈴人	○落窪陽人 岩城由加子 重川貴一朗	道遊颯人 坂下榛菜
写真系	◎永久ゆう	○眞田葵	高橋真歩	高橋祐希
デザイン系	◎三坂笑花 大本紗弥香 藤縄みゆう	○横山莉奈 大畠奈都子	○森山美琴 原田さとみ	児玉謙吾 藤縄悠之介

※◎は大賞、○は優秀賞、無印は奨励賞

4 博物館実習

大学及び短期大学における博物館学講座の単位習得の一環として、博物館学を履修する学生を一時的に受け入れ、博物館現場における知識及び技能を修得させることにより、人材の育成を図ることを目的として実施している。

開設日時とカリキュラム、および受入先は次のとおり。

開設日時と内容

8月23日(木)	9:30~9:45	開講あいさつ	[当館館長]
	9:45~10:30	オリエンテーション	
	10:30~11:30	美術館とマネジメント	[当館館長]
	11:30~12:00	美術館と学芸活動	[当館学芸課長]
	13:00~13:30	公共文化施設と指定管理制度	[乃村工藝社PPP事業部長 中村 秀男 氏]
	13:30~15:00	コレクション展会場・館内見学	
	15:00~16:00	ミニ企画展実習(1 概論)	
8月24日(金)	9:30~12:00	作品取扱い実習・調書作成(絵画)	
	13:00~14:00	「絵本ミュージアム展」「子ども美術館」会場見学	
	14:00~16:00	作品取扱い実習・調書作成(工芸)	
8月25日(土)	9:30~10:30	「フレデリック・バック展」会場見学	
	10:30~12:00	ミニ企画展実習(2 企画-討議)	
	13:00~14:00	展覧会を取材する(館内取材・資料調査)	
	14:00~16:00	ミニ企画展実習(3 企画-立案)	
8月27日(月)	9:30~10:30	展覧会を紹介する(短評作成・相互批評)	
	10:30~12:00	ミニ企画展実習(4 企画-集約)	
	13:00~16:00	ミニ企画展実習(5 企画-制作)	
8月28日(火)	9:30~12:00	ミニ企画展実習(6 企画-発表準備)	
	13:00~14:30	ミニ企画展実習(7 発表)	
	15:00~16:00	受講生ディスカッション	

受入先

京都教育大学、比治山大学、広島市立大学、広島女学院大学、広島大学(計19人)

ミニ企画展実習

メインカリキュラムの「ミニ企画展実習」では、数点の所蔵作品によって特別展を企画するという課題にとりくんだ。人文系、芸術系など異なる専攻の学生たちが幅広い視点でアイデアを持ち寄り、各班が個性的な企画や関連イベントにまとめ上げた。教育プログラムとしては、子ども対象企画のほか高齢者対象のものも課題とした。提案された展覧会名、展示作品は次のとおりである。

①	FACE TO FACE (かおとかお) ~表情から感じるもの~ 甲斐荘楠音《横櫛》、鬘光《二重像》、《八幡鬼》神楽面、ジャン(ハンス)・アルプ《目覚め》、南薫造《うしろむき》
②	金~金が彩る美術展~ 《厳島図》、《鞍馬・厳島図》、金城三代一國齋《菊雲鶴文食籠》、平山郁夫《受胎霊夢》、圓鏗勝三《月夜の僧》
③	月の灯(あかり)展-広島を彩る秋の夜- 月明かりの中を一緒に散歩しませんか? 児玉希望《猿猴捉月》、奥田元宋《秋巒真如》、片山牧羊《おぼろ》、圓鏗勝三《月夜の僧》
④	Wanted!!~迷い込んだ動物たち~ サルバドール・ダリ《ヴィーナスの夢》、平山郁夫《受胎霊夢》、吉原英雄《ガラスの向こう側》、児玉希望《猿猴捉月》、《伊万里祐右衛門様式色絵馬》

(統括責任者: 石川 哲子)

5 学校、地域との連携事業

美術作品鑑賞教室 出張講座

事業内容

所蔵作品や鑑賞補助教材を活用した鑑賞授業を行うことにより、美術館と学校をはじめ、地域における鑑賞活動の支援、相互交流の促進を目指して実施。

所蔵作品を学校に持っていく鑑賞授業は、蘭島閣美術館で実施したネットワーク美術館展「船田玉樹展」との連携を主眼にした。

その他、館長および学芸スタッフにより、スライドを中心とした「出張講座」を、地域の公民館や学校で実施した。
(統括担当：石川 哲子)

(1) 美術作品鑑賞教室（ネットワーク美術館関連）

① 呉市立白岳中学校（2年生1クラス）

実施日時：平成24年11月14日（水）13：30～

鑑賞作品：船田 玉樹《春の鐘》《雪の灯ともし頃》

授業内容：白岳中学校は船田玉樹の生まれ育った呉市広を学区としていることから、地域性を活かし、作家と作品の理解を深めた。

参加人数：30人

授業実施：永井 明生



② 廿日市市立大野中学校（2年生3クラス）

実施日時：平成25年3月13日（水）14：00～14：50

鑑賞作品：船田 玉樹《春の鐘》《すすきの原の秋》《雪の灯ともし頃》

授業内容：美術教諭による事前授業を復習した後、作品を鑑賞。ワークシート「家に飾るのならどの作品にするか」について、理由とともにワークシートに記入後、発表。2年生は「職業」について学習中ということであり、最後に、学芸員および美術品展示・輸送スタッフが、職業についての質問を受けた。

参加人数：100人

授業実施：石川 哲子



(2) 美術作品鑑賞教室

呉市立白岳小学校（5年生4クラス）

実施日時：平成25年2月15日（金）13：55～15：30

鑑賞作品：サルバドール・ダリ《マルドロールの歌》5点

授業内容：当館作成のワークシートを副教材として活用。ダリの紹介を交えながら、作品の鑑賞の方法を分かりやすく教えた。

参加人数：160人

授業実施：松田 弘

(3) 出張講座

実施状況

No.	会 場	講座タイトル	開 催 日	参加者数(人)
1	宇品公民館	彫刻家 圓鏝勝三～広島市内の野外彫刻をめぐる旅	平成24年 9月28日	120
2	千代田中央公民館	鬨光（作家紹介プレゼン）	10月 6 日	50
3	県立広島大学	「美術館革命」って何？－地域と美術館	10月12日	55
4	藤の木公民館	ヴェネツィア一千年の美をめぐる旅	10月14日	11
5	広島市福田公民館	ヴェネツィア一千年の美をめぐる旅	10月21日	6
6	福山市山南公民館	ヴェネツィア一千年の美をめぐる旅	10月27日	12
7	竹原市大井公民館	糸ってどうやってできるの？	10月29日	17
8	広島市己斐公民館	シルクロードの工芸と民族衣装	11月 2 日	29
9	広島市己斐公民館	ヴェネツィア一千年の美をめぐる旅	11月 2 日	29
10	広島市舟入公民館	ヴェネツィア一千年の美をめぐる旅	11月10日	24
11	広島市立鈴が峰小学校	館長トーク（敷居の低い美術館づくり）	11月13日	45
12	福山市高島公民館	館長トーク（日本美術と海外交流）	11月16日	12
13	蘭島閣美術館	船田玉樹展	11月16日	42
14	尾道市立日比崎小学校	ダリって誰？	11月16日	80
15	広島市利松公民館	館長トーク（敷居の低い美術館づくり）	11月18日	16
16	広島県歴史民俗資料館	平家物語にちなんだ能の謡	11月18日	14
17	大林小学校	画家・武永楨雄の世界	11月21日	200
18	府中市南公民館集会室	油絵を見る楽しみ	11月22日	20
19	福山市山南公民館	シルクロードのパラオを作って食べよう！	11月22日	12
20	藤の木公民館	シルクロードのパラオを作って食べよう！	11月24日	10
21	テレビ新広島スタジオ	浮世絵の美展をめぐる	11月27日	130
22	吉捨小学校	ダリって誰？	11月29日	70
23	北広島町立豊平南小学校	鬨光（アートカードと作家紹介）	12月 4 日	31
24	北広島町図書館	館長トーク（日本美術と海外交流）	12月 8 日	25
25	広島市福田公民館	浮世絵の美展	12月17日	17
26	ひろしま国際ホテル	こんな画家がいたとは…！ 船田玉樹展の見どころ	12月17日	20
27	廿日市市立四季が丘小学校	鬨光（アートカードと作家紹介）	12月18日	60
28	福山市伊勢丘公民館	浮世絵の美展	12月19日	16
29	廿日市市立原小学校	浮世絵の美展	平成25年 1月 9 日	32
30	福山市幕山公民館	浮世絵の美展	1月10日	17
31	笠岡市立竹喬美術館	平家納経と厳島の宝物	1月13日	40
32	尾道市立因北中学校	シルクロードのパラオを作って食べよう！	1月22日	39
33	廿日市市立四季が丘小学校	ダリって誰？	1月23日	80
34	府中市南公民館	館長トーク（日本美術と海外交流、敷居の低い美術館づくり）	1月24日	52
35	廿日市市立阿品台東小学校	シルクロードのパラオを作って食べよう！	2月 5 日	45
36	尾道市立原田小学校	美術の行方ーアート・ヒストリーの過去・現在・未来	2月 5 日	13
37	呉市立音戸小学校	鬨光（アートカードと作家紹介）	2月 8 日	111
38	広島県立広島北特別支援学校	シルクロードのパラオを作って食べよう！	2月12日	49
39	皆賀公民館	船田玉樹展	2月14日	25
40	呉市立白岳小学校	ダリって誰？	2月15日	160
41	広島県立図書館	ミュージアムのすばらしさ	2月16日	50
42	安東公民館	館長トーク（日本美術と海外交流）	2月20日	16
43	広島市矢野公民館	シルクロードのパラオを作って食べよう！	2月20日	20
44	広島市美鈴が丘公民館	館長トーク（敷居の低い美術館づくり）	2月21日	16
45	広島市利松公民館	日本の伝統工芸（広島作家紹介を交え）	2月21日	15
46	広島市佐東公民館	ダリって誰？	2月23日	35
47	広島市皆賀公民館	日本の伝統工芸	3月 7 日	15
計				2003

6 新規作成ワークシート・リスト

来館者の鑑賞を支援するため、おおむね小学校高学年以上を対象とした所蔵作品のワークシートを作成している。平成24年度は新たに7種類のワークシートを作成し、合わせて283種となった。

No.	所蔵品番号	作者名	作品名	制作年	材質・技法
1	O-770	野田 信	本川橋	昭和6(1931)年	油彩・板
2	O-767	藤田嗣治	婦人像(リオ)	昭和7(1932)年	油彩・画布
3	J-332	曾我蕭白	伯顔図	明和4(1767)年頃	紙本墨画・軸装
4	HA-249・250	鯉江良二	チェルノブイリ	平成元-6(1989-94)年	シェルペン
5	HA-257~261	鯉江良二	淘汰-井の頭	昭和63(1988)年	井の頭公園の土
6	J-331	宮川啓五	太田川(春)	平成11-12(1999-2000)年	紙本彩色・額装
7	J-331	宮川啓五	太田川(夏)	平成11-12(1999-2000)年	紙本彩色・額装

ワークシート作例

J-332

ばやんず
伯顔図
1767(明和4)年頃
紙本墨画・軸装



曾我 蕭白 1730(享保15)年-1781(天明元)年
江戸時代の中頃に現在の京都、三重、兵庫で活躍した画家です。日本や中国の昔の物語や人物など伝統的なテーマを、同じく伝統に学んだ描き方で描きましたが、その表現はとても個性的で、型破りな画家として知られています。

広島県立美術館
HIROSHIMA MUSEUM OF ART

HA-249+250

チェルノブイリ
1989(平成元年)-1994(平成6)年
シェルペン(陶器の粉末)・雑器類



鯉江 良二 1938(昭和13)年-
古くからの焼き物の産地・愛知県常滑市に生まれました。個性的な食器類から反戦・反核などのメッセージを込めた作品まで、焼き物による表現の様々な可能性を追求し、「焼く」ことによる表現を金属やガラスなどにも広げて行きました。日本陶磁協会賞金賞など受賞。愛知県立芸術大学名誉教授。

広島県立美術館
HIROSHIMA MUSEUM OF ART

O-770

本川橋
1931(昭和6)年
油彩・板



野田 信 1904(明治37)年-1952(昭和27)年
新しい芸術をつくり出そうとする広島画家や詩人と交流しながら、広島や東京で活躍しました。

広島県立美術館
HIROSHIMA MUSEUM OF ART

この作品には、何が描かれていますか。見つけたものを書いてみましょう。

川には船が浮かび、橋もかかっていますね。家もたくさん建っていますが、あまり高い建物がないので、遠くには山も見えます。他にも見つけましたか？

描かれているのは、昭和の初めごろの広島市の中心部。特徴のある形の橋は、昔の本川橋です。車がほとんど走っていなかったこの時代、ものを運ぶため、人々は川を利用しました。本川(旧太田川)沿いのこの地域には、船を作る材木をしまっておく倉庫や、船の手配をする店などが並び、たくさんの船や人が行き来して、とてもにぎやかだったといえます。

画面をよく見ると・・・、たしかに人もたくさん描かれていますね。

当時の町並みや生活を伝えてくれるこの作品。タイムスリップしたつもりで、絵の中をゆっくり探検してみましょう。赤レンガ通りの銀行も、おまんじゅう屋さんも見つけますよ。

7 学校等による利用状況

No.	学校名	住所	利用年月日	生徒	引率	計
1	山口芸術短期大学	山口県山口市小郡上郷1275	平成24年 4月14日	58	4	62
2	山梨文化学園	山梨県甲府市北口2丁目6-10	4月17日	16	1	17
3	広島修道大学	広島市安佐南区大塚東1-1-1	4月28日	9	1	10
4	三原市立幸崎中学校	三原市幸崎能地3丁目16-1	5月2日	73	9	82
5	唐津市立鏡中学校	佐賀県唐津市鏡1136	5月9日	24	0	24
6	ノートルダム清心中学校	広島市西区古田台2丁目15-1	5月9日	31	0	31
7	岡山市立山南中学校	岡山県岡山市東区北幸田509-1	5月10日	27	0	27
8	矢掛町立矢掛中学校	岡山県小田郡矢掛町矢掛2957	5月10日	10	1	11
9	岡山県笠岡市立金浦中学校	岡山県笠岡市吉浜1830-2	5月11日	34	1	35
10	岡山県笠岡市立笠岡東中学校	岡山県笠岡市西大島新田15-3	5月11日	33	3	36
11	岡山市立福田中学校	岡山県岡山市南区山田544-3	5月11日	20	0	20
12	笠岡市立笠岡西中学校	岡山県笠岡市笠岡3797	5月11日	45	0	45
13	山口県防府市立小野小学校	山口県防府市大字奈美633-1	5月15日	14	0	14
14	岡山市立京山中学校	岡山県岡山市北区津島京町1丁目7-1	5月15日	21	0	21
15	豊岡市立小坂小学校	兵庫県豊岡市出石町鳥居31番地	5月17日	7	0	7
16	岡山県赤磐市立磐梨中学校	岡山県赤磐市沢原149番地	5月18日	10	0	10
17	ノートルダム清心中学校	広島市西区己斐東1丁目10-1	5月18日	37	0	37
18	ノートルダム清心中学校	広島市西区己斐東1丁目10-1	5月20日	47	0	47
19	岩国市立灘中学校	山口県岩国市藤生町2丁目25-1	5月23日	40	0	40
20	岩国市立麻里布中学校	山口県岩国市室の木町2丁目7-11	5月24日	60	0	60
21	岩国市立平田中学校	山口県岩国市平田6丁目10-33	5月24日	21	0	21
22	岩国市立川下中学校	山口県岩国市中津町2丁目22番25号	5月24日	101	0	101
23	愛知教育大学附属名古屋中学校	愛知県名古屋市中区大幸南1-126	5月24日	3	1	4
24	岩国市立川下中学校	山口県岩国市中津町2丁目22-25	5月24日	101	0	101
25	広島市立亀山南小学校	広島市安佐北区亀山南3丁目28-2	5月25日	87	4	91
26	広島歯科技術専門学校	廿日市市佐方本町1-1	5月25日	42	3	45
27	岩国市立岩国中学校	山口県岩国市錦見2丁目5-80	5月25日	103	0	103
28	岩国市立由宇中学校	山口県岩国市由宇町北5丁目2-1	5月25日	5	1	6
29	尾道市立大学	尾道市久山田町1600	5月26日	20	2	22
30	ノートルダム清心中学校	広島市西区己斐東1丁目10-1	5月28日	30	0	30
31	ノートルダム清心中学校	広島市西区己斐東1丁目10-1	5月29日	103	0	103
32	山口県平生町立平生中学校	山口県熊毛郡平生町曾根1844	5月30日	23	0	23
33	広島市立幟町小学校	広島市中区幟町3-10	5月31日	67	3	70
34	尾道市立大学	尾道市久山田町1600	6月2日	45	1	46
35	ノートルダム清心中学校	広島市西区己斐東1丁目10-1	6月2日	26	0	26
36	広島舟入商業高等専修学校	広島市中区舟入中町8-23	6月15日	23	0	23
37	広島特別支援学校	広島市安佐北区倉掛2丁目47-1	7月4日	11	13	24
38	広島県立広島井口高等学校	広島市西区井口明神2-11-1	7月19日	42	2	44
39	広島市立中広中学校	広島市西区中広町3丁目1-41	7月30日	9	1	10
40	岩国市立岩国中学校	山口県岩国市錦見2-5-80	7月27日	22	2	24
41	廿日市市立七尾中学校	広島県廿日市市平良2丁目2-34	8月5日	24	1	25
42	島根県邑智町立石見中学校	島根県邑智郡邑南町中野2645	8月8日	13	1	14
43	岩国市立平田中学校	山口県岩国市平田6丁目10-33	8月28日	14	1	15
44	洲本市立洲本第二小学校	兵庫県洲本市山手2丁目1-51	9月13日	14	2	16
45	奥出雲町立馬木小学校	島根県仁多郡奥出雲町大馬木1857-1	9月27日	8	1	9
46	広島女学院中学高等学校	広島市中区上幟町11-32	9月4日	46	2	48
47	広島女学院中学高等学校	広島市中区上幟町11-32	9月4日	46	2	48
48	広島女学院中学高等学校	広島市中区上幟町11-32	9月7日	47	2	49
49	広島女学院中学高等学校	広島市中区上幟町11-32	9月7日	47	2	49
50	広島女学院中学高等学校	広島市中区上幟町11-32	9月10日	47	2	49
51	北広島町立大朝中学校	広島県山県郡北広島町大朝4683番地1	9月16日	5	1	6

No.	学校名	住所	利用年月日	生徒	引率	計
52	広島市立鞆町小学校	広島市中区上鞆町3-30	9月20日	7	2	9
53	三次市立作木中学校	三次市作木町下作木739-1	9月21日	22	6	28
54	星槎国際高等学校広島学習センター	広島市中区河原町2-11	9月12日	33	0	33
55	安田女子高等学校	広島市中区白島北町1-41	9月26日	41	0	41
56	安芸太田町立上殿・簡賀小学校	山県郡安芸太田町上殿769	9月28日	14	5	19
57	邑南町立阿須那小学校	島根県邑智郡邑南町阿須那108-1	10月9日	14	3	17
58	安芸高田市立来原小学校	安芸高田市高宮町原田3375	10月12日	30	4	34
59	広島大学附属中学校	広島市南区翠1-1-1	10月12日	42	4	46
60	広島市立川内小学校	広島市安佐南区川内5丁目40-1	10月23日	174	6	180
61	比治山女子高等学校	広島市南区西霞町5-16	11月6日	22	1	23
62	比治山女子高等学校	広島市南区西霞町5-16	11月8日	22	1	23
63	比治山女子高等学校	広島市南区西霞町5-16	11月8日	22	1	23
64	広島女学院高等学校	広島市中区上鞆町11-32	11月9日	45	3	48
65	府中市立第一中学校	府中市用土町463番地	11月10日	11	1	12
66	広島県高等学校美術連盟	広島市安芸高田市吉田町吉田719-3	11月12日	32	0	32
67	呉市立川尻中学校	呉市川尻町西1丁目23-47	11月13日	30	0	30
68	呉市立白岳中学校	呉市広駅前2丁目11-1	11月13日	21	0	21
69	比治山女子高等学校	広島市南区西霞町5-16	11月14日	22	1	23
70	安田女子中学校	広島市中区白島北町1-41	11月14日	47	2	49
71	加古川市立加古川中学校	兵庫県加古川市加古川町備後203番地	11月14日	63	0	63
72	安芸太田町立簡賀中学校	広島県山県郡安芸太田町上簡賀172	11月16日	7	2	9
73	広島市立鞆町小学校	広島市中区鞆町3-10	11月19日	71	5	76
74	三次市立布野中学校	広島県三次市布野町上布野1895番地1	11月20日	12	3	15
75	倉敷市立東陽中学校	倉敷市高須賀315番地	11月22日	30	1	31
76	守山市立守山小学校	滋賀県守山市勝部1丁目13番1号	12月1日	36	2	38
77	広島市立矢野南小学校	広島市安芸区矢野南4丁目17-1	12月4日	149	7	156
78	広島市立可部小学校	広島市安佐北区可部4丁目9-1	12月4日	106	4	110
79	広島市立真亀小学校	広島市安佐北区真亀5丁目28-1	12月4日	79	5	84
80	広島市立石内小学校	広島市佐伯区五日市町大字石内3276	12月5日	73	3	76
81	広島市立落合小学校	広島市安佐北区落合南2丁目13-1	12月5日	87	3	90
82	広島市立深川小学校	広島市安佐北区深川5丁目12-1	12月5日	87	3	90
83	ノートルダム清心中学校	広島市西区己斐東1丁目10-1	12月12日	42	0	42
84	ノートルダム清心中学校	広島市西区己斐東1丁目10-1	12月13日	33	0	33
85	呉市立昭和中学校	呉市焼山中央6丁目9-1	12月14日	22	2	24
86	広島市立安西小学校	広島市安佐南区高取南2丁目18-1	12月17日	83	3	86
87	ノートルダム清心中学校	広島市西区己斐東1丁目10-1	12月18日	23	0	23
88	ノートルダム清心中学校	広島市西区己斐東1丁目10-1	12月21日	43	0	43
89	ノートルダム清心中学校	広島市西区己斐東1丁目10-1	平成25年1月4日	25	0	25
90	ノートルダム清心中学校	広島市西区己斐東1丁目10-1	1月5日	25	0	25
91	中川学園広島総合教育専門学校	広島市東区愛宕町3-14	1月11日	26	1	27
92	広島市立袋町小学校	広島市中区袋町6-36	1月11日	45	2	47
93	江田島市立高田小学校	広島県江田島市能美町高田3355	1月23日	8	2	10
94	廿日市市立大野中学校	廿日市市大野原4丁目2-60	1月29日	69	1	70
95	廿日市市立大野中学校	廿日市市大野原4丁目2-61	2月16日	8	1	9
96	広島市立白島小学校	広島市中区西白島町26-3	2月28日	58	3	61
97	広島市立安西小学校	広島市安佐南区高取南2丁目18-1	3月4日	62	4	66
98	広島市立白島小学校	広島市中区西白島町26-3	3月5日	67	4	71
99	広島市立矢賀小学校	広島市東区矢賀2丁目10-67	3月6日	58	3	61
100	小井手ファッションビューティー専門学校	広島市南区金屋町1-20	3月7日	72	6	78
101	広島市立船越小学校	広島市安芸区船越5丁目22-11	3月13日	94	4	98
102	呉市立両城中学校	呉市両城2丁目22-15	3月14日	11	1	12
計				4,136	185	4,321

8 県民ギャラリー利用状況

平成24年4月2日から平成25年4月1日まで

利用団体数		延べ開催日数	入場者数
入場有料の場合	10団体	60日	48,106人
入場無料の場合	78団体	468日	85,867人
計	88団体	528日	133,973人

平成24年度県民ギャラリー利用団体一覧表

番号	展覧会名	会期	展示室	内容	入場料金	入場者数
1	第35回記念 グループ「集」展	4/2～4/9	1 2	絵画	39点 無料	963
2	王海濱書画展	4/2～4/9	3	絵画、書、その他（つり立、屏風）	77点 無料	662
3	第52回 新制作広島グループ展	4/2～4/9	4 5	絵画、彫塑	53点 無料	1,061
4	第17回 墨林会水墨画展	4/9～4/16	1	絵画	45点 無料	451
5	公募・第33回 関西綜美会展	4/9～4/16	2 3 4 5	絵画、彫塑、工芸、写真	135点 無料	1,389
6	第43回 広島県日本画展	4/16～4/23	1 2 3	絵画	70点 無料	1,384
7	第46回 みのん展	4/16～4/23	4	絵画	87点 無料	661
8	第9回 むいち会展	4/16～4/23	5	絵画	68点 無料	762
9	第75回 自由美術巡回展	4/23～4/30	1 2 3 4 5	絵画	109点 無料	608
10	第65回 日本アンデパンダン広島展	4/30～5/7	1 2 3 4	絵画、彫塑、工芸、書、写真、 その他（インスタレーション）	239点 無料	1,568
11	シボリコミュニティ広島 第15回作品展	4/30～5/7	5	工芸、その他（手ぬぐい）	109点 無料	520
12	第54回 新協展	5/7～5/14	1 2 3 4 5	絵画、工芸	249点 一般 600円 高大生 500円 中学生以下無料	3,258
13	Petals IX	5/14～5/21	1	絵画	26点 無料	422
14	鎌倉彫展 －鎌倉彫教授会50周年記念－	5/14～5/21	2 3	工芸	217点 無料	2,359
15	現水春季広島巡回展	5/14～5/21	4 5	絵画	103点 無料	1,327
16	第15回 グループ宙遊展	5/21～5/28	1	絵画	40点 無料	911
17	武蔵野美術大学校友会広島支部 第41回MUSABI展	5/21～5/28	2	絵画、彫塑、写真、その他 (金属造形、インクジェットプリント)	25点 無料	987
18	「わがふるさと地域の絆」写真展	5/21～5/28	3	写真	100点 無料	2,091
19	第47回 広島県写真連盟展	5/21～5/28	4 5	写真	303点 無料	1,953
20	第60回 光陽展広島展	5/28～6/4	1 2 3 4 5	絵画	117点 一般・大学生500円 高校生以下無料	1,850
21	第55回 日本伝統工芸中国支部展	6/4～6/11	1 2 3	工芸	159点 無料	1,285
22	第47回 グループいしがき展	6/4～6/11	4 5	絵画	77点 無料	821
23	第98回 光風会展	6/11～6/18	1 2 3 4 5	絵画、工芸	178点 一般 600円 高大生 500円 中学生以下無料	8,404
24	第30回 ARGグループ絵画展	6/18～6/25	1	絵画	42点 無料	1,018
25	第15回 広島県伝統工芸能面展	6/18～6/25	2	工芸	82点 無料	735
26	第51回 大調和会広島巡回展	6/18～6/25	3 4 5	絵画	92点 無料	2,023
27	第52回 日本版画会展(広島会場)	7/23～7/30	1 2 3	絵画	145点 無料	1,593
28	フォトサークル・シャドウ 25周年記念写真展	7/23～7/30	4	写真	48点 無料	631

番号	展 覧 会 名	会 期	展 示 室	内 容	入 場 料 金	入場者数
29	第24回 滴展	7/23~7/30	5	絵画 47点	無料	859
30	第78回 東光展	7/30~8/6	1 2 3 4 5	絵画 170点	一般 600円 高大生 500円 中学生以下無料	4,567
31	第15回 広島墨彩画展	8/6~8/13	1 2 3 4	絵画 155点	無料	1,213
32	2012 黄人展	8/6~8/13	5	絵画、彫塑、工芸 28点	無料	560
33	第26回 日洋展広島会場	8/13~8/20	1 2 3 4 5	絵画 153点	一般 600円 大学生以下無料	3,503
34	第20回 ROSÉ野ばら会作品展	8/20~8/27	1 2	絵画 80点	無料	886
35	第41回 合同美術展	8/20~8/27	3 4	絵画、工芸、書、写真、 その他（水墨画、つまみ絵） 141点	無料	812
36	第88回 北翔展	8/20~8/27	5	絵画 25点	無料	708
37	第64回 毎日書道展中国展	8/27~9/3	1 2 3 4 5	書 930点	一般 800円 大学生 500円 高校生以下無料	4,979
38	第55回 広島県児童画連盟展	9/3~9/10	1	絵画、彫塑、工芸、その他（工作） 367点	無料	732
39	第21回 波の会展	9/3~9/10	2 3 4 5	絵画 184点	無料	1,443
40	第31回 互の会日本画展	9/10~9/17	1 2	絵画 80点	無料	1,013
41	第6回 新展広島公募展	9/10~9/17	3	絵画、彫塑、工芸、写真 43点	無料	618
42	第40回 広島彫刻会展	9/10~9/17	4	彫塑 23点	無料	435
43	第28回 社団法人新興美術院広島支部展	9/10~9/17	5	絵画 23点	無料	1,066
44	第16回 全陶展広島支部展	9/17~9/24	1	工芸 20点	無料	605
45	第16回 グループ「Z」水彩展	9/17~9/24	2	絵画 24点	無料	505
46	第8回 墨韻会展	9/17~9/24	3 4	絵画、書 77点	無料	769
47	日本の風景展	9/17~9/24	5	絵画 40点	無料	1,255
48	第38回 ヒロシマ・ラボ・クラブ写真展	9/24~10/1	1	写真 51点	無料	620
49	第48回広島形象派展	9/24~10/1	2	絵画 43点	無料	594
50	第24回 クロッキー同好会作品展	9/24~10/1	3	絵画 40点	無料	602
51	第58回 広島職場美術展	9/24~10/1	4 5	絵画、書、写真、 その他（染織、はり絵、CG） 162点	無料	948
52	第25回 広島日展会展	10/1~10/8	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、工芸、書 147点	一般 400円 高大生 300円 中学生以下無料	4,649
53	第4回 広島国展<絵画・工芸>	10/8~10/15	1 2 3	絵画、工芸 80点	無料	1,046
54	広島YMCA学園2012生徒作品展 「芸大美術受験科」「美術教室」	10/8~10/15	4 5	絵画、写真、その他（立体） 525点	無料	918
55	第23回 風の会写真展「四季讃歌」	10/15~10/22	1	写真 58点	無料	1,100
56	第34回 二科会写真部広島支部公募展	10/15~10/22	2 3 4 5	写真 460点	無料	2,464
57	第59回 チャーテル会広島絵画展	10/22~10/29	1	絵画 34点	無料	383
58	第4回 臨床美術との出会い作品展	10/22~10/29	2	絵画、彫塑 750点	無料	372
59	第12回「彩び」展 COLLECT 女子美術大学短期大学部GP 障がい理解とアートフィールド 参画への取組 収集作品展	10/22~10/29	3 4	絵画、工芸、その他（本、立体） 99点	無料	703
60	第56回 三師会展	10/22~10/29	5	絵画 70点	無料	610
61	第29回 産経国際書展瀬戸内展	10/29~11/5	1 2 3 4 5	書 350点	無料	1,014
62	第36回 広島県高等学校総合文化祭 第44回 広島県高等学校美術・工芸展	11/5~11/12	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、工芸、 その他（デザイン） 519点	無料	1,496
63	第36回 広島県高等学校総合文化祭 第44回 広島県高等学校書道展	11/12~11/19	1 2 3 4	書 359点	無料	885

番号	展 覧 会 名	会 期	展 示 室	内 容	入 場 料 金	入場者数
64	第36回 広島県高等学校総合文化祭 第44回 広島県高等学校写真展	11/12~11/19	5	写真 332点	無料	656
65	岩井壽照個展	11/19~11/26	1 2	絵画 80点	無料	412
66	京都造形芸術大学通信教育部 広島学習会 第8回歩展	11/19~11/26	3	絵画、その他(陶芸) 44点	無料	550
67	第12回 凜の会展	11/19~11/26	4	絵画 20点	無料	653
68	第9回 フォルマーレ展	11/19~11/26	5	絵画 58点	無料	552
69	第76回 新制作絵画展	11/26~12/3	1 2 3 4 5	絵画 98点	一般 600円 大学生以下無料	4,182
70	第43回 元陽展広島会場	12/3~12/10	1 2 3 4	絵画 95点	無料	2,999
71	第12回 森の会展 安森絵画研究グループ (広島森の会・竹原森の会合同展)	12/3~12/10	5	絵画 95点	無料	650
72	第65回 広島県児童生徒書道展	12/10~12/17	1 2 3 4 5	書 3,500点	無料	6,748
73	第97回 二科展 (第57回広島巡回展)	1/7~1/14	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、写真、その他 562点	一般 600円 高大 400円 中学生以下無料	7,570
74	比治山大学短期大学部美術科 第45回卒業制作展 第11回修了制作展	1/14~1/21	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、工芸、その他 (マンガ、アニメーション、デザイン) 155点	無料	726
75	あいサポートアート展	1/21~1/28	1 2 3 4 5	絵画、書、その他 324点	無料	1,466
76	第21回 広島県シルバー作品展	1/28~2/4	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、工芸、書、写真 331点	無料	2,325
77	第66回二紀展 第42回広島巡回展	2/4~2/11	1 2 3 4 5	絵画、彫塑 125点	一般 600円 高大 500円 中学生以下無料	5,144
78	第44回 安田女子大学書道文化専攻卒業制作展 併催 安田女子大学書道文化専攻展 安田学園小・中・高等学校 併設展	2/11~2/18	1 2 3 4 5	書 148点	無料	1,134
79	平成24年度 広島県立熊野高等学校 芸術類型美術・書道コース卒業作品展	2/18~2/25	1 2	絵画、彫塑、工芸、書 104点	無料	1,350
80	第47回 日本光画会写真展《光展》	2/18~2/25	3 4 5	写真 330点	無料	732
81	第61回 書の友全国書道展覧会	2/25~3/4	1 2 3 4 5	書 3,830点	無料	2,718
82	第51回 広島大学大学院教育学研究科 造形芸術教育学専修教育学部 造形芸術系 コース修了・卒業制作展/論文発表会	3/4~3/11	1 2 3	絵画、彫塑、工芸、 その他(デザイン、パネル、論文) 65点	無料	786
83	第31回 彩友会展	3/4~3/11	4 5	絵画 77点	無料	683
84	ひろしま美術研究所・ 広島芸術専門学校 合同作品展	3/11~3/18	1 2 3	絵画、彫塑、工芸、 その他(パソコン、立体) 396点	無料	751
85	穴吹デザイン専門学校 卒業・修了制作展2013	3/11~3/18	4 5	その他(デザイン、漫画、 イラスト、ビューティー) 224点	無料	601
86	JPA展 第23回日本写真作家協会会員展 第10回日本写真作家協会公募展	3/18~3/25	1 2 3 4 5	写真 412点	無料	1,839
87	第33回 路展	3/25~4/1	1 2	絵画 50点	無料	952
88	2013 全日本写真連盟広島県本部展 第29回 日本の自然写真コンテスト 第16回 朝日写真サロン中国 第13回 広島県本部展	3/25~4/1	3 4 5	写真 357点	無料	1,165

9 友の会事業報告

「すぐれた美術作品に接し、それを鑑賞する楽しさを分かち合いながら自分自身を高めてゆく」ことを目的に昭和47年1月21日に発足した。平成3年から平成8年までの新館工事中は会自体が休止状態にあったが、リニューアルオープンを機に友の会もボランティアで運営する新しい組織となり、会員相互の親睦と、美術館の事業にも協力・支援することを目的として平成9年4月1日付で再出発した。

会員数907人（個人614人 家族277人 学生3人 賛助12人 特別賛助1人）

1. 会報の発行

発行 59号、60号、61号、62号 配布先 会員、美術館関係他

2. 美術情報の発行及び催し物の案内

美術情報 90号、91号、92号

3. 広島県立美術館所蔵作品展のボランティアによるギャラリーガイド

- ・ 定時 火曜日～金曜日は毎日 14時から実施
土曜日、日曜日、祝日 11時及び14時から実施
特別展開催中は、月曜日も14時から実施
- ・ 臨時 団体申し込み及び美術館の要請により随時実施

4. ボランティア・ギャラリーガイド研修会(美術館と共催)

◆所蔵作品展研修（展示替えの時期）

◇平成24年 6／2、9／1、12／1 平成25年 3／16

◆ギャラリーガイド研修

◇平成24年6月30日(土)「自作『太田川』『残照』について」

講師：宮川 啓五（日本画家）

◇平成25年1月19日(土)「小笠原忠弘『例えば扉（A）』について」

講師：小笠原 恵美子（小笠原忠弘夫人）

5. 日本伝統工芸出張授業の支援

平成24年 11／6(火)	菅坂 安子一七宝	庄原市立川北小学校
11／14(水)	山根 宏造一陶芸	広島市立広瀬小学校
11／22(木)	松岡 裕治一木工	安芸高田可愛小学校
11／30(金)	小原よう子一陶芸	廿日市市立阿品台東小学校
平成25年 2／12(火)	田代 昭夫一漆芸	三原市立須波小学校
2／18(土)	小林 利幸一木工	広島市立美鈴が丘小学校

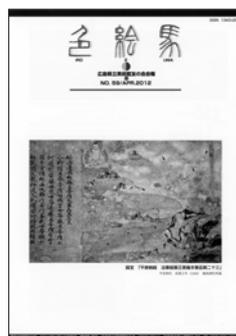
6. 美術館ボランティア

◆第1回広島県ジュニア美術展のサポート

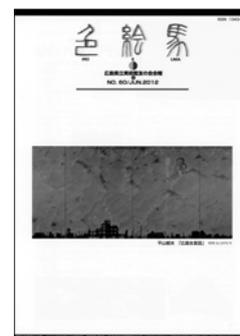
会期：平成24年12月19日(水)～12月25日(火)

◆第59回日本伝統工芸展の小学生団体鑑賞

平成25年3月4日、5日、6日、13日



『色絵馬』No.59



『色絵馬』No.60



『色絵馬』No.61



『色絵馬』No.62

7. 講演会（美術館と共催）

- ◆平成24年4月22日(日)「平清盛展」関連
演題：「清盛がめざしたもの」
講師：高橋昌明（神戸大学名誉教授）
- ◆平成24年7月29日(日)「絵本ミュージアム展」関連
演題：『『おしいれのぼうけん』誕生のひみつ』
講師：田畑精一（絵本作家）、酒井京子（童心社会長）
- ◆平成24年10月6日(土)「ヴェネツィア展」関連
演題：「ヴェネツィア—水の都と芸術—」
講師：京谷啓徳（九州大学大学院准教授）
- ◆平成24年12月2日(日)
演題：「<アトリエの芸術>から<戸外の芸術>へ」
講師：小針由紀隆（静岡県立美術館学芸部長）
- ◆平成24年12月4日(火)「浮世絵の美展」関連
演題：「平木コレクションについて」
講師：佐藤光信（平木浮世絵美術館館長）
- ◆平成25年1月27日(日)「船田玉樹展」関連
演題：特別対談「船田玉樹について語る」
講師：山下裕二（明治学院大学教授）、船田奇岑（絵師・テルミニスト）
- ◆平成25年3月2日(土)「伝統工芸展」関連
演題：「伝統工芸の源泉と現代」
講師：金子賢治（茨城県陶芸美術館館長）

8. 「もっと知ろうシリーズ」（美術館と共催）

- ◆平成24年5月9日(水)
演題：「ヴェネツィアの海とマリアのヴェール」
講師：山下寿水（当館学芸員）
- ◆平成25年2月23日(土)
演題：「ここが家だ ベン・シャーンの第五福竜丸」
講師：アーサー・ビナード（詩人・翻訳家・エッセイスト）

9. 友の会オリジナル版画の頒布（70部以上の申し込みで実施）

版画作家：横山隆雄 申し込み数：85部

10. 美術鑑賞の旅

- ◆日帰り美術鑑賞旅行
 - ◇平山郁夫美術館「師の教えと平山郁夫」
呉市立美術館「ミロ展」
第1班 平成24年5月11日(金)
第2班 平成24年5月12日(土)
 - ◇島根県立石見美術館「巨匠たちの英国水彩画展」
ウッドワン美術館「コレクション対決」展 平成24年8月31日(金)



◇神戸市立小磯記念美術館「小磯良平の世界」展
神戸市立博物館「マウリッツハイツ美術館展」
平成24年11月1日(木)

◇九州国立博物館「ボストン美術館 日本美術の至宝」
平成25年1月20日(日)

◆宿泊美術鑑賞旅行

◇飛騨高山から木曽路へ名古屋を巡る3日間 2泊3日
飛騨高山美術館、東山魁夷 心の旅路館、メナード美術館、名古屋ボストン美術館等
平成24年10月1日(水)～10月3日(金)



IV 事業実施状況

事業名	事業内容	実施期間
展覧会開催事業 入館者数 298,479名		
所蔵作品展 入館者数 65,582名	広島県ゆかりの美術作品、日本とアジアの工芸作品、1920-30年代の美術作品をテーマとする当館の所蔵作品を展示し、県民の鑑賞に供した。	常時
入館者数 232,897名	県民に多様な美術作品の鑑賞機会を提供し本県の芸術文化の向上に資するため、特別展を開催した。	
NHK大河ドラマ50年 特別展 平清盛 入館者数 55,304名	NHK大河ドラマ「平清盛」にちなみ、世界遺産・厳島神社に伝わる多数の至宝をはじめ、平安時代末期をきた人々の肖像画、書跡、絵画のほか、平安末期の文化を象徴する美術・工芸品などにより平清盛が活躍した時代を紹介した。	平成24年4月21日 ～6月3日
広島県主催事業 第64回広島県美術展 入館者数 7,154名	県民の創作活動の奨励と鑑賞の機会を提供するための公募展を開催した。 応募総数1,253点 大賞 7点、優秀賞 12点、奨励賞 36点、入選数 480点	平成24年6月30日 ～7月15日
木を植えた男 フレデリック・バック展 入館者数 22,310名	「クラック!」「木を植えた男」で2度のアカデミー賞を受賞し、高畑勲監督や宮崎駿監督にも影響を与えたアニメーション作家フレデリック・バックの世界を原画と映像で紹介した。	平成24年7月14日 ～9月17日
おいでよ!絵本ミュージアム 絵本のまちにでかけよう! 入館者数 26,962名	良質な絵本や児童書などを普及してきた童心社の世界を千冊もの絵本と原画や再現空間など多彩な展示により紹介した。	平成24年7月24日 ～9月9日
ワクワク!ドキドキ! 夏休み子ども美術館 (入館者数 8,291名)	夏休み期間中に幼児・児童・生徒を対象に、子どもたちが美術館及び美術作品に親しみ、また興味を持てるよう作品鑑賞や創作活動等の機会を提供した。	平成24年8月1日 ～8月26日
世界遺産 ヴェネツィア展 入館者数 69,455名	強大な軍事力と交易による富を背景に「アドリア海の女王」と讃えられた水の都ヴェネツィア一千年の美の歴史を絵画や黄金時代の生活を彩った豪華な生活品などヴェネツィア市立美術館群からの出品作品により紹介した。	平成24年10月6日 ～11月25日
平木コレクション特別公開! 浮世絵の美 入館者数 18,270名	平木浮世絵美術館が所有する重要文化財・重要美術品のほか、関西・中国地方にゆかりの浮世絵などを展示し、江戸時代の浮世絵の代表作を紹介した。	平成24年12月4日 ～平成25年1月14日
永田萌 夢みるチカラ展 入館者数 11,238名	イラストレーター、絵本作家として活躍する永田萌のカラーインクやリキッドアクリルによる作品や友禅技法を取り入れた作品などを展示し、夢と色彩溢れる世界を紹介した。	平成24年12月5日 ～平成25年1月14日
広島県主催事業 第1回広島県ジュニア美術展 入館者数 2,700名	県内の児童・生徒達を対象に創作活動を奨励するとともに鑑賞の機会を提供し、次世代の美術力の向上を図ることを目的として公募展を開催した。	平成24年12月19日 ～12月25日
生誕100年 船田玉樹展 入館者数 10,316名	広島県出身作家である船田玉樹の生誕100年を記念し、「日本画」にとらわれない多彩な作品を展示し、近年再評価が高まる船田玉樹の全容を紹介した。	平成25年1月21日 ～2月20日
第59回日本伝統工芸展 入館者数 9,188名	わが国の優れた工芸技術を受け継いだ陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸作品を、人間国宝から新進気鋭の若手まで広島県内作家を含め日本を代表する作家の作品330点で紹介した。	平成25年2月27日 ～3月17日
学習支援事業	所蔵作品展、特別展等それぞれの事業に応じた学習の機会を提供することにより、県民の美術作品に対する関心を高め、理解を深めた。	
一般		
美術講演会 1,801名		
120名	「清盛がめざしたもの」 講師：高橋昌明（神戸大学名誉教授）	平成24年4月22日 (13:30～)
120名	「頼山陽が描いた『平清盛』」 講師：見延典子（小説家）	平成24年4月28日 (13:30～)
120名	「平成版・清盛の誕生」 講師：磯 智明（NHK大河ドラマ「平清盛」チーフ・プロデューサー）	平成24年5月4日 (13:30～)

事業名	事業内容	実施期間
128名	「厳島の祭礼と華ひらく文化」 講師：原田佳子（広島女学院大学名誉教授）	平成24年5月5日 (13：30～)
60名	「厳島御幸と内侍舞楽—都人の記録と在地の記録—」 講師：樹下文隆（県立広島大学教授）	平成24年5月12日 (13：30～)
152名	「聖地としての厳島神社と平清盛」 講師：松井輝昭（県立広島大学教授）	平成24年5月26日 (13：30～)
150名	「『おいしいれのぼうけん』誕生のひみつ」 講師：たばたせいいち（絵本作家） 酒井京子（童心社会長）	平成24年7月29日 (13：00～)
195名	「ヴェネツィア—水の都と芸術」 講師：京谷啓徳（九州大学大学院准教授）	平成24年10月6日 (14：00～)
177名	「ヴェネツィア美術の魅力」 講師：宮下規久朗（神戸大学大学院准教授）	平成24年10月13日 (14：00～)
112名	「水とともに生きる—ヴェネツィアのライフスタイルと現代アート」 講師：ジャンルーカ・サンヴィード（彫刻家）	平成24年11月11日 (14：00～)
100名	「平木コレクションについて」 講師：佐藤光信（平木浮世絵美術館館長）	平成24年12月4日 (13：30～)
190名	「夢見る力が育んだもの」 講師：永田 萌（イラストレーター・絵本作家）	平成24年12月9日 (13：30～)
97名	「浮世の形象—平木コレクションの名品をめぐって—」 講師：浅野秀剛（大和文華館館長）	平成25年1月5日 (13：30～)
80名	「伝統工芸の源泉と現代」 講師：金子賢治（茨城県陶芸美術館館長、多治見市美濃焼ミュージアム館長、第59回日本伝統工芸展鑑査・審査委員）	平成25年3月2日 (13：30～)
特別対談等		
290名		
80名	「永田萌の制作の秘密に迫る！」 出演者：永田 萌（イラストレーター・絵本作家） 越智裕二郎（当館館長）	平成25年1月6日 (11：00～)
210名	「船田玉樹について語る」 出演者：山下裕二（明治学院大学教授） 船田奇岑（絵師・テルミニスト）	平成25年1月27日 (13：30～)
ギャラリートーク	特別展等について、展示会場で作品に接しながら、分かりやすく作品解説をした。	
1,880名		
362名	平清盛展 当館主任学芸員 宮本真希子	平成24年4月27日 5月4日 5月11日 5月18日 5月28日 6月1日
442名	ヴェネツィア展 当館学芸員 山下 寿水	平成24年10月12日 10月19日 10月26日 11月2日 11月9日 11月16日 11月23日
182名	永田萌展	
32名	当館主任学芸員 福田 浩子	平成24年12月7日 12月21日 平成25年1月4日 1月11日

事業名	事業内容	実施期間
150名 (70名) (80名)	〔作家によるギャラリートーク〕 永田 萌 (イラストレーター・絵本作家)	平成24年12月5日 平成25年1月5日
134名	浮世絵展 当館主任学芸員 石川 哲子	平成24年12月14日 平成25年1月4日 1月11日
180名	船田玉樹展 当館主任学芸員 永井 明生	平成25年1月25日 2月1日 2月8日 2月15日
580名 (40名) (25名) (90名) (40名) (50名) (35名) (50名) (70名) (40名) (40名) (100名)	伝統工芸展 菅坂 安子 (七宝作家) 岡本 佳子 (金工作家) 金城一國斎 (漆芸作家) 金城一國斎 (漆芸作家) 小林 良巳 (陶芸作家) 小林 利幸 (木工作家) 井戸川 豊 (陶芸作家) 栗根 仁志 (七宝作家) 馬船 宏明 (漆芸作家) 福井 禎 (染織作家) 木村 芳郎 (陶芸作家)	平成25年3月1日 3月1日 3月2日 3月8日 3月3日 3月8日 3月9日 3月10日 3月15日 3月15日 3月16日
よくわかる解説つき美術鑑賞会 147名	特別展等について、鑑賞前に作品の見どころ等をわかりやすく解説した。	
87名	ヴェネツィア展 当館学芸員 山下 寿水	平成24年11月4日
60名	伝統工芸展 当館主任学芸員 宮本真希子	平成25年3月10日
美術講座	特別展等に関連したテーマのもと、学芸員を講師として開催した。	
50名	「＜浮世絵の美＞の魅力」 講師：当館主任学芸員 石川 哲子	平成24年12月22日 (13：30～)
95名	「孤高の画人生—船田玉樹」 当館主任学芸員 永井 明生	平成25年2月3日 (13：30～)
美術作品鑑賞教室C 2,003名	所蔵作品や特別展について、当館の館長及び学芸員を講師として公民館や生涯学習センターなどで、見どころをわかりやすく紹介した。	
(120名)	宇品公民館 (主任学芸員 石川哲子)	平成24年9月28日
(50名)	千代田中央公民館 (主任学芸員 宮本真希子)	10月6日
(55名)	県立広島大学 (館長 越智裕二郎)	10月12日
(11名)	藤の木公民館 (学芸員 山下寿水)	10月14日
(6名)	広島市福田公民館 (学芸員 山下寿水)	10月21日
(12名)	福山市山南公民館 (学芸員 山下寿水)	10月27日
(17名)	竹原市大井公民館 (主任学芸員 福田浩子)	10月29日
(29名)	広島市己斐公民館 (主任学芸員 福田浩子)	11月2日
(29名)	広島市己斐公民館 (学芸員 山下寿水)	11月2日
(24名)	広島市舟入公民館 (学芸員 山下寿水)	11月10日
(45名)	広島市立鈴が峰小学校 (館長 越智裕二郎)	11月13日
(12名)	福山市高島公民館 (館長 越智裕二郎)	11月16日
(42名)	蘭島閣美術館 (主任学芸員 永井明生)	11月16日
(80名)	尾道市立日比崎小学校 (学芸企画監(兼)学芸課長 松田 弘)	11月16日
(16名)	広島市利松公民館 (館長 越智裕二郎)	11月18日
(14名)	広島県歴史民俗資料館 (学芸員 山下寿水)	11月18日
(200名)	大林小学校 (学芸企画監(兼)学芸課長 松田 弘)	11月21日

事業名	事業内容	実施期間
(20名)	府中市南公民館集会室（主任学芸員 藤崎 綾）	11月22日
(12名)	福山市山南公民館（主任学芸員 福田浩子）	11月22日
(10名)	藤の木公民館（主任学芸員 福田浩子）	11月24日
(130名)	テレビ新広島スタジオ（主任学芸員 石川哲子）	11月27日
(70名)	吉捨小学校（学芸企画監(兼)学芸課長 松田 弘）	11月29日
(31名)	北広島町立豊平南小学校（主任学芸員 宮本真希子）	12月 4日
(25名)	北広島町図書館（館長 越智裕二郎）	12月 8日
(17名)	広島市福田公民館（主任学芸員 石川哲子）	12月17日
(20名)	ひろしま国際ホテル（主任学芸員 永井明生）	12月17日
(60名)	廿日市市立四季が丘小学校（主任学芸員 宮本真希子）	12月18日
(16名)	福山市伊勢丘公民館（主任学芸員 石川哲子）	12月19日
(32名)	廿日市市立原小学校（主任学芸員 石川哲子）	平成25年1月 9日
(17名)	福山市幕山公民館（主任学芸員 石川哲子）	1月10日
(40名)	笠岡市立竹喬美術館（主任学芸員 永井明生）	1月13日
(39名)	尾道市立因北中学校（主任学芸員 福田浩子）	1月22日
(80名)	廿日市市立四季が丘小学校（学芸企画監(兼)学芸課長 松田 弘）	1月23日
(52名)	府中市南公民館（館長 越智裕二郎）	1月24日
(45名)	廿日市市立阿品台東小学校（主任学芸員 福田浩子）	2月 5日
(13名)	尾道市立原田小学校（学芸員 山下寿水）	2月 5日
(111名)	呉市立音戸小学校（主任学芸員 宮本真希子）	2月 8日
(49名)	広島県立広島北特別支援学校（主任学芸員 福田浩子）	2月12日
(25名)	皆賀公民館（主任学芸員 永井明生）	2月14日
(160名)	呉市立白岳小学校（学芸企画監(兼)学芸課長 松田 弘）	2月15日
(50名)	広島県立図書館（館長 越智裕二郎）	2月16日
(16名)	安東公民館（館長 越智裕二郎）	2月20日
(20名)	広島市矢野公民館（主任学芸員 福田浩子）	2月20日
(16名)	広島市美鈴が丘公民館（館長 越智裕二郎）	2月21日
(15名)	広島市利松公民館（主任学芸員 宮本真希子）	2月21日
(35名)	広島市佐東公民館（学芸企画監(兼)学芸課長 松田 弘）	2月23日
(15名)	広島市皆賀公民館（主任学芸員 宮本真希子）	3月 7日
ワークショップ	所蔵作品展及び開催中の特別展に関連したワークショップを開催した。	
7,880名		
48名	フレデリック・バック展	
7,000名	「トーテムボール・ワークショップ」	平成24年7月14日 ～9月17日
48名	「色鉛筆でバックさんに挑戦」	平成24年7月21日
(24名)	講師：加藤宇章氏（造形作家／アトリエばお代表）	(10：30～)
(24名)		(13：30～)
33名	ヴェネツィア展	平成24年11月 3日
(8名)	「ヴェネツィアのガラス細工ーミルフィオリで七宝アクセサリーをつくろう！」	(11：00～)
(12名)	講師：林 裕子（ガラスの里指導員）	(13：30～)
(13名)		(15：00～)
715名	永田萌展	平成24年12月 5日
	「あなたも妖精になってみませんか（セルフ撮影会）」	～平成25年1月14日
54名	広島県ジュニア美術展	
(22名)	「お手玉サンタを作ろう」	平成24年12月24日
(32名)	「松ぼっくりツリーを作ろう」	平成24年12月24日
30名	船田玉樹展	
(15名)	「玉樹に倣う 扇面に描こう！水墨編」	平成25年2月 2日
	講師：森山知己（日本画家）	(13：30～)
(15名)	「玉樹に倣う 扇面に描こう！色彩編」	平成25年2月17日
	講師：王培（日本画家）、山浦めぐみ（日本画家）、豊嶋浩子（日本画家）	(13：30～)

事業名	事業内容	実施期間
各種イベント	開催中の特別展にちなんだイベントを開催した。	
4,196名		
1,754名	平清盛展	
87名	平家琵琶鑑賞会① 演奏者：鈴木まどか（前田流平家詩曲相伝）	平成24年4月29日
250名	平家琵琶鑑賞会② 演奏者：荒尾 努（平曲奏者）	平成24年5月27日
285名	雅楽演奏会 演奏者：進徳女子高等学校雅楽部	平成24年5月6日
122名 (55名) (67名)	舞楽鑑賞会 演奏者：雅良会	平成24年5月13日 (11:00~) (14:00~)
1,010名 (467名) (543名)	十二単着付けショー 講師：なごみ会	平成24年5月19日 5月20日
247名	フレデリックバック展	
42名	親子特別鑑賞会	平成24年8月4日
205名 (70名) (135名)	絵本読み語り 読み手：馬場のぶえ（広島テレビアナウンサー）	平成24年8月18日 (10:30~) (15:00~)
1,735名	絵本ミュージアム	
1,615名	絵本&紙芝居よみきかせ会	平成24年8月1日 8月5日 8月8日 8月12日 8月15日 8月19日 8月22日 8月26日 8月29日 9月8日 9月12日 9月15日
120名	とよたかずひこさんのよみきかせ会 読み手：とよたかずひこ（絵本作家）	平成24年8月5日
240名	永田萌展	
145名 (75名) (70名)	プロカメラマンによる妖精撮影会	平成24年12月8日 12月23日
20名	絵本の読み語り 読み手：村上美和（読み語りボランティア）	平成24年12月15日
75名	永田萌が読む、永田萌の絵本～永田萌からのプレゼント 読み手：永田 萌（イラストレーター・絵本作家）	平成24年12月24日
141名 (41名)	アートと私の美味しい時間 「ヴェネツィア・広島の芸術とワイン」 ヴェネツィア展鑑賞会 講師：当館学芸員 山下寿水	平成24年10月12日
(50名)	「ワインを創る・料理を創る・芸術体験を創る」 ヴェネツィア展鑑賞会 講師：当館学芸員 山下寿水	平成24年11月9日
(50名)	「船田玉樹の出身地・呉の日本酒、そして美味しい話」 船田玉樹展鑑賞会 講師：当館主任学芸員 永井明生	平成25年2月15日
79名	ウェブレポーター	

事業名		事業内容	実施期間
	(13名)	フレデリック・バック展	平成24年7月20日
	(13名)		8月17日
	(26名)	ヴェネツィア展	平成24年10月19日
	(10名)	永田萌展	平成24年12月7日
	(4名)	浮世絵の美展	平成24年12月14日
	(7名)	船田玉樹展	平成25年1月25日
	(6名)	伝統工芸展	平成25年3月1日
コンサート	5,412名	開催中の特別展に関連したコンサートや木管楽器や弦楽器などの演奏会を1階メインロビー等で開催することにより、来館者に美術鑑賞と一体となった憩いのひとときを提供した。	
	3,833名	ロビーコンサート	
	(70名)	演奏者：野村友輝、佐喜里穂、宮本真衣	平成24年4月21日
	(85名)	演奏者：木田景子	4月28日
	(95名)	演奏者：Milk Tea ☆	5月5日
	(65名)	演奏者：野村友輝、佐喜里穂	5月12日
	(110名)	演奏者：森岡奏山、立川淑恵、兵藤英子	5月19日
	(120名)	演奏者：ソン・ミンジョン、筒井まゆみ	5月26日
	(127名)	演奏者：笠井悦子、妹尾梨絵	6月2日
	(45名)	演奏者：広島文化学園大学	6月30日
	(75名)	演奏者：広島文化学園大学	7月7日
	(63名)	演奏者：小嶋了嗣、小嶋聡子	7月14日
	(38名)	演奏者：広島文化学園大学	7月21日
	(65名)	演奏者：エリザベト音楽大学	8月11日
	(105名)	演奏者：城本朝子、植木千恵、笠井悦子	8月18日
	(90名)	演奏者：エリザベト音楽大学	8月25日
	(92名)	演奏者：広島文化学園大学	9月1日
	(95名)	演奏者：エリザベト音楽大学	9月8日
	(105名)	演奏者：中矢九喜子、山田典子、山田絵美佳	9月15日
	(110名)	演奏者：エリザベト音大	10月6日
	(105名)	演奏者：広島文化学園大学	10月13日
	(115名)	演奏者：神田彩花、武田 健、山口水蛭、山本菜子、村田慶介	10月20日
	(110名)	演奏者：文化学園大学	10月27日
	(185名)	演奏者：石原有希子、奥村静香	11月3日
	(120名)	演奏者：上田愛彦、荒谷心理	11月10日
	(115名)	演奏者：上田愛彦、荒谷心理	11月17日
	(125名)	演奏者：上野真樹、吉野 妙	11月24日
	(70名)	演奏者：山田恵理子、折坂裕子、篠原恵美	12月8日
	(95名)	演奏者：加藤美枝、西山智子	12月15日
	(75名)	演奏者：井上紗椰子、三奈木浩平、山口由貴	12月22日
	(135名)	演奏者：福原一閑、岩村尚子	1月2日
	(160名)	演奏者：芦垣皋盟、芦垣育子、中村あゆみ、岡野志保	1月3日
	(85名)	演奏者：森岡奏山、尼子琴美、尼子結衣	1月5日
	(190名)	演奏者：石原有希子、奥野静香	1月12日
	(84名)	演奏者：三島良子	1月26日
	(72名)	演奏者：広島文化学園大学	2月2日
	(90名)	演奏者：城本朝子、笠井悦子、藤井康生、坂本晴則	2月16日
	(75名)	演奏者：森岡奏山、尼子琴美、尼子結衣	3月2日
	(75名)	演奏者：エリザベト音楽大学	3月9日
	(75名)	演奏者：福島 成、山縣由季	3月16日
	(122名)	演奏者：高口かれん、木田景子	3月30日
	420名	フレデリック・バック展 トーク&ピアノコンサート 出演者：西村由紀江（ピアニスト） 中島 清文（三鷹の森ジブリ美術館館長） 糸永 直美（広島テレビアナウンサー）	平成24年7月28日

事業名	事業内容	実施期間
580名	ヴェネツィア展 記念オペラコンサート「Viva Venezia!」 出演：柳 清美、藤田卓也、上杉智穂 協力：ひろしまオペラ・音楽推進委員会	平成24年10月7日
579名	船田玉樹展	
270名	記念コンサート「仏教讃歌のタベ」 出演：仏教讃歌混声合唱団コール・スガンディ	平成25年2月8日
309名 (143名) (166名)	記念コンサート 「船田玉樹にささぐ 実験を楽しむ心ー第1回広島電子音楽研究会」 出演：船田奇岑（絵師・テルミニスト）ほか	平成25年2月9日 2月10日
ハイビジョンブース	当館制作のハイビジョン番組（22番組）の視聴	常時
デジタルミュージアム	当館の案内や所蔵作品の検索、世界の美術館の情報などを検索	常時
美術館ホームページ運用	当館のホームページで、当館の情報を自由に検索 http://www1.hpam-unet.ocn.ne.jp/	常時
児童・生徒		
美術作品鑑賞学習キット 運用事業		
ネットワーク美術館展	県立美術館が所蔵する優れた芸術作品を地域の身近な美術館で鑑賞する機会を提供した。今年度は「船田玉樹展」と題し、蘭島閣美術館で開催した。	平成24年9月5日 ～11月19日
団体学習鑑賞会 (美術作品鑑賞教室B)	ネットワーク美術館展会場において、こどもガイドブックを活用しながら鑑賞会を開催した。	
50名 (30名) (20名)	呉市立白岳中学校 呉市立下蒲刈小学校	平成24年11月14日 平成24年11月16日
美術作品鑑賞教室A	当館の所蔵作品を学校へ持ち込み、学芸員が自ら解説を行うことにより、児童生徒が豊かな感性を育む機会を提供するとともに、学校連携を深めることに努めた。	
290名 (30名) (160名) (100名)	呉市立白岳中学校（2年生1クラス） 呉市立白岳小学校（5年生4クラス） 廿日市市立大野中学校（2年生3クラス）	平成24年11月14日 平成25年2月15日 平成25年3月13日
ワークショップ	所蔵作品展及び開催中の特別展に関連したワークショップを開催した。	
361名 42名 (27名) (15名)	県美コレクションを描いてみよう 春	平成24年5月19日 5月20日
33名 (28名) (5名)	県美コレクションを描いてみよう 秋	平成24年10月13日 10月14日
32名 (16名) (16名)	コレクションを描いてみよう 冬	平成25年1月26日 1月27日
222名	絵本ミュージアム	
19名	「とよたかずひさんと絵本をつくろう」 講師：とよたかずひこ（絵本作家）	平成24年8月5日
36名	紙芝居セミナー「演じてみよう、紙しばい はじめの一步！」 講師：中平順子（子ども文化研究者）	平成24年8月11日
52名 (27名) (25名)	「絵本のおびをデザインしよう！」 講師：土屋祐子（広島経済大学准教授） 井上洋平、秋田 竜（広島経済大学生）他	平成24年8月11日 8月18日
44名	「モンスターをデザインしよう！」 講師：新納優子、コミュニティネットひろしま	平成24年8月19日
71名	「わくわく 段ぼうるのミニハウス作り」 講師：上田さゆり、コミュニティネットひろしま	平成24年8月25日

事業名	事業内容	実施期間
32名	ヴェネツィア展 「あなただけの仮面（マスクラ）を作ろう！」 講師：戸川幸一郎（絵本絵画造形作家）	平成24年10月20日
ワクワク！ドキドキ！ 夏休み子ども美術館 1,089名		
62名 (29名) (33名)	「ペットボトルでランドヨットをつくろう」 講師：藤原逸樹（安田女子大学教授）	平成24年8月1日 (10：30～) (13：00～)
169名 (55名) (42名) (33名) (39名)	「ゾエトロープでアニメーションを作ろう！」 講師：久保直子（比治山大学短期大学部助教） 斉藤克幸（比治山大学短期大学部）	平成24年8月2日 (10：30～) (13：00～) 8月3日 (10：30～) (13：00～)
50名 (24名) (26名)	「分身を作ろう！」 講師：久保田貴美子（比治山大学短期大学部准教授）	平成24年8月6日 (10：00～) (13：30～)
63名 (31名) (32名)	「みんなで作ろう！大きな絵本」 講師：中村和世（広島大学教育学部准教授）、院生	平成24年8月7日 (10：00～) (13：00～)
93名 (46名) (47名)	「バタバタ人形を作ろう！」 講師：沼本秀昭（鈴峯女子短期大学准教授）	平成24年8月9日 (10：30～) (13：00～)
53名 (21名) (32名)	「まわる！メリーゴーランド絵本」 講師：中村和世（広島大学教育学部准教授）、院生	平成24年8月10日 (10：00～) (13：00～)
64名 (33名) (31名)	「繫げてパッチン、紙で作るカラフル帽子」 講師：池田吏志（広島大学教育学部講師）、広島大学教育学部図工ゼミ	平成24年8月11日 (10：00～) (13：30～)
65名 (34名) (31名)	「発砲スチロールで動物を作ろう！」 講師：丸橋光生（広島市立大学芸術学部実習補助員）	平成24年8月14日 (10：00～) (13：30～)
79名 (37名) (42名)	「どんぐりでマスコットを作ろう！」 講師：大塚 彰（県立広島大学保健福祉学部教授）	平成24年8月15日 (10：00～) (13：00～)
168名 (43名) (45名) (37名) (43名)	「美術館ってどんなところ？」 講師：当館主任学芸員 宮本真希子	平成24年8月16日 (10：30～) (13：30～) 8月21日 (10：30～) (13：30～)
29名	「コンテでかこう！自由にかくってどんなこと？」 講師：奥原球喜（広島文化学園短期大学教授）	平成24年8月17日 (13：30～)
136名 (52名) (84名)	「はさみでちよきちよき、切り紙の葉」 講師：児玉香織（線画アーティスト）	平成24年8月22日 (10：30～) (13：30～)
17名	「『風を感じよう』かざぐるまの製作」 講師：岩国短期大学幼児教育科 工作無限塾同好会	平成24年8月24日 (10：00～)
18名	「牛乳パックを使ったびっくりドッキリとび出すおばけの製作」 講師：岩国短期大学幼児教育科 工作無限塾同好会	平成24年8月24日 (13：00～)
23名	「みんなで作ろう！アルミアート」 講師：佐伯育郎（広島文教女子大学准教授）	平成24年8月26日 (13：30～)

事業名	事業内容	実施期間
親子ギャラリートーク 19名	子どもたちが保護者とともに美術作品に親しめるよう、主に小学5、6年生(特別支援学校の相当学年を含む。)を対象として、学芸員又は友の会ギャラリーガイドが所蔵作品展示をわかりやすく解説した。	毎月第4土曜日
ワークシートの作成	所蔵作品を鑑賞する児童・生徒に対し、学習補助教材として主要作品のワークシートを提供した。 (現在283種)	
日本伝統工芸展出張授業 226名	希望校に日本工芸会正会員等が出向いて授業を行うことで、児童の制作の現場に接する機会を提供し、伝統工芸への理解を促進した。	
(17名)	庄原市立川北小学校 講師：菅坂 安子(七宝)	平成24年11月6日
(39名)	広島市立広瀬小学校 講師：山根 宏造(陶芸)	11月14日
(20名)	安芸高田市立可愛小学校 講師：松岡 裕治(木工)	11月22日
(45名)	廿日市市立阿品台東小学校 講師：小原よう子(陶芸)	11月30日
(32名)	三原市立須波小学校 講師：田代 昭夫(漆芸)	平成25年2月12日
(73名)	廿日市市立阿品台東小学校 講師：小林 利幸(木工)	2月18日
手で見える展覧会	縮景園の「梅実収穫行事」に併せ、特別支援学校(視覚障害)の児童・生徒が作品に直接触れて美術を鑑賞する機会を提供した。	平成24年6月5日
各種リーフレット作成	施設案内、年間スケジュール等の美術館の活動について、広く県民へ告知した。	
美術館ネットワーク事業	県内に所在する美術館等が相互に連携を深めることにより、各施設の運営の充実と美術館活動の活性化を図った。 主な活動として、加盟館共同のパンフレットの作成、職員研修等を行った。	
アート・トライアングル	広島市内にある当館、ひろしま美術館、広島市現代美術館の3館の合同活動。共同事業を実施することにより、広報・集客効果の相乗効果を期する。	
三館共同パンフレット	3館の展覧会スケジュールを併せて掲載・提供することにより、県民の利便性を図った。	
友の会ギャラリーガイド	県立美術館友の会のボランティアのギャラリーガイドにより所蔵作品展の解説をした。	
(一般ガイド) 804名 (団体ガイド) 521名	火～金曜日の14:00から実施(土・日・祝日は11:00からも実施)	
展示施設等貸出	展示施設等(県民ギャラリー・講堂)を貸出することにより、生涯学習の発表の場及び機会を提供し、県民の創作活動を支援した。	
観覧者等 133,973名	県民ギャラリー 利用団体数 88団体、利用日数 延 528日 講堂(県民ギャラリー全室利用に併せ、展示室として利用)	平成24年4月2日 ～平成25年4月1日
利用者 5,454名	講堂 利用団体数 26団体、利用日数 47日	平成24年4月1日 ～平成25年3月31日

※展覧会開催事業の入館者数には、「ワクワク!ドキドキ!夏休み子ども美術館」の入館者数を除く。

IV 業務一覧

広島県立美術館学芸員が平成24年度に行なった業務を報告する。

内容は、1. 美術館内での業務等（館主体事業）、2. 美術館外での業務等（他からの招聘等）、3. 調査・研究活動、4. 社会貢献活動等、に分類・配列し、記載している。

学芸員の構成及び担当分野は次のとおり。

松田 弘（課長、西洋美術）	宮本真希子（主任学芸員、工芸）
福田 浩子（主任学芸員、工芸）	石川 哲子（主任学芸員、彫塑）
永井 明生（主任学芸員、日本画）	藤崎 綾（主任学芸員、日本洋画）
山下 寿水（学芸員、西洋美術）	

■ 松田 弘

1 美術館内での業務

【担当業務】

- ・学芸課の総括

【教育支援（教育普及）】

- ・博物館実習講義「美術館と学芸業務」

2 美術館外での業務

【講座・講演・シンポジウム等】

- ・広島大学講座「アートと哲学」
- ・広島市立大学講座「アートマネジメント」
- ・広島芸術学会シンポジウム「地域と展覧会の関係について『広島から広島』ドームが見つめ続けた街展の場合」

3 調査研究活動

- ・シャガール展図録「タピスリー《平和》のモチーフと世界観」執筆

4 社会貢献活動

【所属学会・外部委員等】

- ・財団法人地域創造企画委員
- ・広島芸術学会委員・監事
- ・財団法人五島記念文化財団「美術新人賞候補者推薦委員」
- ・「広島文化奨励賞」推薦委員（けんしん文化財団主催）

【公募展審査・作品評価】

- ・岩国市美術展審査員
- ・広島県建築文化賞選考委員

■ 宮本 真希子

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・特別展「大河ドラマ50年特別展 平清盛」（主担当）
- ・特別展「おいでよ！絵本ミュージアム 絵本のまちにでかけよう！」（主担当）
- ・特別展「第59回日本伝統工芸展」（主担当）
- ・特別展「世界遺産 ヴェネツィア展 魅惑の芸術一千年の都」（副担当）

【教育支援（教育普及）】

- ・「ワクワク！ドキドキ！夏休み子ども美術館」プログラム企画・実施（主担当）
- ・「大河ドラマ50年特別展 平清盛」ギャラリートーク（1日2回）：4/27、5/4、5/11、5/18、5/25、6/1
- ・「大河ドラマ50年特別展 平清盛」セルフガイド作成（A3判両面刷り）

- ・「大河ドラマ50年特別展 平清盛」レクチャー:JTBツアー(4/23、5/12)、ちゅーピー美術サロン(4/27)、広島修道大学広島学(4/28)、NHK文化センター福山(5/9、5/13)、愛媛県美術館友の会研修旅行(5/19、5/20)、小学校団体鑑賞(5/25、5/31)、広島市立大学知のトライアスロン(5/26)、ハワイ州訪問団(5/31)
- ・「ワクワク!ドキドキ!夏休み子ども美術館」ワークショップ:8/16(2回実施)
- ・「世界遺産ヴェネツィア展」ギャラリートーク(中国新聞購読者対象):11/8、11/10
- ・「第59回日本伝統工芸展」レクチャー:よくわかる解説付き鑑賞会(3/10)、子ども鑑賞コース6校(2/28、3/4、3/5、3/6、3/13)
- ・「第59回日本伝統工芸展」ガイドブック作成(B6判16ページ)

【広報活動】

- ・「大河ドラマ50年特別展 平清盛」寄稿:毎日新聞(5/8)、中国新聞(5/18)、広島市文化財団ホームページ
- ・「大河ドラマ50年特別展 平清盛」ラジオ出演:鹿児島MBCラジオ(4/19)、エフエムおのみち(4/24)、エフエムふくやま(5/8)、広島エフエム放送(5/16)、FM東広島(5/26)
- ・「大河ドラマ50年特別展 平清盛」テレビ出演:広島テレビ(4/28)、ふれあいチャンネル(5/14~27)、広島ケーブルテレビ(4/23~27)
- ・「大河ドラマ50年特別展 平清盛」当館ブログ投稿(作品解説):4/25、4/28、5/2、5/12、5/22、5/30、6/1
- ・「おいでよ!絵本ミュージアム 絵本のまちにでかけよう!」寄稿:広島県立美術館友の会報「色絵馬」7月号
- ・「おいでよ!絵本ミュージアム 絵本のまちにでかけよう!」ラジオ出演:FMふくやま(7/31)
- ・「おいでよ!絵本ミュージアム 絵本のまちにでかけよう!」当館メルマガ投稿(作品解説):9/1、9/3
- ・「ワクワク!ドキドキ!夏休み子ども美術館」ラジオ出演:エフエムふくやま(8/14)
- ・「ワクワク!ドキドキ!夏休み子ども美術館」当館ブログ投稿(活動報告):8/17、8/18、8/19、8/20、8/21、8/26、8/28
- ・「世界遺産ヴェネツィア展」RCCラジオ出演(10/29、10/31)
- ・「世界遺産ヴェネツィア展」寄稿(作品解説):中国新聞(10/31、11/1、11/2)
- ・「第59回日本伝統工芸展」寄稿(作品解説):朝日新聞(2/24、2/25、2/28、3/1、3/2、3/4、3/6、3/7、3/8、3/9、3/10、3/13、3/15)
- ・「第59回日本伝統工芸展」ラジオ出演:FM東広島(2/28)
- ・「第59回日本伝統工芸展」当館フェイスブック投稿(ギャラリートーク報告)

2 美術館外での業務等

【講座・講演・シンポジウム等】

- ・「大河ドラマ50年特別展 平清盛」県立広島大学連携講座:5/27

3 調査研究活動

【館外出版物への執筆】

- ・「平成21-22年度 広島市立大学特定研究 文化財学、保存修復に関する研究、教育プログラム導入に関する調査・研究」調査報告書

4 社会貢献活動

【所属学会、外部委員、審査員など】

- ・日本漆工史学会、全国美術館会議教育普及部会

■ 福田 浩子

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・所蔵作品展第1期「そうだ、旅に出よう。ー美術館で世界一周」(主担当)
- ・所蔵作品展第4期「新収蔵品を中心に 新収蔵品を中心に 宮永理吉の陶の世界、岩崎博氏染織コレクション~インド&インドネシア篇とインドの民族衣装」(主担当)
- ・「第64回広島県美術展」(主担当)
- ・「永田萌展 夢見るチカラ」(主担当)
- ・「生誕100年 船田玉樹展」(副担当)
- ・「第59回日本伝統工芸展」(副担当)

【教育支援（教育普及）】

- ・友の会ボランティアガイドレクチャー（12/15）
- ・手で見える鑑賞会（6/5）
- ・「永田萌展 夢見るチカラ」ギャラリートーク（12/7、12/21、1/4、1/11）
- ・出張講座「糸ってどうやってできるの？」10月29日竹原市立大井公民館
- ・出張講座「シルクロードの工芸と民族衣装」11月2日広島市己斐公民館
- ・出張講座「シルクロードのパラオを作って食べよう！」11月22日福山市山南公民館、11月24日広島市藤の木公民館、1月22日尾道市立因北中学校、2月5日廿日市市立阿品台東小学校、2月12日広島県立広島北特別支援学校、2月20日広島市矢野公民館
- ・大阪朝日カルチャー講座（2/24）

【研修・自己啓発】

- ・ワークショップ「所蔵作品情報の発信ー《文化遺産オンライン》による実践」開催報告（9/14）
- ・タイムマネジメント研修（11/14-15）

【広報活動】

- ・TSSスーパーニュース（4/18）旅に出よう
- ・ひろしまケーブルテレビ（8/1～）旅に出よう
- ・FMふくやま（7/4 県美展）（12/7 永田萌展）
- ・社団法人広島西法人会発行『西法人会会報』作品解説 1月号オランダ、インドネシア・ジャワ島採集《パトラ文布》
- ・FMはつかいち（12/3）永田萌展
- ・ブログ「清盛展レポート 宮島篇」（4/15）、「所蔵作品展展示替の現場から」（4/16）、「鎌倉彫展ー鎌倉彫教授会50周年記念ー5月20日まで」（5/17）、「第55回日本伝統工芸中国支部展ー6月10日（日）まで」（6/6）、「ワクワク！ドキドキ！夏休み子ども美術館会場からレポート(1)」（8/1）、「小さなこどもさんと来館される皆さまへーこども向け施設のご紹介」（8/11）、「【今夏限定！】広島県立美術館の記念撮影スポット紹介」（8/13）、「中央アジアの民族料理パラオの作り方（兼業務連絡）」（10/20）、「永田萌ー夢みるチカラ展 ポスター印刷中！」（10/23）、「出張講座「糸を作ってみよう！」から」（11/10）、「ご近所ニュース 「ウイグル展覧会 part 2ーシルクロードの月と花ー」明日～12月2日（日）開催」（11/26）、「出張講座「シルクロードの民族料理パラオを作って食べよう！」報告」（12/17）

2 美術館外での業務等

【講座・講演・シンポジウム等】

- ・文化服装学院広島校「中央アジアの民族服」講師（5/9）
- ・美術講座「ミヒラーブ絨毯の美」講師 神戸・白鶴美術館（11/3）

3 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・陶磁作品調査（9/21）
- ・染織作品調査（11/8、2/22）

【館内出版物への執筆】

- ・「広島県立美術館館蔵品データベースの構築について」（『広島県立美術館研究紀要』第16号）

【館外出版物への執筆】

- ・「トルクメン人の民族衣装・被衣チルピについて」（森部豊・橋寺知子編著『アジアにおける文化システムの展開と交流（アジアにおける経済・法・文化の展開と交流）』関西大学出版部 2012年4月）

4 社会貢献活動

【所属学会】

- ・日本中央アジア学会、漆工史学会、全国美術館会議情報・資料研究部会

■ 石川 哲子

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・所蔵作品展「新収蔵作品を中心に」
- ・特別展「平木コレクション特別公開！ 浮世絵の美」展

- ・特別展「ゴッホ展」(平成25年度開催)

【教育支援(教育普及)】

- ・美術講座
浮世絵の美展 美術講座「<浮世絵の美>の魅力」(12月22日)
- ・出張講座
「彫刻家 圓鏝勝三～広島市内の野外彫刻をめぐる旅」広島市宇品公民館(9月28日)
「浮世絵の美展」広島市福田公民館(12月17日)、福山市伊勢丘公民館(12月19日)、廿日市市立原小学校(1月9日)、福山市幕山公民館(1月10日)
- ・展覧会解説会
特別展「浮世絵の美展」:12/14(2回)、1/4、1/11
- ・出張授業
廿日市市立大野中学校(2年生3クラス)(3月13日)

【広報活動】

- ・「平木コレクション特別公開! 浮世絵の美展」
テレビ:テレビ新広島「満点ママ」12月13日、NHK広島「ひろもり」12月14日
ケーブルテレビ:ハイキャット ニュース 12月17日～23日
ラジオ:FM尾道「ユウガッタ・レディオ」12月4日、FMふくやま「GO!GO!びんご」12月6日
FMはつかいち「キラキラ☆アートBOX」12月28日
新聞・雑誌:「平木コレクション特別公開! 浮世絵の美展」『色絵馬(友の会会報)』No.61
「平木コレクション特別公開! 浮世絵の美」毎日新聞備後版「毎日美術館」12月20日
中国新聞 事業ガイド 12月21日
その他:社団法人広島西法人会発行『西法人会会報』9月号 圓鏝勝三《面》作品解説

2 美術館外での業務等

【講座・講演・シンポジウム等】

- TSS文化大学「平木コレクション特別公開! 浮世絵の美」展をめぐって」TSSスタジオ(11月27日)

3 調査研究活動

【館内出版物への執筆】

- 「新収蔵作品を中心に/彫刻家・峯田敏郎-新収蔵作品から」(第4期所蔵作品展目録)

【館外出版物への執筆】

- 「なぜ、いま「木彫」なのか?」(『月刊美術』2013年2月号 no.449「新しい木彫のかたち」)
- 「ゴッホ展-空白のパリを追う」カタログ 節解説翻訳

4 社会貢献活動

【所属学会、外部委員、審査員など】

- 美術史学会、美学会
広島県献血推進ポスター審査員

■ 永井 明生

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・所蔵作品展第2期「平山郁夫《広島生変図》を中心に」、第3期「広島県立美術館名品選1～各ジャンルの代表作を一堂に」「広島県立美術館名品選2～風景表現の系譜 静岡県立美術館のコレクションとともに」
- ・平成24年度ネットワーク美術館展「船田玉樹展」(主担当)
- ・特別展「生誕100年 船田玉樹展-異端にして正統、孤高の画人生-」(主担当)
- ・特別展「フレデリック・バック展 木を植えた男」(副担当)
- ・平成25年度文化庁助成 共同企画展「アート・アーチ・ひろしま2013」の開催準備(副担当)

【教育支援(普及活動)】

- ・岐阜県高山市立荘川中学校生徒実習対応:5/24
- ・所蔵作品展ボランティアガイドレクチャー:6/2、9/1、12/15
- ・ネットワーク美術館展ギャラリートーク(蘭島閣美術館):11/3(2回)
- ・美術作品鑑賞教室(呉市立白岳中学校):11/14

- ・ネットワーク美術館展呉市立下蒲刈小学校団体対応（蘭島閣美術館）：11/16
- ・「生誕100年 船田玉樹展ギャラリートーク」：H25. 1/25、2/1（2回）、2/8、2/15（2回）
- ・美術講座「孤高の画人生ー船田玉樹」：2/3
- ・パワーポイント教材の開発

【広報活動】

- ・「生誕100年 船田玉樹展」
新聞：中国新聞（12/20 社告、1/16 カラー特集、1/21（夕刊） 開幕、1/22 開幕、1/30・31 展覧会紹介（2回連載）、2/5 出品作家（丸木位里）関連、2/5～7 船田玉樹と郷里関連（3回連載）、2/8 事業ガイド、2/12 北川フラム氏寄稿）
朝日新聞（1/18、2/7（関西版・夕刊））
テレビ：RCCニュース 1/21 昼・夕 1/24 夕、NHKニュース 1/21 昼・夕・夜、NHK「ひろもり」2/15、TSSニュース 1/21 昼・夕
ラジオ：RCCラジオ「日々感謝」1/23、FM東広島 1/24、FMひろしま 2/1、FM尾道 2/5、FMふくやま 2/8
雑誌等：「リビングひろしま」1/26、「to you」1月号、「WINK」2月号、「くれえばん」2月号、「サライ」2月号、「経済春秋」2月号、「広島芸術学会会報」No.121、「Hiroshima EXsite」No.11
- ・広島県立美術館友の会会報『色絵馬』：表紙解説（平山郁夫《広島生変図》）、所蔵作品紹介（宮川啓五）
- ・中国化薬株式会社社内報『ふれあい』No.64：《厳島・鞍馬図》作品解説
- ・広島交響楽団定期演奏会：第321回パンフレット 児玉希望《大川端》作品解説、第323回パンフレット 奥田元宋《待月》作品解説
- ・広島県立美術館ホームページ・ブログ投稿：「生誕100年 船田玉樹展」関連（5/25、9/8、9/10、11/12、H25. 1/30、2/16）

2 美術館外での業務等

【講演会、シンポジウム等】

- ・広島県環境月間ポスター審査：5/7
- ・講演会「平家納経と厳島神社について」（笠岡市立竹喬美術館）：H25. 1/13

3 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

広島市内（船田玉樹作品調査 4/5、4/6）、呉市内、江田島市内、坂町内（船田玉樹作品調査 4/8）、広島市内（船田玉樹作品調査 4/12、4/13）、呉市内、江田島市内、広島市内（船田玉樹作品調査 4/25）、広島市内（船田玉樹・丸木位里等作品調査 4/27）、東京都内（船田玉樹作品調査 5/2）、呉市内（船田玉樹作品調査 5/19）、広島市内（浜崎左髪子作品調査 5/25）、千葉県内（船田玉樹作品調査 11/18）、呉市内（船田玉樹作品調査 H25. 1. 26）

【館内出版物への執筆】

- ・「船田玉樹の詩集ー資料紹介・自作詩集『庭』他五編『広島県立美術館研究紀要』第16号
- ・所蔵作品展目録：第2期「平山郁夫《広島生変図》を中心に」、第3期「広島県立美術館名品選1～各ジャンルの代表作を一室に」「広島県立美術館名品選2～風景表現の系譜 静岡県立美術館のコレクションとともに」

【館外出版物への執筆】

- ・「孤高の画人生ー船田玉樹」『独座の宴 船田玉樹画文集』（「生誕100年 船田玉樹展」公式図録兼書籍）

4 社会貢献活動等

【所属学会、外部委員等】

- ・広島芸術学会、大正イマジユリィ学会
- ・日経日本画大賞展推薦委員
- ・全国美術館会議教育普及部会
- ・広島県環境月間ポスター審査員

■ 藤崎 綾

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・特別展「木を植えた男 フレデリック・バック展」（主担当）

- ・特別展「夏目漱石の美術世界展」(主担当)
- ・所蔵作品展「広島ゆかり作家の新収蔵品を中心に」(主担当)

【教育支援(教育普及)】

- ・博物館実習(副担当)
- ・フレデリック・バック展解説会：7/25、7/31、8/4、9/4、9/7、9/10
- ・学校来館対応：9/7(呉市立天応中学校)、11/16(広島女学院中学校)、11/21(五日市中央小学校)、12/6(呉市立昭和東小学校)
- ・美術作品鑑賞教室・出張講座：11/22(府中市南公民館)
- ・友の会ギャラリーガイドレクチャー：12/15

【研修・自己啓発】

- ・鑑賞教材『広島県立美術館アート・トーク入門』(平成25年1月30日発行)開発協議参加

【広報活動】

- ・「小林和作《春の山》」『西法人会会報』5月号
- ・「所蔵品紹介 田中万吉」『色絵馬』59号(4月)
- ・フレデリック・バック展紹介『色絵馬』60号(7月)
- ・広島県立美術館ホームページ・ブログ投稿：6/10(入野忠芳・広島拘置所の壁画)、「フレデリック・バック展」関連(7/10、7/11、7/30、8/10、8/20、8/27、9/12、9/14)
- ・エフエムふくやま：7/18(フレデリック・バック展)
- ・「毎日美術館 温かい風合い 豊かな色彩 フレデリック・バック展」『毎日新聞』(備後版)(8/9)
- ・「学校との連携」「展覧会のできるまで」(職場紹介・県立美術館)『広島県職員.net』
- ・ふれあいチャンネル(ケーブルテレビ)「ア・ミュージアムレター」：(9/1~9/16)(フレデリック・バック展)
- ・広島エフエム：9/7(フレデリック・バック展)
- ・「必見!! 今年の展覧会BEST200」『美術の窓』353号(2013年2月)(夏目漱石展)

2 美術館外での業務等

- ・平成22年度~平成24年度科学研究費補助金(基盤研究(C))「教員養成・美術館・小中連携による批評力を育むグローバル時代の美術教育カリキュラム・研究協力者
- ・三原市主催『秦森康屯展』(平成25年度開催)監修

3 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・広島ゆかり作家・作品調査：南薫造・入野忠芳・巖光・丸木俊・吉岡一・山路商・秦森康屯ら(4/3、4/5、4/23、4/28、5/17、6/4、6/19、8/17、1/8)
- ・展覧会関係調査(5/16、9/13、12/21)

【館外出版物への執筆】

- ・所蔵作品展第4期目録「広島ゆかり作家の新収蔵品を中心に」

【館外出版物への執筆】

- ・『夏目漱石の美術世界』展カタログ執筆(章解説・作品解説・作家解説)

4 社会貢献活動等

- ・公益社団法人青少年育成広島県民会議「家庭の日」図画の部審査員

■ 山下 寿水

1 美術館内での業務

【担当展覧会】

- ・特別展「世界遺産ヴェネツィア展 魅惑の芸術一千年の都」(担当)
- ・特別展「第64回広島県美術展」(副担当)
- ・特別展「平木コレクション特別公開! 浮世絵の美」(副担当)
- ・特別展「第1回広島県ジュニア美術展」(担当)
- ・特別展「ピース・ミーツ・アート!」(副担当・次年度開催準備)

【教育支援(教育普及)】

- ・「世界遺産ヴェネツィア展」ギャラリートーク(一般向け)：10/12、10/19、10/26、11/2、11/9、11/16、11/23(各日2回)

- ・「世界遺産ヴェネツィア展」ギャラリートーク（団体向け）：10/5、10/7、10/10、10/11、10/12、10/13、10/19、10/22、10/26、11/1、11/2、11/4、11/8、11/9、11/10、11/11、11/12、11/15、11/21
- ・「世界遺産ヴェネツィア展」よくわかる解説付き鑑賞会：11/4
- ・美術作品鑑賞授業「世界遺産ヴェネツィア展関連講座 ヴェネツィア一千年の美をめぐる旅」：10/14、10/21、10/27、11/2、11/10、
- ・美術作品鑑賞授業「美術の行方～アートヒストリーの過去・現在・未来」：2/5

【広報活動】

- ・「世界遺産ヴェネツィア展」：テレビ出演（9/1、9/23、10/15、10/19、11/3、11/10他）、ラジオ出演（9/23：2回、10/4、10/17、10/23、11/9）、寄稿（9/14、10/17、10/23、10/24、11/3、11/6他）
- ・「広島県ジュニア美術展」：テレビ出演（12/21）、ラジオ出演（12/14）
- ・世界遺産ヴェネツィア展特設ホームページ「珠玉の1枚《ティントレットとその工房『天国』》」執筆
- ・広島県立美術館ホームページ・ブログ執筆：「世界遺産ヴェネツィア展」関連（7/21、8/24、9/24）
- ・広島県立美術館メールマガジン執筆：「世界遺産ヴェネツィア展」関連（9/28、10/2、10/12、10/15、10/19、10/23、11/9）、「広島県ジュニア美術展」関連（12/17、12/24）

2 美術館外での業務等

【講座・講演・シンポジウム等】

- ・「Art & Eat ミヨージャ ノモージャ ヴェネツィア展」コンダクター：11/2
（企画：NPO法人アートプラットホームG）
- ・「平家物語にちなむ能の謡鑑賞会」講師：11/18
（三次歴史民俗資料館「平清盛の時代と瀬戸内海」展関連イベント）
- ・「ミニマ・メモリアー後藤靖香×藤岡亜弥 展」キュレーション
（会期：12/25-30、会場：ギャラリーG）

3 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・作家聞き取り調査：5/14、6/4、7/13、8/10、11/6、2/28、3/17他

【館内出版物への執筆】

- ・ワークシート「ローズ・セラヴィ（マルセル・デュシャン）」
- ・セルフガイド「世界遺産ヴェネツィア展」

【館外出版物への執筆】

- ・「今月の表紙紹介 クルト・シュヴィッターズ《メルツ394、ピナコテーク》」
『社団法人 西法人会会報』社団法人西法人会、2012年7月号（第213号）
- ・「特別展紹介 世界遺産ヴェネツィア展」『広島県立美術館友の会会報 色絵馬』広島県立美術館友の会、2012年10月発行（第61号）
- ・「内藤礼ー世界の近さ、あるいは世界を呼び戻すことー」『美術ひろしま2011-2012』財団法人 広島市未来都市創造文化財団、2012年12月発行
- ・「学芸員」はどこにいるのか『PHASE』（vol.3）首都大学東京大学院人文科学研究科表象文化論分野、2012年12月発行
- ・「所蔵作品紹介 ベン・シャーン」『広島県立美術館友の会会報 色絵馬』広島県立美術館友の会、2013年1月発行（第62号）

【口頭発表】

- ・友の会 もっと知ろうシリーズ「ヴェネツィアの海とマリアのヴェール」：5/9

4 社会貢献活動等

【所属学会、外部委員、審査員など】

- ・広島芸術学会

【研鑽】

- ・文化財虫害菌・保存対策研修会 6/18-6/19

V 入館者数一覧

展覧会名	所蔵作品展	特 別 展					
		NHK大河ドラマ50年 特別展 平清盛	第64回 広島県美術展	木を植えた男 フレデリック・ バック展	おいでよ！絵本 ミュージアム絵本の まちにでかけよう！	世界遺産 ヴェネ ツィア展 魅惑の 芸術一千年の都	
開催期日	H24. 04. 01 ～ H25. 03. 31	H24. 04. 21 ～ H24. 06. 03	H24. 06. 30 ～ H24. 07. 15	H24. 07. 14 ～ H24. 09. 17	H24. 07. 24 ～ H24. 09. 09	H24. 10. 06 ～ H24. 11. 25	
開催日数	339日	44日	16日	66日	48日	51日	
個人	一般	1,741	9,405	3,558	6,732	6,052	17,862
	高・大学生	124	222	77	668	154	577
	小・中学生	—	—	82	699	—	642
	小計	1,865	9,627	3,717	8,099	6,206	19,081
団体	一般	2,700	21,576	509	6,056	6,822	38,846
	高・大学生	315	368	3	412	198	811
	小・中学生	—	—	3	1,385	—	724
	小計	3,015	21,944	515	7,853	7,020	40,381
有料入館者数	4,880	31,571	4,232	15,952	13,226	59,462	
招待者等	60,702	23,733	2,922	6,358	13,736	9,993	
合計 (観覧者総数)	65,582	55,304	7,154	22,310	26,962	69,455	
一日あたり 観覧者数	193	1,257	447	338	562	1,362	

(注) 1日あたり観覧者数は、小数点以下第1位を四捨五入。

所蔵作品展団体人数には、所蔵作品展と縮景園の共通入館者を含む。

所蔵作品展の「高・大学生」欄は、平成14年度の条例改正の無料化により、高校生を含まない。

所蔵作品展の招待者等には、減免及び無料入館者を含む。(平成14年度の条例改正により無料化した小・中・高校生で内数。)

「第64回広島県美術展」、「第1回広島県ジュニア美術展」以外は実行委員会主催。

団体人数には、前売り及び割引入館者を含む。

「平清盛展」、「絵本ミュージアム展」、「浮世絵の美展」、「永田萌展」、「伝統工芸展」は中学生以下を無料とした。

展 覧 会 名		特 別 展					合 計	総 計
		平木コレクション 特別公開！ 浮世絵の美	「永田萌-夢みる チカラ」展	第1回広島県 ジュニア美術展	生誕100年 船田玉樹展	第59回 日本伝統工芸展		
開 催 期 日	H24. 12. 04 } H25. 01. 14	H24. 12. 05 } H25. 01. 14	H24. 12. 19 } H24. 12. 25	H25. 01. 21 } H25. 02. 20	H25. 02. 27 } H25. 03. 17			
開 催 日 数	35 日	34 日	7 日	31 日	19 日	351 日	690 日	
個 人	一 般	5,250	2,084	—	3,111	3,024	57,078	58,819
	高・大学生	162	92	—	69	81	2,102	2,226
	小・中学生	—	—	—	43	—	1,466	1,466
	小 計	5,412	2,176	0	3,223	3,105	60,646	62,511
団 体	一 般	6,867	4,106	—	4,387	3,738	92,907	95,607
	高・大学生	162	171	—	46	75	2,246	2,561
	小・中学生	—	—	—	48	—	2,160	2,160
	小 計	7,029	4,277	0	4,481	3,813	97,313	100,328
有 料 入 館 者 数	12,441	6,453	0	7,704	6,918	157,959	162,839	
招 待 者 等	5,829	4,785	2,700	2,612	2,270	74,938	135,640	
合 計 (観 覧 者 総 数)	18,270	11,238	2,700	10,316	9,188	232,897	298,479	
一 日 あ た り 観 覧 者 数	522	331	386	333	484	664	433	

VI 美術品等収集状況

分野別収集美術品数一覧

(平成25年3月31日現在)

種	目	一般購入	基金購入 (H2年度以降)	購入総数	寄 附	所 管 換	合 計	受 託
絵 画	日 本 画	46	60	106	225 (3)	3	334 (3)	11 (0-3)
	油 彩 画	230	62	292	476 (6)	4	772 (6)	199
	水 彩 画	89	4	93	53 (1)	0	146 (1)	1
	素 描	44	20	64	291 (3)	0	355 (3)	20
	パステル画 アクリル画	1	0	1	6	0	7	0
	版 画	53	180	233	205	0	438	0
	拓 本	26	0	26	51	0	77	0
	平面造形ほか	3	56	59	1	0	60	0
彫 塑	8	23	31	65	0	96	2	
工 芸	112	1,184	1,296	261 (173)	4	1,561 (173)	5	
書	5	0	5	93 (5)	1	99 (5)	0	
美術資料	2	2	4	641	0	645	2	
合 計	619	1,591	2,210	2,368 (191)	12	4,590 (191)	240 (0-3)	

※ () 内は24年度の収集点数。受託欄は、左側が受託数、右側が返還数、合計欄は差引数。

収蔵美術品一覧

No.	種別	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	材質・技法	数量	取得区分
1	日本画	曾我 蕭白	伯顔図	1767年頃	133.2×57.0	紙本墨画・軸装	1面	寄付
2	日本画	船田 玉樹	牡丹	1947年頃	40.0×50.0	絹本彩色・軸装	1面	寄付
3	油彩画	藤田 嗣治	婦人像(リオ)	1932年	81.2×65.0	油彩・画布	1面	寄付
4	油彩画	南 薫造	菊	1914年	32.4×23.4	油彩・キャンバスボード	1面	寄付
5	油彩画	南 薫造	りんご	1916年頃	33.3×45.4	油彩・画布	1面	寄付
6	日本画	南 薫造	富士	1925年頃	131.4×60.1	紙本墨画・軸装	1面	寄付
7	油彩画	野田 信	本川橋	1931年	33.3×45.4	油彩・板	1面	寄付
8	素描	山路 商	母の像	1927年頃	22.5×31.4	鉛筆・紙	1面	寄付
9	油彩画	山路 商	自画像	1943年頃	31.7×22.8	油彩・紙	1面	寄付
10	素描	木村 武男	山路商の像	1962年	35.3×27.2	鉛筆・紙	1面	寄付
11	水彩画	寺田 政明	生と死の凝視(下絵)	1950年頃	21.6×30.9	インク・水彩・紙	1面	寄付
12	油彩画	菅井 汲	V10	1980年	200.0×200.0	アクリル・画布	1面	寄付
13	陶磁	鯉江 良二	ドカンオブジェ	1963年	28.0×14.0×9.5	陶器	1点	寄付
14	陶磁	鯉江 良二	黒陶		15.5×18.0×18.0	黒陶	1点	寄付
15	陶磁	鯉江 良二	黒陶	1965年	12.0×15.0×12.5 13.0×14.0×15.0	黒陶	1点	寄付
16	陶磁	鯉江 良二	マスク「土から顔もしくは顔から土」	1969年	16.0×11.0×5.0	陶器	1点	寄付
17	陶磁	鯉江 良二	マスク	1969年	16.5×10.5×4.5	陶器	1点	寄付
18	陶磁	鯉江 良二	面	1969年	31.2×9.3×9.2	陶器	1点	寄付
19	陶磁	鯉江 良二	風上の器	1974年	28.0×29.0×32.0	陶器	1点	寄付
20	陶磁	鯉江 良二	ながい掛花入	(1970年)	9.5×43.0×6.0	陶器	1点	寄付
21	陶磁	鯉江 良二	白面		3.5×15.0×35.0	陶器	1点	寄付
22	陶磁	鯉江 良二	偶		4.5×24.0×24.0	陶器	1点	寄付
23	陶磁	鯉江 良二	(チェルノブイリシリーズ)	1989年-94年	27.3×51.2×51.2	シュルペン	1点	寄付
24	陶磁	鯉江 良二	(チェルノブイリシリーズ)	1989年-94年	20.5×30.5×31.0	シュルペン	1点	寄付
25	陶磁	鯉江 良二	(チェルノブイリシリーズ)	1989年-94年	23.5×30.5×31.0	シュルペン	1点	寄付
26	陶磁	鯉江 良二	土の顔	1986	32.0×29.0×31.0	山土	1点	寄付
27	陶磁	鯉江 良二	土の顔	1986年	14.0×28.0×31.0	山土	1点	寄付
28	陶磁	鯉江 良二	(土の顔)	1986年	6.9×22.9×12.1	山土	1点	寄付
29	陶磁	鯉江 良二	(土の顔)	1986年	21.0×28.0×28.5	山土	1点	寄付
30	陶磁	鯉江 良二	土の星座	1987年	48.0×29.0×11.0	陶器	1点	寄付
31	陶磁	鯉江 良二	土の星座	1987年	34.0×30.0×9.0	陶器	1点	寄付
32	陶磁	鯉江 良二	淘汰-井の頭	1988年	31.0×24.0×25.0	井の頭の土	1点	寄付
33	陶磁	鯉江 良二	淘汰-井の頭	1988年	23.0×30.0×31.0	井の頭の土	1点	寄付
34	陶磁	鯉江 良二	淘汰-井の頭	1988年	22.0×22.5×23.0	井の頭の土	1点	寄付
35	陶磁	鯉江 良二	淘汰-井の頭	1988年	23.0×25.0×28.0	井の頭の土	1点	寄付
36	陶磁	鯉江 良二	淘汰-井の頭	1988年	20.0×31.0×27.0	井の頭の土	1点	寄付
37	その他	鯉江 良二	男のネック	1990年	3.0×21.8×29.8	樹脂	1点	寄付
38	その他	鯉江 良二	男のネック	1990年	2.2×12.7×13.2	樹脂	1点	寄付
39	陶磁	鯉江 良二	(石文)		17.6×35.4×30.2	陶器	1点	寄付
40	陶磁	鯉江 良二	(石文)		23.3×30.9×23.8	陶器	1点	寄付
41	ガラス	鯉江 良二	MASK	1990年	8.5×17.0×20.5	ガラス、鑄造	1点	寄付
42	ガラス	鯉江 良二	Glass	1990年	17.7×22.7×13.7	ガラス、鑄造	1点	寄付
43	金工	鯉江 良二	MASK OF OLOT	1990年	7.2×25.5×17.9	ブロンズ、鑄造	1点	寄付
44	金工	鯉江 良二	(MASK OF OLOT)	1990年	7.2×25.5×17.9	ブロンズ、鑄造	1点	寄付
45	素描	鯉江 良二	泥ing		65.0×95	紙、腐葉土、額装	1面	寄付
46	陶磁	鯉江 良二	(ブラボール)	1993年-94年	18.1×20.4×19.3	陶器	1点	寄付
47	陶磁	鯉江 良二	ブラボール	1993年-94年	33.0×35.0×30.2	陶器	1点	寄付
48	陶磁	鯉江 良二	(スライラス)	1987年	23.0×21.5×205.0	磁器	1点	寄付
49	陶磁	鯉江 良二	スライラス	1987年	24.5×16.5×16.5	磁器	1点	寄付

No.	種別	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	材質・技法	数量	取得区分
50	陶磁	鯉江 良二	(白磁 石の船)	1992年	10.5×22.0×19.0	磁器	1点	寄付
51	陶磁	鯉江 良二	(白磁 石の船)	1992年	18.5×36.0×15.0	磁器	1点	寄付
52	金工	鯉江 良二	ALUMI-AKUOT	1998年	19.3×45.8×33.1	アルミニウム、鋳造	1点	寄付
53	金工	鯉江 良二	ALUMI-AKUOT	1998年	19.8×43.5×40.5	アルミニウム、鋳造	1点	寄付
54	金工	鯉江 良二	ALUMI-AKUOT	1998年	19.7×26.3×25.4	アルミニウム、鋳造	1点	寄付
55	ガラス	鯉江 良二	スワガラス		23.8×20.5×24.9	ガラス、鋳造	1点	寄付
56	陶磁	鯉江 良二	(茶盤オブジェ)		8.1×11.6×12.0	陶器	1点	寄付
57	陶磁	鯉江 良二	マンガン土化粧手盤		1.5×31.5×43.0	マンガン土、陶器	1点	寄付
58	陶磁	鯉江 良二	陶板 (マンガン土)		1.5×29.5×41.5	マンガン土、陶器	1点	寄付
59	陶磁	鯉江 良二	(陶板)		2.8×21.4×21.4	陶器	1点	寄付
60	陶磁	鯉江 良二	(陶板)		2.3×19.3×20.4	陶器	1点	寄付
61	ガラス	鯉江 良二	スワガラス		6.1×35.9×37.5	ガラス、鋳造	1点	寄付
62	陶磁	鯉江 良二	白磁盤		10.0×28.0×35.2	磁器	1点	寄付
63	陶磁	鯉江 良二	白磁盤		17.0×34.0×33.0	磁器	1点	寄付
64	陶磁	鯉江 良二	(白磁盤)		21.8×34.8×30.5	器	1点	寄付
65	陶磁	鯉江 良二	(オリベ盤)		12.7×43.5×36.5	陶器	1点	寄付
66	陶磁	鯉江 良二	(オリベ盤)		10.5×38.5×41.2	陶器	1点	寄付
67	陶磁	鯉江 良二	(オリベ盤)	1989年-94年	9.7×31.5×25.5	陶器	1点	寄付
68	陶磁	鯉江 良二	盤 (オロット)	1990年	6.0×29.2×28.2	陶器	1点	寄付
69	陶磁	鯉江 良二	盤 (オロット)	1990年	7.0×31.0×32.0	陶器	1点	寄付
70	陶磁	鯉江 良二	英国手盤	1991年	8.0×36.0×36.0	陶器	1点	寄付
71	陶磁	鯉江 良二	(盤)	1998年	4.7×26.2×33.7	陶器	1点	寄付
72	陶磁	鯉江 良二	(盤)	1998年	4.8×26.6×34.7	陶器	1点	寄付
73	陶磁	鯉江 良二	(D盤)		6.0×22.0×44.0 ケース(8.5×44.0×67.0)	陶器	1点	寄付
74	陶磁	鯉江 良二	米盤	1999年	11.5×52.0×42.0	陶器	1点	寄付
75	陶磁	鯉江 良二	電車の皿 (11点組)		3.9×16.5×12.0 (右端)ほか	陶器	1組	寄付
76	陶磁	鯉江 良二	白鉢		4.4×13.0×13.3	陶器	1点	寄付
77	陶磁	鯉江 良二	線画鉢		7.0×25.0×26.0	陶器	1点	寄付
78	陶磁	鯉江 良二	オリベ鉢		9.7×24.7×25.7	陶器	1点	寄付
79	陶磁	鯉江 良二	オリベ鉢		4.3×24.8×25.0	器	1点	寄付
80	陶磁	鯉江 良二	鉄釉鉢		6.5×20.5×21.0	陶器	1点	寄付
81	陶磁	鯉江 良二	(鉢)		10.3×22.0×21.6	陶器	1点	寄付
82	陶磁	鯉江 良二	(白磁鉢)		8.0×25.2×24.7	磁器	1点	寄付
83	陶磁	鯉江 良二	鉢 (オロット)	1990年	13.0×39.0×40.0	陶器	1点	寄付
84	陶磁	鯉江 良二	信楽鉢		7.5×23.2×23.5	陶器	1点	寄付
85	陶磁	鯉江 良二	紅葉手鉢		12.0×21.2×18.4	陶器	1点	寄付
86	陶磁	鯉江 良二	紅葉手鉢		11.7×17.1×16.6	陶器	1点	寄付
87	陶磁	鯉江 良二	紅葉手鉢		10.1×18.0×20.5	陶器	1点	寄付
88	陶磁	鯉江 良二	カタルニアわん		12.8×18.8×18.4	陶器	1点	寄付
89	陶磁	鯉江 良二	自然釉壺		23.0×20.5×21.0	陶器	1点	寄付
90	陶磁	鯉江 良二	器	1989年	21.8×19.0×19.2	陶器	1点	寄付
91	陶磁	鯉江 良二	設楽手の壺		23.0×25.0×25.0	陶器	1点	寄付
92	陶磁	鯉江 良二	(壺)		14.9×19.0×19.4	磁器	1点	寄付
93	陶磁	鯉江 良二	白磁壺		19.3×15.2×15.5	磁器	1点	寄付
94	陶磁	鯉江 良二	白磁壺		22.1×15.7×15.7	磁器	1点	寄付
95	陶磁	鯉江 良二	設楽手つぼ	1989年	12.7×15.7×15.9	器	1点	寄付
96	陶磁	鯉江 良二	器	1990年	16.2×20.5×19.4	陶器	1点	寄付
97	陶磁	鯉江 良二	器	1990年	19.8×18.3×18.3	陶器	1点	寄付
98	陶磁	鯉江 良二	斑壺		14.1×21.2×21.4	陶器	1点	寄付

No.	種別	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	材質・技法	数量	取得区分
99	陶磁	鯉江 良二	オリベ大壺	1994年	42.0×33.0×33.0	陶器	1点	寄付
100	陶磁	鯉江 良二	韓国手壺	1996年	25.5×25.0×25.5	陶器	1点	寄付
101	陶磁	鯉江 良二	象嵌壺		23.5×23.0×23.5	陶器	1点	寄付
102	陶磁	鯉江 良二	韓国手壺		21.5×17.5×17.5	陶器	1点	寄付
103	陶磁	鯉江 良二	鉄絵大壺		31.0×24.0×24.0	陶器	1点	寄付
104	陶磁	鯉江 良二	米国手大壺		30.0×25.5×26.5	陶器	1点	寄付
105	陶磁	鯉江 良二	米国手壺		27.7×19.8×20.5	陶器	1点	寄付
106	陶磁	鯉江 良二	焼メ大壺		38.5×39.5×38.0	陶器	1点	寄付
107	陶磁	鯉江 良二	焼メ大壺		38.0×40.0×38.5	陶器	1点	寄付
108	陶磁	鯉江 良二	信楽手壺		24.7×12.7×13.0	陶器	1点	寄付
109	陶磁	鯉江 良二	信楽手壺		20.3×15.7×15.8	陶器	1点	寄付
110	陶磁	鯉江 良二	信楽手壺		20.5×14.2×14.5	陶器	1点	寄付
111	陶磁	鯉江 良二	(壺)		19.4×16.7×16.4	陶器	1点	寄付
112	陶磁	鯉江 良二	(引出し黒壺)		21.1×20.0×25.5	陶器	1点	寄付
113	陶磁	鯉江 良二	(引出し黒壺)		22.9×23.0×23.0	陶器	1点	寄付
114	陶磁	鯉江 良二	(引出し黒壺)		20.7×20.8×21.5	陶器	1点	寄付
115	陶磁	鯉江 良二	(VESSEL)	2006年	36.3×41.0×40.5	陶器	1点	寄付
116	陶磁	鯉江 良二	(VESSEL)	2006年	24.1×24.5×21.2	陶器	1点	寄付
117	陶磁	鯉江 良二	線文角器	1970年	14.3×13.5×14.0	陶器	1点	寄付
118	陶磁	鯉江 良二	ガラス釉花器		16.0×19.1×19.1	陶器	1点	寄付
119	陶磁	鯉江 良二	ガラス釉花器		16.0×18.5×18.5	陶器	1点	寄付
120	陶磁	鯉江 良二	ガラス釉花器		16.5×18.0×18.0	陶器	1点	寄付
121	陶磁	鯉江 良二	ガラス釉花器		16.5×18.0×18.2	陶器	1点	寄付
122	陶磁	鯉江 良二	線文コンポート		23.1×16.7×16.9	陶器	1点	寄付
123	陶磁	鯉江 良二	流線文一輪生	1970年	10.6×11.0×11.0	陶器	1点	寄付
124	陶磁	鯉江 良二	天竺手自然釉花入	1975年	23.0×14.0×14.5	陶器	1点	寄付
125	陶磁	鯉江 良二	自然釉花入		31.0×13.5×13.5	陶器	1点	寄付
126	陶磁	鯉江 良二	白花入		28.0×10.5×12.0	陶器	1点	寄付
127	陶磁	鯉江 良二	花入		26.0×14.3×15.3	陶器	1点	寄付
128	陶磁	鯉江 良二	(オリベ花入)		18.9×7.7×7.7	陶器	1点	寄付
129	陶磁	鯉江 良二	焼メ花入		31.5×19.0×20.0	陶器	1点	寄付
130	陶磁	鯉江 良二	(焼メ花入)		26.2×17.2×18.8	陶器	1点	寄付
131	陶磁	鯉江 良二	重田良一絵付 九谷手鯉江良二 染付雲月文生ケ筒	1991年	30.0×17.5×18.5	磁器	1点	寄付
132	陶磁	鯉江 良二	オリベ花入		22.8×12.5×11.5	陶器	1点	寄付
133	陶磁	鯉江 良二	(オリベ花入)		15.5×10.1×10.4	陶器	1点	寄付
134	陶磁	鯉江 良二	(カタロニア花入)	1990年	25.8×16.5×16.6	陶器	1点	寄付
135	陶磁	鯉江 良二	(花入)		25.8×9.0×9.0	陶器	1点	寄付
136	陶磁	鯉江 良二	焼メ花入		25.5×12.3×12.4	陶器	1点	寄付
137	陶磁	鯉江 良二	ゆのみ		5.7×6.7×6.7	陶器	1点	寄付
138	陶磁	鯉江 良二	ゆのみ		6.5×7.1×7.1	陶器	1点	寄付
139	陶磁	鯉江 良二	ころり	1980年代初期	9.3×7.8×8.5	陶器	1点	寄付
140	陶磁	鯉江 良二	ころり	1980年代初期	5.6×8.3×8.5	陶器	1点	寄付
141	陶磁	鯉江 良二	ゆのみ		9.2×8.1×7.9	陶器	1点	寄付
142	陶磁	鯉江 良二	ゆのみ		9.0×7.2×7.2	陶器	1点	寄付
143	陶磁	鯉江 良二	赤絵注器		8.5×14.0×13.5	陶器	1点	寄付
144	陶磁	鯉江 良二	(急須)		8.3×12.8×14.1	陶器	1点	寄付
145	陶磁	鯉江 良二	灰器		6.0×13.0×13.2	陶器	1点	寄付
146	陶磁	鯉江 良二	ドロマイト釉灰器 (陶研)	1967年	6.3×13.6×13.5	陶器	1点	寄付
147	陶磁	鯉江 良二	灰器		6.4×12.7×12.9	陶器	1点	寄付

No.	種別	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	材質・技法	数量	取得区分
148	陶磁	鯉江 良二	マンガン土ボール	1970年	9.8×13.5×13.5	陶器	1点	寄付
149	陶磁	鯉江 良二	ドロマイト釉ボール		7.8×14.9×13.8	陶器	1点	寄付
150	木工	鯉江 良二	(盆)		3.2×33.5×33.5	木、墨	1点	寄付
151	書	鯉江 良二	良良良良		45.0×88.5 額(60.0×110.6)	紙、墨、額装	1面	寄付
152	書	鯉江 良二	めがさめて(略)	1985年12月9日 AM6時	46.7×81.5	紙、墨、額装	1面	寄付
153	書	鯉江 良二	アウト・セーフ	1987年	62.4×92.0 額(85.4×114.9)	紙、墨、額装	1面	寄付
154	書	鯉江 良二	左手に犬月／低い赤い月の／心	1990年3月15日	100.4×63.2	紙、墨	1面	寄付
155	書	鯉江 良二	ウキブクロ／もしくは／オモリ(以下略)	1990年4月11日	99.2×60.1	紙、墨	1面	寄付
156	陶磁	鯉江 良二	天竺手自然釉ぐいのみ		2.2×6.4×6.7	陶器	1点	寄付
157	陶磁	鯉江 良二	ぐいのみ		4.4×7.4×6.8	陶器	1点	寄付
158	陶磁	鯉江 良二	(長石釉ぐいのみ)		5.9×6.8×7.0	陶器	1点	寄付
159	陶磁	鯉江 良二	(ぐいのみ)		4.8×5.8×4.9	陶器	1点	寄付
160	陶磁	鯉江 良二	ぐいのみ		6.2×8.6×8.6	陶器	1点	寄付
161	陶磁	鯉江 良二	ぐいのみ		5.7×7.2×7.3	陶器	1点	寄付
162	陶磁	鯉江 良二	ぐいのみ		5.1×7.1×7.2	陶器	1点	寄付
163	ガラス	鯉江 良二	(ぐいのみ)		9.6×6.8×7.2	ガラス、鑄造	1点	寄付
164	陶磁	鯉江 良二	白いとくり		16.3×9.0×9.0	磁器	1点	寄付
165	陶磁	鯉江 良二	(とくり)		17.0×7.7×7.7	陶器	1点	寄付
166	陶磁	鯉江 良二	(とくり)		14.0×8.6×8.6	陶器	1点	寄付
167	陶磁	鯉江 良二	(とくり)		19.3×9.2×9.2	陶器	1点	寄付
168	陶磁	鯉江 良二	織部水指	1992年	13.9×15.4×14.2	陶器	1点	寄付
169	陶磁	鯉江 良二	米国手水指		21.0×21.5×21.5	陶器	1点	寄付
170	陶磁	鯉江 良二	平茶盃		6.0×15.5×16.5	陶器	1点	寄付
171	陶磁	鯉江 良二	(オリベ茶盃)		7.6×16.7×16.5	陶器	1点	寄付
172	陶磁	鯉江 良二	鉄絵茶盃		9.5×12.0×12.5	陶器	1点	寄付
173	陶磁	鯉江 良二	貝釉茶盃		9.8×15.0×15.2	陶器	1点	寄付
174	陶磁	鯉江 良二	貝釉引出し茶盃	1989年4月	8.5×13.0×13.5	陶器	1点	寄付
175	陶磁	鯉江 良二	キセト茶盃		9.0×11.5×11.5	陶器	1点	寄付
176	陶磁	鯉江 良二	皮鯨手茶盃		8.0×13.6×14.6	陶器	1点	寄付
177	陶磁	鯉江 良二	しの茶盃		10.5×11.0×11.8	陶器	1点	寄付
178	陶磁	鯉江 良二	鉄しの茶盃		10.0×10.6×11.5	陶器	1点	寄付
179	陶磁	鯉江 良二	茶盃		9.0×11.8×13.7	陶器	1点	寄付
180	陶磁	鯉江 良二	(茶盃)		7.2×12.9×13.4	陶器	1点	寄付
181	陶磁	鯉江 良二	茶盃		9.8×13.0×13.2	陶器	1点	寄付
182	陶磁	鯉江 良二	(茶盃)		9.6×12.3×12.7	陶器	1点	寄付
183	陶磁	鯉江 良二	韓国手茶盃	1996年	9.0×15.9×15.9	陶器	1点	寄付
184	陶磁	鯉江 良二	(chawan)		9.0×15.0×17.0	陶器	1点	寄付
185	陶磁	鯉江 良二	(chawan)		9.4×14.3×14.2	陶器	1点	寄付
186	陶磁	鯉江 良二	(chawan)		9.4×14.3×14.2	陶器	1点	寄付
187	陶磁	鯉江 良二	(chawan)		9.8×17.5×15.1	陶器	1点	寄付
188	陶磁	鯉江 良二	茶盃コルドバ		6.4×14.3×15.5	陶器	1点	寄付
189	陶磁	鯉江 良二	コルトバPEP茶盃		9.4×12.1×12.4	陶器	1点	寄付
190	陶磁	鯉江 良二	(茶盃)	2009年	9.2×12.4×12.4	陶器	1点	寄付
191	陶磁	鯉江 良二	(茶盃)	2009年	8.2×11.8×11.8	陶器	1点	寄付

●新収蔵作品より

曾我 蕭白《伯顔図》

曾我蕭白（そが しょうはく 享保15年—天明元年 1730—1781）は、独特の画風で知られる江戸中期の画家。京都の商家に生まれ、父を早くに亡くして画業で身を立てた。室町時代の画家曾我蛇足に私淑して曾我姓を名乗る。当時盛んに出版されるようになった版本の画譜を活用し、古画に学んだ復古的な作品を多く残した。

《伯顔図》（1767(明和4)年頃）は、中国・元のフビライの重臣を描いた作品。伯顔は南宋征服軍の総司令官として活躍し、高潔の武将として知られる。南宋を平定して帰還する際も略奪を行わず、梅関を渡ったときに手折った梅のみを手にし、詩を詠じたという。本作品は、大岡春ト『和漢名画苑』中の「馬遠筆 武将図」の図様を左右反転して用いたものであることが指摘されており、蕭白の作画方法の一端を知ることができる貴重な作例と言える。

蕭白の特徴は、部分の細密で精確な描写能力と対象の動性的確かつ大胆な把握にある。伝統的な画題を、同じく正統的な水墨画技法で描いていながら、その画題を剽軽に表現するなど型破りなどところがある。江戸時代絵画史に異彩を放つ個性的な画家として近年の再評価はめざましい。その良質な作品はなかなか市場に出ず、収集できる機会が少ない。本作品を収蔵することで、当館における江戸期絵画の層に厚みを加えることができる。



伯顔図

船田 玉樹《牡丹》

船田玉樹（ふなだ ぎょくじゅ 大正元年—平成3年 1912—1991）は広島県呉市の生まれ。東京で速水御舟に入門し、その没後は小林古徑に師事。昭和13(1938)年に歷程美術協会を山岡良文、岩橋英遠らと結成した（翌年脱退）。その後、同郷の丸木位里との二人展、岩橋英遠を交えての三人展などで革新的な絵画表現を追求。戦後は郷里に戻り、院展や新興美術院展に作品を発表、のち無所属となり、装飾性豊かな花鳥画、水墨、さらにはガラス絵など、幅広い創作活動を展開した。

《牡丹》は、昭和22(1947)年頃制作と伝えられる軸装作品。絹地に繊細な筆致で白牡丹が描かれている。牡丹図は画家が繰り返し取り組んだモチーフであり、類似の作例が多く知られているが、対象のとらえ方にはその都度試行錯誤や工夫が加えられている。本作品においては、あえて角度を違えた二輪の花を画面の左右に配して、真ん中の空間を残し、背景を深みのある芒洋とした色彩で表すなど、小品ながら玉樹の特徴をよく示す佳品となっている。

当館では船田玉樹の作品を6点所蔵しているが、いずれも中・大型の額装作品である。玉樹が得意とした本作品のような絹本による花の図は、この稀有な画家の創作の軌跡や作風の変遷を探るための重要な作品となる。



牡丹

藤田 嗣治《婦人像（リオ）》

藤田嗣治（ふじた つぐはる 明治19年—昭和43年 1886—1968）は、東京美術学校を卒業後、フランスに渡り、モディリアニらとともにエコール・ド・パリの代表的画家として活躍。とくに、裸婦に代表される「乳白色の肌」の優美な美しさで注目を集め、パリの寵児となった。その後、中南米を旅行して1933年に帰国し、二科展で活躍。第二次大戦中は戦争記録画を描く。戦後はフランスに戻り、やがて

帰化、カトリックの洗礼を受け宗教画などを多く描いた。

《婦人像（リオ）》（1932年）は、1968年の藤田嗣治追悼展（朝日新聞社）の出品作（no.48《カーニバルの婦人》）。1930年代の藤田の作品は、それまでの白や黒を基調にした優美な線描による裸婦や猫を描いた作とは異なり、より写実的で色彩豊かな表現に向かっている。本作は画中の書込みから1932年にリオ・デ・ジャネイロで制作されたもの。藤田は前年秋にリオに到着、サンパウロ訪問を経て、1932年初冬にリオを再訪、アルゼンチンに発つまでの約2か月間同地に滞在したと考えられている。

当館では、1920-30年代の作品を重点方針の一つとして収集してきた経緯があり、この時代を代表する作家の作品を収蔵することで、展示に厚みを持たせることが出来る。

南 薫造《菊》《りんご》《富士》

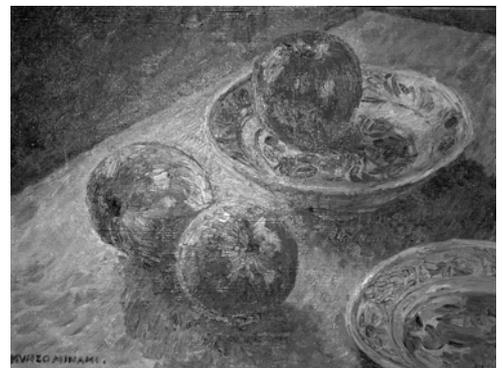
南 薫造（みなみ くんぞう 明治16年-昭和25 1883-1950）は、本県呉市安浦町出身。東京美術学校を卒業後、イギリスやフランスに留学。帰国後は、有島壬生馬との二人展や文展に滞欧作を発表し好評を博した後、郷里の風景を描いた温和な作風で文展での連続受賞を重ね、画壇での地位を築いた。官展や光風会展、日本水彩展などで活躍したほか、明治末期頃には創作版画を手がけ、版画家としても注目されている。風景画を得意とし、日本の印象派を代表する画家の一人として知られている。

《菊》《りんご》は、南と県立広島一中の同級生で終生交友があった旧友に贈られた作品。《菊》（1914年）の裏面に貼付した南の名刺には、「舊友（中略）の開業を祝して之れを贈る 大正四年春」と書込みがあり、病院の開業祝に贈られたことがわかる。《りんご》（1916年頃）は、結婚祝いに贈られ、友人宛の南書簡には、「新しき御家庭が其の果の如く圓く其の色の如く賑やかにあらん事を祈り」特にりんごの絵を選んだと記されている。《富士》（1925年頃）は、南が旧友の兄のために描いた作品。彼ら兄弟から富士の水墨画を依頼された作者は、何度も描き直した末に、ようやく本作を完成させたという。そばえ立つ富士の下方には、御殿場付近の山並みを描く。

南の初期作は現存が少なく、二点の油彩画は大正初期の作風を知るうえで貴重である。一方、日本画はほとんど作例が知られておらず、今後の研究資料としても収蔵の意義があると考えられる。

野田 信《本川橋》

野田 信（のだ まこと 明治37年-昭和27 1904-1952）は、広島ゆかりの作家。経歴について不明な点が多いが、父親の野田藤馬は愛媛県出身で1916年に日本銀行広島支店長に就任しており、少なくとも大正初期に野田信が広島にいた可能性が高い。戦前の広島で、医業のかたわら美術家の支援を行ったコレクター・黒川節司に宛てた野田の書簡から、野田が1933年に洗足に住み、東京を拠点に活動していたことがわかる。広島一中の同窓生名簿には野田の名はなく、あるいは卒業を待たずに画家を志して上京していた可能性も



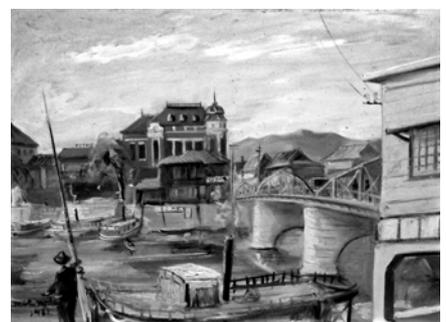
りんご



菊



富士



本川橋

ある。

《本川橋》(1931年)は裏面の記述から1931年11月の作。橋の東側(広島市中区中島町側)から対岸の塚本町方面(現・堺町方面)を描く。当時の本川は広島海運の主で、両岸には船木を入れておく倉庫や回漕店が立ち並び、賑やかな一帯は町の中心部をなしていた。画面の中央、対岸の橋の袂には、当時よく知られた饅頭屋と背後に煉瓦造りの芸備銀行塚本支店が見える。同銀行は7つの地元銀行が合併し1920年に誕生。野田の父は日本銀行広島支店長を務めつつ芸備銀行の創立にかかわり、専務取締役も務めた。

情報が少ない作家ではあるが、本作は戦前の広島中心部の町並みを伝える点からも稀少で、本作をもとに野田の画業や、関連作家を含めた戦前の広島の動向について今後研究を図りたい。

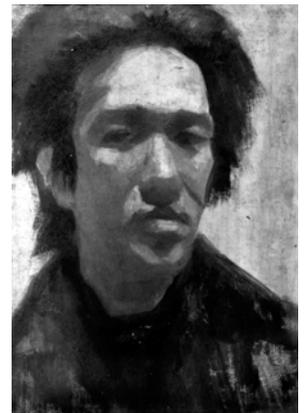
山路 商《母の像》《自画像》

山路 商(やまじ しょう 明治36年—昭和19年 1903—1944)は、新潟県長岡市出身。大正時代半ばに広島に移住、大正末から画壇で作品を発表した。新しい芸術を志す画家や詩人、俳優などと交流を持ち、自身も絵画のほか詩や舞台装置など幅広い分野で活動を展開。戦前期の広島における前衛美術運動のリーダーとして活躍した。鬘光や船田玉樹、丸木位里らと交友を結び、とくに鬘光には強い影響を与えた作家としても知られている。戦後の画壇に与えた影響も大きく、当館のほか広島市現代美術館でも作品が所蔵されている。



母の像

《母の像》(1927年頃)は、俯瞰した頭部を繊細な描写で的確に描き出し、素描技術の高さがうかがえる。山路は、広島移住の前年頃から大連で師について油絵を学び始めたと伝わるが、画業初期の作品は確認できず、本作が現存する最初期の作例である。《自画像》(1943年頃)は、特高警察による長期拘留から解放後の作。粗い筆致による簡略化した描き方が、空虚な表情を強調するようである。晩年の山路は、立体感や存在感の希薄な小児像など、写実的表現を基盤に独特の人物画を描いている。



自画像

広島戦前期の芸術活動の中心的存在であった山路の作品は、ゆかり作家として、また1920—30年代の美術動向を示す作家としても収集方針に該当するものである。現存作品の稀少な作家であるため、貴重な収蔵機会である。

木村 武男《山路商の像》

木村武男(きむら たけお 明治43年—昭和60年 1910—1985)は、広島市出身。広島県師範学校を卒業し、教師のかたわら制作活動を行った。1930年代は白日会展に、1940年代からは独立展に作品を発表。初期には具象作品を描いたが、戦後の独立展では叙情性を加味した半具象の作品で知られた。地元の美術展にも出品を続け、戦前には山路商アトリエ展やフォルム美術協会展など山路の創立したグループでも活動、山路の没後初の遺作展(1948年 広島市・朝日ホールで開催)の主催者の一人でもある。

《山路商の像》(1962年)は、ほぼ同様の構図で山路が描いた自画像(制作年不詳 38.6×27.2cm 当館蔵)が残されていることから、木村が山路の作を基にして描いたと考えられる。山路の作に比べると線描の質も異なっていてやや固く、描き込みも多いな



山路商の像

どの相違があり、模写を企図したものではないと思われる。戦後、山路の知人たちが集って山路を偲ぶ会が開かれていたことがわかっており、本作はこうした際に描かれ、遺族に贈られた可能性がある。

制作期間は長かったものの木村の作品はほとんど現存せず、当館では油彩2点を収蔵するのみである。作者の素描作品としてだけでなく、山路の自画像の関連作としても、既存の作品に加えることで展示の幅を広げることができる。

寺田 政明《生と死の凝視（下絵）》

寺田政明（てらだ まさあき 明治45年—平成元年 1912—1989）は、北九州市出身。同郷の画家・北川実（広島県府中市出身で、後に福岡に移住）を頼って昭和初期に上京し、太平洋画会研究所に入所。この時代に鬚光や松本竣介らを知り、独立展やNOVA展で活躍。初期のフォーヴィスムを加味した写実的な作風から、間もなくシュルレアリスムの作風に移行。戦中期には友人と新人画会を結成し、写実的作品を発表した。戦後は、板橋で新たな活動を開始。自由美術展や主体美術展などで活躍した。



生と死の凝視（下絵）

戦後の作者は、ふくろうやカラス、ねずみや犬など身近な生きものを描き、小さな生命への慈しみや愛情を表現した作品を多く残した。本作は、当館が所蔵する油彩画《生と死の凝視》（1950年 91.3×116.5cm）の下絵と考えられる作品。ふくろうや骨など主要なモチーフの大半が描かれ、配置もほぼ油彩画に近いことから、基本的な構図がこの段階で決定されたことがわかる。『生誕100年 寺田政明展』（2012年 北九州市立美術館）で公開された。

当館では、広島出身の鬚光や北川実との関連から寺田政明の作品を6点収蔵している。戦後の画風の特徴を示す油彩画の関連作として本作を展示することで、制作過程の紹介が可能になる。

菅井 汲《V10》

菅井 汲（すがい くみ 大正8年—平成8 1919—1996）は兵庫県神戸市生まれ。本名は菅井貞三。渡仏以前、デザイナーとして活躍。1952年、画家としての飛躍を目指し渡仏。日本の書を思わせる表現や壁を連想させるデリケートなマチエールによって人気を獲得し、渡仏後わずか2年目の1954年にはクラヴェン画廊と契約。1959年、サンパウロ・ビエンナーレに日本代表として出品したのをはじめ、1961年には日本国際美術展で優秀賞、翌年にはヴェネチア・ビエンナーレ展でデイヴィッド・ブライツ基金賞を、さらに1965年にはサンパウロ・ビエンナーレ展で外国作家最優秀賞を受賞するなど国際的に活躍。また1955年頃から始めた版画でも精力的に活躍し、「版画では世界中の王様のようにになりました（菅井光：「菅井汲とともに）」という言葉通り、数々の国際展で受賞を重ねた。



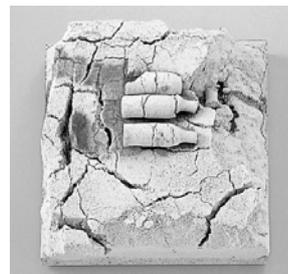
V10

菅井は1960年代前半から、基本単位の設定と反復によって画面を構成する手法を好んだが、1970年代末からのヴァリアシオンのシリーズではこの基本単位が殊に厳密になる。まったく同じ比率のL字型図形を複数組み合わせる「ヴァリアシオン」のシリーズは、L字型を3個使用したものから存在し、最多のものが10個使用したこの《V10》（1980年）である。制作年代的にも《V10》は、試行錯誤の末に制作された完成形と考えられ、L字型3つを用いた作品は小判型、4つを用いた作品は正方形、6つを用いた《V6》は六角形、10個を用いた《V10》では円形と、L字型の使用個数に対応して変化するキャンバスの外形との関係も興味深い。菅井円熟期の代表作である。

作者は、兵庫県出身ながら夫人が広島市出身の縁により、当館では2008年、ご遺族からまとまった数の作品を受贈している。そのため菅井汲は、当館のコレクションの中でも大きな位置を占めているが、今回提案の作品は作家円熟期の代表作であり、菅井の画業を多面的に紹介する上で重要と考えられる。

鯉江 良二《ドカンオブジェ》ほか179点

鯉江良二（こいえ りょうじ 昭和13- 1938-）は、現代陶芸を代表する作家のひとり。六古窯の一つ、愛知県常滑市に生れ、当地の窯業を基盤に、60年代の反芸術や走泥社の洗礼を受け、独自の境地を切り開いた。「やきものとは何か」という問いを根底に、「土」と「焼くこと」に執着し、旺盛な創作活動を展開。シェルベン（衛生陶器の粉末）から井の頭公園の土塊に至る「土」の諸相を用い、「焼くこと」の延長としてガラスやアルミ、ブロンズの鑄造も手掛け、炎の痕跡をも作品化する。その究極として、許されざる「やきもの」である原爆に対する「ノーモアヒロシマ・ナガサキ」を永遠のテーマに据える。一方、白磁・自然釉・織部・信楽・引き出し黒など多様な技法で制作されたユニークな器類も親しまれている。愛知県立芸術大学名誉教授。



チェルノブイリシリーズ2



ドカンオブジェ



土から顔もしくは顔から土



淘汰-井の頭

このたび受贈した鯉江良二の作品群は、「マスクの鯉江」「メッセージの鯉江」「器の鯉江」と称される作家の、作風の特徴と多様性が一覧できるものとなっている。具体的には、初期の走泥社の影響を受けた作品、トレードマークである作家のライフマスク、現地制作主義の代表作である「淘汰-井の頭」、反核のメッセージを込めた「チェルノブイリ」シリーズをはじめ、白磁・自然釉・織部・信楽・引き出し黒・粉引・焼き締めなど幅広い技法による大壺や花器、食器、酒器、茶陶などのユニークな陶磁器類のほか、書などの平面作品、ガラス・ブロンズ・アルミによる作品を含む。

これまで収蔵していなかった鯉江良二の作品群をまとまった点数で収蔵することにより、作家とその創作活動を深く理解する機会を提供するとともに、受け入れの基盤として走泥社などのコレクションを有するため、現代陶芸の様相をさらに充実して紹介することができる。

Ⅶ 美術品等の貸出し

種別	作者名など	作 品 名	貸 出 先	目的（展覧会名）	会期・場所
漆 工	六角 紫水	松喰鶴蒔絵小唐櫃(模写)	東京都江戸東京博物館 神戸市立博物館 京都府京都文化博物館 NHK視聴者事務局 NHKプロモーション	NHK大河ドラマ50年 特別展「平清盛」	24. 2. 25～24. 4. 8(神戸市立博物館) 24. 6. 16～24. 7. 17(京都府京都文化博物館)
日本画	平山 郁夫	受胎霊夢	九州国立博物館	平山郁夫と文化財保護 遙かなるシルクロード	24. 4. 3～24. 5. 27(九州国立博物館)
鑄 造	マックス・エルンスト	オイディプスⅠ	横浜美術館 愛知県美術館 宇都宮美術館	マックス・エルンスト ーフィギュア×スケープ展	24. 4. 7～24. 6. 24(横浜美術館) 24. 7. 13～24. 9. 9(愛知県美術館) 24. 10. 28～24. 12. 16(宇都宮美術館)
油彩画	須田国太郎	るりみつどり	神奈川県立近代美術館 茨城県近代美術館 石川県立美術館 鳥取県立博物館 京都市美術館 島根県立美術館	須田国太郎展 没後50年に顧みる	24. 4. 7～5. 27(神奈川県立近代美術館 葉山) 24. 7. 21～8. 26(茨城県近代美術館) 24. 9. 1～10. 14(石川県立美術館) 24. 10. 20. ～11. 25(鳥取県立博物館) 24. 12. 1～25. 2. 3(京都市美術館) 25. 2. 15～4. 1(島根県立美術館)
日本画	金島 桂華	水の月	奥田元宋・小由女美術館	奥田元宋生誕100年記念 奥田元宋と戦後の日展日本画展	24. 4. 7～24. 5. 13(奥田元宋・小由女美術館)
〃	川崎 春彦	凜冬		〃	〃
〃	児玉 希望	室内		〃	〃
〃	〃	踊		〃	〃
水彩画	ベン・シャーン	四人の検事	神奈川県立近代美術館	ベン・シャーン展	24. 4. 8～24. 5. 20(岡山県立美術館)
〃	〃	陪審員席	名古屋市美術館		24. 6. 3～24. 7. 16(福島県立美術館)
油彩画	〃	強制収容所	岡山県立美術館 福島県立美術館		(各会場、会期の半期のみ展示)
油彩画	松本 竣介	ニコライ堂	岩手県立美術館 神奈川県立近代美術館 宮城県美術館 島根県立美術館 世田谷美術館 NHKプロモーション NHKプラネット	生誕100年 松本竣介展	24. 4. 14～24. 5. 27(岩手県立美術館) 24. 6. 9～24. 7. 22(神奈川県立美術館 葉山) 24. 8. 4～24. 9. 17(宮城県美術館) 24. 9. 29～24. 11. 11(島根県立美術館) 24. 11. 23～25. 1. 14(世田谷美術館)
〃	〃	車庫近く			
漆 工	六角 紫水	刀筆文線の行通ひ香盆(双鳥之図丸盆)	独立行政法人国立美術館 東京国立近代美術館	越境する日本人ー 工芸家が夢みたアジア	24. 4. 24～24. 7. 16(東京国立近代美術館工芸館)
〃	〃	理想界の図蒔絵手箱			
〃	〃	刀筆天部奏楽方盆			
〃	〃	銀嵌刀筆天部奏楽の図飾箱			
木 彫	平櫛 田中	落葉	ふくやま美術館 小平市教育委員会 三重県立美術館	平櫛田中展	24. 7. 14～24. 9. 2(ふくやま美術館) 24. 9. 9～24. 10. 21(小平市平櫛田中彫刻美術館) 24. 10. 30～24. 12. 9(三重県立美術館)
日本画	平山 郁夫	黄河(晨)	福岡市美術館 西日本新聞社 TVQ九州放送	日本画の巨匠たち展	24. 8. 21～24. 9. 23(福岡市美術館)
日本画	甲斐荘楠音	横櫛	横須賀美術館	百花繚乱 女性の情景展	24. 9. 15～24. 10. 21(横須賀美術館)
漆 工	三代金城一國斎	菊雲鶴文食籠	広島県立歴史博物館	考古学と伝統工芸 ー今に伝わる広島の伝統工芸ー	24. 10. 5～24. 11. 18(広島県立歴史博物館)
〃	六角 紫水	大空と洋海の驚異手箱			
〃	高中 惣六	乾漆菓子器			

種別	作者名など	作 品 名	貸 出 先	目的（展覧会名）	会期・場所
金 工	林 万寿人	鍔銅結び紐文花器	呉市立美術館	南薫造と教え子たち展	24. 10. 6～24. 11. 25(呉市立美術館)
”	清水 南山	花卉文壺			
陶 磁	田中 一米	綾部写し水注			
”	初代藤本陶津	碧耀彩花瓶			
油彩画	南 薫造	坐せる女			
”		石割り			
”		農夫			
”		ピアノ			
”		麦刈り			
”		港湾			
”		蒲刈島風景			
水彩画		ロンドンの裏庭			
”		ロンドンの屋根			
”		赤屋根の家			
”		モルトン村の農家			
”		スタジオにて			
”		パリ郊外			
”		赤いマント			
”		うしろむき			
”		ミモザ			
油彩画	寺田 政明	さかな（悲哀）	北九州市立美術館	生誕100年 寺田政明展	24. 10. 16～24. 11. 11(北九州市立美術館分館)
”		生と死の凝視			
”		二つの道			
日本画	平山 郁夫	家路	公益財団法人平山美術館 北九州市立美術館	次世代への伝言 平山郁夫展	24. 12. 15～25. 2. 11(北九州市立美術館分館)
”		内海の春			
”		みのり			
日本画	塩出 英雄	双鳩	岡山県立美術館	生誕100年 塩出英雄展	24. 12. 21～25. 1. 27(岡山県立美術館)
”		婦女図			
”		草庵			
”		春山			
”		山峯			
”		亭橋			
”		層嶺			

種別	作者名など	作 品 名	貸 出 先	目的（展覧会名）	会期・場所
日本画	甲斐荘楠音	横櫛	独立行政法人国際交流基金 独立行政法人国立美術館 京都国立近代美術館	近代日本画と工芸の流れ 1868-1945	25. 2. 26~25. 5. 5(ローマ国立近代美術館) (会期の半期のみ展示)
陶 磁	今井 政之	躍鳥扁壺	たけはら美術館	文化功労者顕彰 竹原市名誉市民称号記念 今井政之展	25. 3. 9~25. 3. 31(たけはら美術館)
”	”	象嵌りんご文耳付花瓶			
”	”	「條」苔泥彩壺			
”	”	釉彩海老飾皿			
”	”	泥彩魚紋壺			
”	”	苔泥彩漕花壺			
”	”	「禅鯰」壺			
”	”	象嵌彩窯変磯蟹大皿			

Ⅷ 関係法規

広島県立美術館条例

(昭和43年3月26日)
広島県条例第20号

全部改正 平成8年条例第16号

最終改正 平成23年7月11日

(設置)

第1条 美術に関する県民の知識及び教養の向上に資するため、博物館法（昭和26年法律第285号）第18条の規定に基づき、広島県立美術館（以下「美術館」という。）を設置する。

(位置)

第2条 美術館の位置は、広島市中区上幟町とする。

(業務)

第3条 美術館は、次の業務を行う。

- (1) 美術品等を収集し、保管し、又は展示して、県民の利用に供すること。
- (2) 美術品等の展示施設（以下「展示施設」という。）その他の美術館の施設を美術品等の展示等のための利用に供すること。
- (3) 美術品等に関する専門的及び技術的な調査研究を行うこと。
- (4) その他県民の美術に関する知識、教養、調査研究等に資するために必要な事業を行うこと。

(職員)

第4条 美術館に、館長その他必要な職員を置く。

2 館長は、前条第1号及び第3号に掲げる業務並びに同条第2号及び第4号に掲げる業務のうち次条第2項第1号に掲げる業務を除いたものを掌理し、所属職員を指揮監督する。

(指定管理者による管理)

第5条 美術館の管理は、広島県公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例（平成16年広島県条例第28号）の定めるところにより、教育委員会が指定した法人その他の団体（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

2 指定管理者が行う業務の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 第三条第二号及び第四号に掲げる業務のうち教育委員会規則で定めるものを行うこと。
- (2) 美術館の展示施設及び講堂（以下「展示施設等」という。）並びに駐車場の利用の許可に関すること。
- (3) 展示施設等及び駐車場その他の美術館の施設並びに附属設備の維持及び修繕に関すること。
- (4) 美術館が所蔵する美術品等の展示（以下「所蔵作品展」という。）の観覧並びに展示施設等及び駐車場の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）の収受に関すること。
- (5) 教育委員会が単独で開催する所蔵作品展以外の展示（以下「特別展」という。）の観覧に係る入館料（以下「入館料」という。）の徴収に関すること。
- (6) その他教育委員会が別に定める業務を行うこと。

(開館時間等)

第6条 美術館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、土曜日は、午後7時まで開館時間を延長する。

2 講堂及び駐車場の利用時間は、次のとおりとする。

- (1) 講堂 午前9時から午後9時まで
- (2) 駐車場 午前9時から午後9時15分まで

3 前2項の規定にかかわらず、教育委員会又は指定管理者は、特に必要があると認めるときは、第1項の開館時間又は前項の利用時間を変更することができる。この場合においては、指定管理者は、あらかじめ教育委員会の承認を得なければならない。

(休館日等)

第7条 美術館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。）に規定する休日当たる場合を除く。）
- (2) 12月25日から翌年の1月1日までの日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会又は指定管理者は、特に必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。この場合においては、指定管理者は、あらかじめ教育委員会の承認を得なければならない。

(利用の許可)

第8条 展示施設等及び駐車場を利用しようとする者は、教育委員会規則及び指定管理者の定めるところにより、指定管理者の許可を受けなければならない。

2 指定管理者は、前項の許可（以下「利用許可」という。）をする場合においては、美術館の管理上必要な限度において条件を付することができる。

（利用許可の制限）

第9条 指定管理者は、展示施設等及び駐車場の利用の目的又は方法が、次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可をしてはならない。

- (1) 公益を害し、又は風俗を乱すおそれがあると認められるとき、その他住民の福祉を増進する目的に照らし適当でないと認められるとき。
- (2) 展示施設等及び駐車場並びに附属設備を損傷するおそれがあると認められるとき。
- (3) 集団的に又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。
- (4) その他美術館の管理及び運営上支障があると認められるとき。

（展示施設等の利用期間）

第10条 展示施設等の利用期間は、引き続き7日を超えることはできない。ただし、指定管理者が必要と認めるときは、この限りでない。

（入館料の納付等）

第11条 美術館の特別展を観覧する者は、1人1回2,030円以内で知事が定める入館料を納付しなければならない。

- 2 入館料は、知事が別に定める場合を除き、前納とする。
- 3 既納の入館料は、返還しない。

（利用料金の納付等）

第12条 美術館の所蔵作品展を観覧する者並びに展示施設等及び駐車場を利用する者は、指定管理者が別表第1から別表第3までに定める金額の範囲内で教育委員会の承認を受けて定める利用料金を納付しなければならない。

- 2 所蔵作品展に係る利用料金は、教育委員会が別に定める場合を除き、前納とする。
- 3 展示施設等及び駐車場に係る利用料金は、教育委員会が別に定める場合を除き、利用許可を受ける際に納付しなければならない。
- 4 既納の利用料金は、返還しない。ただし、利用許可を受けた者がその責めに帰することができない理由により利用できない場合その他教育委員会が別に定める場合には、指定管理者は、利用料金の全部又は一部を返還することができる。

（入館料の減免）

第13条 知事は、次の各号のいずれかに該当する者が特別展を観覧するときは、入館料を減免することができる。

- (1) 祝日法第2条に規定するこどもの日に入館する小学校の児童又は中学校の生徒
- (2) 祝日法第2条に規定する文化の日に入館する者
- (3) ひろしま教育の日を定める条例（平成13年広島県条例第40号）第3条に規定するひろしま教育ウィークに入館する小学校の児童又は中学校若しくは高等学校の生徒
- (4) その他知事が別に定める者

（利用料金の減免）

第14条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者が所蔵作品展を観覧するときは、所蔵作品展に係る利用料金を減免することができる。

- (1) 身体障害者手帳の交付を受けている者
 - (2) 戦傷病者手帳の交付を受けている者
 - (3) 療育手帳の交付を受けている者
 - (4) 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者
 - (5) 65歳以上の者
 - (6) 県内の大学に在学する外国人留学生
 - (7) 小学校（特別支援学校の小学部を含む。以下同じ。）、中学校（特別支援学校の中学部を含む。以下同じ。）又は高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）の校長が学校教育活動であることを証明した場合の小学校の児童又は中学校若しくは高等学校の生徒の引率者
 - (8) 祝日法第2条に規定するみどりの日又は文化の日に入館する者
 - (9) 特別展と併せて観覧する者
 - (10) その他教育委員会が別に定める者
- 2 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、展示施設等の利用料金を減免することができる。
- (1) 教育委員会が、主催する事業のために展示施設等を利用するとき。
 - (2) 前項第1号から第4号までに掲げる者（以下「身体障害者等」という。）又は身体障害者等が主体となつて構成する団体が、美術活動として展示施設等を利用するとき。
 - (3) 国又は地方公共団体が、身体障害者等の美術の振興を図る行事のために展示施設等を利用するとき。

- (4) 社会福祉事業を推進する団体が当該団体の設立の目的のために利用するとき。
 - (5) 幼稚園（特別支援学校の幼稚部を含む。）の園長（特別支援学校の幼稚部にあつては、校長）又は小学校若しくは中学校の校長が学校教育活動であることを証明した場合において、当該幼稚園の幼児又は当該小学校の児童若しくは当該中学校の生徒が利用するとき。
 - (6) その他教育委員会が別に定める場合
- 3 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、駐車場の利用料金を減免することができる。
- (1) 教育委員会が、主催する事業のために駐車場を利用するとき。
 - (2) 身体障害者等が、自ら車両を運転し、又は介護者の運転する車両に同乗して駐車場を利用するとき。

（利用料金の収入）

第15条 第12条第1項の規定により所蔵作品展を観覧する者並びに展示施設等及び駐車場を利用する者が納付する利用料金は、指定管理者の収入とする。

（利用許可の取消し等）

第16条 指定管理者は、利用許可を受けた者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可の全部若しくは一部を取り消し、利用の方法を制限し、又は利用の停止を命じることができる。

- (1) 許可された利用目的以外に展示施設等を利用したとき。
 - (2) 第九条各号のいずれかに該当するに至つたとき。
 - (3) 偽りその他不正な手段により利用許可を受けたとき。
 - (4) この条例若しくはこの条例に基づく教育委員会規則の規定又は第8条第2項の規定により付された条件に違反したとき。
 - (5) 利用許可に基づく権利を譲渡し、又は他人に利用させたとき。
- 2 前項の規定により利用許可を取り消し、利用の方法を制限し、又は利用の停止を命じたことによつて、利用許可を受けた者に損失が生じることがあつても、県又は指定管理者は、これに対して補償する義務を負わない。

（遵守事項）

第17条 美術館においては、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 展示施設等及び駐車場その他の美術館の施設並びに附属設備をき損し、又は汚損しないこと。
- (2) 展示資料、展示設備等に触れないこと。
- (3) 許可を受けずに、展示資料の模写又は撮影をしないこと。
- (4) 館内においては、静粛にし、他人に迷惑を掛ける行為又は他人に嫌悪の情を催させる行為をしないこと。
- (5) 所定の場所以外の場所で喫煙し、又は飲食しないこと。
- (6) 指定管理者の指示に従うこと。
- (7) その他教育委員会が定める事項

（禁止行為）

第18条 美術館においては、次に掲げる行為をしてはならない。ただし、教育委員会の許可を受けた場合は、この限りでない。

- (1) 寄附の募集
- (2) 爆発物その他危険物等の持込み
- (3) 行商その他これに類する行為
- (4) 宣伝その他これに類する行為
- (5) 広告物等の掲示若しくは配布又は看板、立札類の設置

（入館の制限等）

第19条 教育委員会又は指定管理者は、前2条の規定に違反するおそれのある者又はこれらの規定に違反した者に対して、美術館への入館を拒否し、又は美術館からの退去を命じることができる。

（原状回復義務）

第20条 展示施設等の利用者は、その利用を終了したとき（利用許可を受けた者が第16条第1項の規定により利用許可を取り消されたときを含む。）は、直ちに利用場所を原状に復し、指定管理者の検査を受けなければならない。

（損害賠償義務）

第21条 展示施設等及び駐車場その他の美術館の施設、附属設備又は展示資料等をき損し、汚損し、又は滅失した者は、これによつて生じた損害を賠償しなければならない。

（委任規定）

第22条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

- 1 この条例は、昭和43年4月1日から施行する。
- 2 第5条第1項の規定にかかわらず、別表の通常の展示の場合に係る入館料は、この条例の施行の日後において知事その徴収を開始すべき日を定めて公示するまでの間は、これを徴収しないものとする。

附 則（平成19年3月15日条例第21号抄）

（施行期日）

1 この条例は、規則で定める日から施行する。（平成20年1月規則第2号で、平成20年4月1日から施行）

（経過措置）

3 この条例の施行前にこの条例による改正前のそれぞれの条例（これに基づく規則その他の規程を含む。）の規定によってした処分、手続その他の行為であつて、この条例による改正後のそれぞれの条例（これに基づく規則その他の規程を含む。）中相当する規定があるものは、それぞれこれらの相当する規定によってした処分、手続その他の行為とみなす。

4 この条例の施行前にこの条例による改正前のそれぞれの条例（これに基づく規則その他の規程を含む。）の規定により利用の許可を受けている者に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成19年12月25日条例第56号）

この条例は、学校教育法等の一部を改正する法律（平成19年法律第96号）附則第1条本文に規定する政令で定める日から施行する。（定める日＝平成19年12月26日）

附 則（平成22年6月28日条例第31号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成23年7月11日条例第31号）

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

別表第1（第12条関係）

所蔵作品展の利用料金の範囲

区 分	個 人	団体(20人以上の場合とする。)	広島県縮景園との 共通券による場合
大 学 生	1人1回につき 390円以内	1人1回につき 310円以内	1人1回につき 310円以内
その他一五歳以上の者 (中学校及び高等学校の生徒を除く。)	1人1回につき 650円以内	1人1回につき 520円以内	1人1回につき 520円以内

別表第2（第12条関係）

展示施設等の利用料金の範囲

施設区分		第1展示室	第2展示室	第3展示室	第4展示室	第5展示室	講 堂
入場料有料の場合	1時間につき	1,700円以内	2,900円以内	2,900円以内	2,900円以内	3,100円以内	4,700円以内
	1日につき	13,000円以内	23,200円以内	23,200円以内	23,200円以内	24,600円以内	
入場料無料の場合	1時間につき	900円以内	1,500円以内	1,500円以内	1,500円以内	1,600円以内	2,400円以内
	1日につき	6,500円以内	11,600円以内	11,600円以内	11,600円以内	12,300円以内	
電気設備を利用する場合		実費を基準として教育委員会が定める範囲とする。					

備考

- この表において「1日」とは、美術館の開館時間とする。
- 日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日における入場料有料の場合の利用料金の額は、指定管理者が定める額の2割を加算する。
- 展示物の搬入及び撤去に係る利用料金の額は、指定管理者が定める額に2分の1を乗じて得た額とする。
- 利用料金の額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。

別表第3（第12条関係）

駐車場の利用料金の範囲

駐車することができる自動車の範囲	単 位	利用料金の範囲
道路運送車両法（昭和26年法律第185号）第3条に規定する自動車のうち、普通自動車並びに2輪自動車以外の小型自動車及び軽自動車	1台につき	
	1時間まで	390円以内
	1時間を超える時間 30分までごとに	200円以内

広島県博物館協議会条例

(平成13年3月26日)
広島県条例第3号

(設置)

第1条 広島県教育委員会(以下「教育委員会」という。)に、広島県博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、広島県立美術館、広島県立歴史民俗資料館、広島県立歴史博物館の運営に関し教育委員会の諮問に応じるとともに、教育委員会に対して意見を述べる機関とする。

(組織)

第2条 協議会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、教育委員会が任命する。

(委員の任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が召集し、会長がその議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(雑則)

第7条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成13年4月1日から施行する。

(広島県立美術館協議会条例の廃止)

2 広島県立美術館協議会条例(昭和43年広島県条例第38号)は、廃止する。

広島県立美術館管理運営規則

(昭和43年4月1日)
教育委員会規則第1号

最終改正 平成25年2月18日教育委員会規則第1号

(趣旨)

第一条 この教育委員会規則は、広島県立美術館(以下「美術館」という。)の管理及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第二条 広島県立美術館条例(昭和四十三年広島県条例第二十号。以下「条例」という。)第五条第二項第一号の教育委員会規則で定める業務は、次に掲げる業務とする。

- 一 美術館の利用促進に関すること。
- 二 美術館の利用案内に関すること。
- 三 県民の美術に関する学習活動の支援に関すること。

(開館時間等の周知)

第三条 条例第六条第三項又は第七条第二項の規定により、美術館の開館時間若しくは講堂若しくは駐車場の利用時間を変更し、又は美術館の全部若しくは一部を臨時に休館し、若しくは休館日に開館する場合は、あらかじめ、その旨を美術館に掲示する等周知のために必要な措置を講じなければならない。

(展示施設等の利用の申込み等)

第四条 美術館の展示施設及び講堂(以下「展示施設等」という。)を利用しようとする者は、展示施設等利用申込書を指定管理者に提出し、条例第八条第一項の許可(以下「利用許可」という。)を受けなければならない。

2 前項の規定による利用の申込みは、次に掲げる期間内にしなければならない。ただし、特別の事情があると指定管理者が認める場合は、この限りでない。

一 展示施設 利用開始日の一年前から一月前まで

二 講堂 利用開始日の四月前から七日前まで

(展示施設等利用許可書の交付)

第五条 指定管理者は、利用許可をしたときは、展示施設等利用許可書を申込者に交付するものとする。

2 展示施設等利用許可書は、展示施設等を利用する際必ず携帯し、係員の請求があるときは、これを提示しなければならない。

(駐車場の利用手続)

第六条 駐車場を利用しようとする者(以下「駐車場利用者」という。)は、自動車を入庫させる際、駐車券の発給を受けるものとする。この場合においては、当該発給を受けたときに利用許可を受けたものとみなす。

2 駐車場利用者が自動車を出庫させようとする際は、駐車時間に応じた利用料金を納付しなければならない。

(利用料金の周知)

第七条 指定管理者は、条例第十二条第一項の規定により教育委員会の承認を受けて利用料金を定めたときは、美術館に掲示する等周知のために必要な措置を講じなければならない。

(利用料金の返還)

第八条 条例第十二条第四項ただし書の規定により、指定管理者は、利用許可を受けた者がその責めに帰することができない理由により利用することができない場合は、当該利用料金の全額を返還する。

2 前項の規定により利用料金の返還を受けようとする者は、利用料金返還申請書に第五条第一項の展示施設等利用許可書を添えて、指定管理者に提出しなければならない。

(利用料金の減免)

第九条 条例第十四条第一項第一号から第九号まで、同条第二項第一号又は同条第三項第一号若しくは第二号に該当する場合は、利用料金(条例別表第二に規定する電気設備を利用する場合の利用料金を除く。以下本条において同じ。)を免除する。

2 条例第十四条第二項第二号又は第三号に該当する場合は、利用料金の額の二分の一に相当する額を減額する。

3 条例第十四条第二項第四号又は第五号に該当する場合は、利用料金の額の五分の一に相当する額を減額する。

4 前二項の規定により算定した減額後の利用料金の額に十円未満の端数が生じたときは、その端数を切り捨てるものとする。

(利用料金の減免の申請)

第十条 前条第一項の規定により利用料金の免除を受けようとする者のうち条例第十四条第一項第一号から第七号まで又は同条第三項第二号に該当するものは、該当することを証する書類を指定管理者に提示しなければならない。

2 前条第二項又は第三項の規定により利用料金の減額を受けようとする者は、第四条第一項の展示施設等利用申込書の提出時に併せて利用料金減額申請書を指定管理者に提出し、その承認を受けなければならない。

(補 則)

第十一条 この教育委員会規則に定めるもののほか、美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

(施行期日)

1 この教育委員会規則は、広島県縮景園設置及び管理条例及び広島県立美術館条例の一部を改正する条例(平成十九年広島県条例第二十一号)の施行の日から施行する。(施行の日=平成二〇年四月一日)

附 則(平成二十一年三月二四日教育委員会規則第三号)

この教育委員会規則は、平成二十一年四月一日から施行する。

附 則(平成二四年四月一日教育委員会規則第七号)

この教育委員会規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成二五年二月一八日教育委員会規則第一号)

この教育委員会規則は、平成二十五年四月一日から施行する。

広島県立美術館美術品等収集評価委員会設置要領

最終改正 平成12年2月1日

(設 置)

第1条 広島県立美術館(以下「美術館」という。)に広島県立美術館美術品等収集評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(意見の聴取)

第2条 美術館長は、美術品等を収集しようとするときは、当該美術品等の収集及び評価についてあらかじめ委員会の意見を徴するものとする。但し、「文化財保護法」第27条の規定により指定された国宝・重要文化財及び「美術品の美術館における公開の促進に関する法律」第3条の規定により登録された美術品並びに広島県文化財保護条例第3条の規定により指定された広島

県重要文化財はこの限りでない。

(委員の構成等)

第3条 委員会は、委員8人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから美術館長が委嘱する。

- (1) 美術館、博物館、大学、研究所等の職員
- (2) 美術評論家
- (3) その他、館長が適当と認める者

3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は再任することができる。

(臨時委員)

第4条 美術館長が審議のため必要と認めた場合は、専門的知識を持つ者を臨時委員に委嘱できる。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 委員長は、委員会の会議を総理する。

3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は(以下「会議」という。)は、必要に応じ美術館長が召集する。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、議事を開くことができない。

(守秘義務)

第7条 委員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

(庶務)

第8条 委員会に関する庶務は、美術館において行う。

(雑則)

第9条 この要領に定めるもののほか、委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、美術館長が別に定める。

附 則

この要領は、平成元年7月11日から施行する。

広島県立美術館美術品等収集基本方針

(昭和63年12月9日)

広島県立美術館の美術品等収集に関する基本方針を次のとおり定める。

- 1 本県ゆかりの作家の美術品等については、次項に準拠しつつ、各作家ごとの体系的なコレクションの形成につとめる。
- 2 次に掲げる美術品等の収集に主眼を置き、日本美術の特質を味わうことのできる体系的なコレクションの形成につとめる。
 - (1) 近・現代作家の特色ある美術作品
近代から現代にいたる絵画等の平面・立体造形作品のうち、時代の特徴と制作意図の明確な作品。
 - (2) 近代の工芸作品
わが国工芸の特色を示す陶芸、染色、漆芸、金工等のうち、主として近代以降に制作された作品。
 - (3) 近代の彫塑作品
近代以降のわが国の彫塑界で特に重要と認められる作家の作品。
 - (4) その他の美術作品
上記(1)～(3)に掲げる美術作品のほか、美術館において収蔵するにふさわしいと認められる美術工芸作品。
 - (5) 美術資料
収蔵する美術品等に関する作家並びに美術作品を理解するうえで必要な日記、書簡、下絵等の美術資料等。
 - (6) 補助的関連資料
収集する美術品等に関する調査研究及び教育普及事業に必要な視聴覚教材、図書、複製品等の補助的関連資料
- 3 その他、美術館において所蔵するにふさわしい東洋・西洋の美術品等を収集する。

広島県立美術館展示施設等運営要領

(平成8年7月24日 館長決裁)

この要領は、広島県立美術館管理運営規則(昭和43年4月1日教育委員会規則第1号)に基づき美術館の展示施設及び講堂の適正かつ効果的な運営を図るため、利用の形態及び許可の基準その他の必要な事項を定めるものとする。

1 利用形態

① 常設展示室（2階）

第1から第4展示室及び彫刻展示スペースは、所蔵作品による常設展示を行う。

② 企画展示室（3階）

北、東、西及び展示前室は、美術館が企画・主催し又は共催する展覧会事業に使用する。ただし、美術館が共催する展覧会は、国若しくは地方公共団体（その機関を含む。）又は公共性の高い機関が企画・主催する事業で、美術館が共催するにふさわしい、開催意義の高い事業に限る。

なお、これらの展覧会を実施しても、なお、空室が生じる場合は、「広島県教育委員会の共催・後援・協賛に関する基準について（昭和54年3月29日）」に基づき共催・後援に該当する展覧会に限り使用することができる。

③ 県民ギャラリー（地階）

条例第1条により、団体又は個人が美術に関する事業を目的として利用する場合に、これを許可する。

④ 講堂兼ハイビジョンギャラリー（地階）

通常はハイビジョンギャラリーとして入館者が自由に鑑賞できるように毎日一定時間使用する。また、団体又は個人が芸術に関する県民の知識及び教養の向上に資する目的で講演会などの催しのために利用する場合には、美術館が企画・主催する事業に支障のない範囲内でこれを許可する。

⑤ 図書館（1階）

美術に関する図書及び参考図書を公開し、利用者に提供する。また、室内にハイビジョン・データ・ブースを設置し、美術館の所蔵品に関するデータベースを提供して利用者の学習の便を図る。

⑥ 情報ギャラリー（1階）

ポスター、パンフレットなど、さまざまな広報媒体を掲示して、利用者に情報を提供するとともに、時機に応じて比較的小規模の企画展示を行う。また、一部にハイビジョン・ブースを設置し、美術館の所蔵品に関するオリジナル番組を提供して、利用者の作品理解の一助とする。

2 利用の申込み

県民ギャラリーの利用の申込みは、原則として年度を前・後期に分け、前期については、前年度の9月1日から9月30日まで、後期については、前年度の3月1日から3月31日までの間に受け付けるものとする。講堂の利用の申込みは、利用日の2ヶ月前から随時行うものとする。

3 利用の期間及び回数

県民ギャラリーの利用期間は原則2週間をこえないこととし、利用回数は同一の団体又は個人につき原則年1回とする。

広島県立美術館評価委員会設置要項

（設置）

第1条 広島県立美術館（以下「美術館」という。）の業務の実績を評価し改善策を提示するとともに、美術館運営に関して助言を行うため、美術館に広島県立美術館評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（組織）

第2条 委員会は、委員8名をもって組織する。

2 委員は、美術館の運営及び事業に関係する分野に見識を有する者のうちから、美術館長が委嘱する。

3 委員の任期は、2年間とする。ただし再任を妨げない。

4 委員に欠員が生じた場合は、美術館長は新たに委員を委嘱することができる。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長）

第3条 委員会に委員長を置く。

2 委員長は、美術館長が指名する委員をもって充てる。

3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

（会議）

第4条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会の会議は、委員の半数以上の出席を必要とする。

3 委員会は次の事項について審議する。

- (1) 美術館の評価方法に関する事
- (2) 美術館の事業計画の評価に関する事
- (3) 美術館の事業実績の評価に関する事
- (4) その他、美術館運営に関する助言・指導に関する事

4 委員長が必要と認めるときは、会議に必要な経験・知識を有する者を招き、意見を聴取することができる。

(庶務)

第5条 委員会の庶務は、美術館において行う。

(その他の事項)

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に際し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

(施行期日)

この要綱は、平成23年6月29日から施行する。

区 名 簿

美術品等収集評価委員会

委員長	内山武夫	元京都国立近代美術館館長
委員	山梨俊夫	国立国際美術館館長
〃	金田 晋	広島大学名誉教授
〃	白石和己	山梨県立美術館館長
〃	中林和雄	東京国立近代美術館企画課長
〃	井関和代	大阪芸術大学芸術学部教授
〃	谷 新	宇都宮美術館館長

広島県立美術館評価委員会委員

委員長	酒井忠康	世田谷美術館館長
委員	岩穴口一夫	(社)日本旅行業協会中四国支部長
〃	河野高信	己斐商事(株)代表取締役
〃	柴川敏之	美術作家・就実短期大学教授
〃	竹内泰彦	広島県立美術館友の会会長
〃	永野正雄	(株)テレビ新広島代表取締役社長
〃	水沢 勉	神奈川県立近代美術館館長
〃	山下治子	雑誌ミュゼ編集長

職 員

館 長	越智 裕二郎
副館長兼 総務課長	前田 宜彦
学芸企画監 兼学芸課長	松田 弘
専 門 員	西岡 賢一
専 門 員	三浦 緑
専 門 員	寶 諸 亜希子
主任学芸員	宮本 真希子
〃	角田 新 (静岡県立美術館へ派遣)
〃	福田 浩子
〃	石川 哲子
〃	永井 明生
〃	藤崎 綾
〃	周々木 朝香
学 芸 員	山下 寿水

平成24年度

広島県立美術館年報

平成25年12月26日発行

発行者 **広島県立美術館**

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22

電話 (082) 221-6246

印刷者 **鯉城印刷株式会社**

〒733-0035 広島市中区十日市町2丁目8-2

電話 (082) 232-8247

(人名については、敬称略)